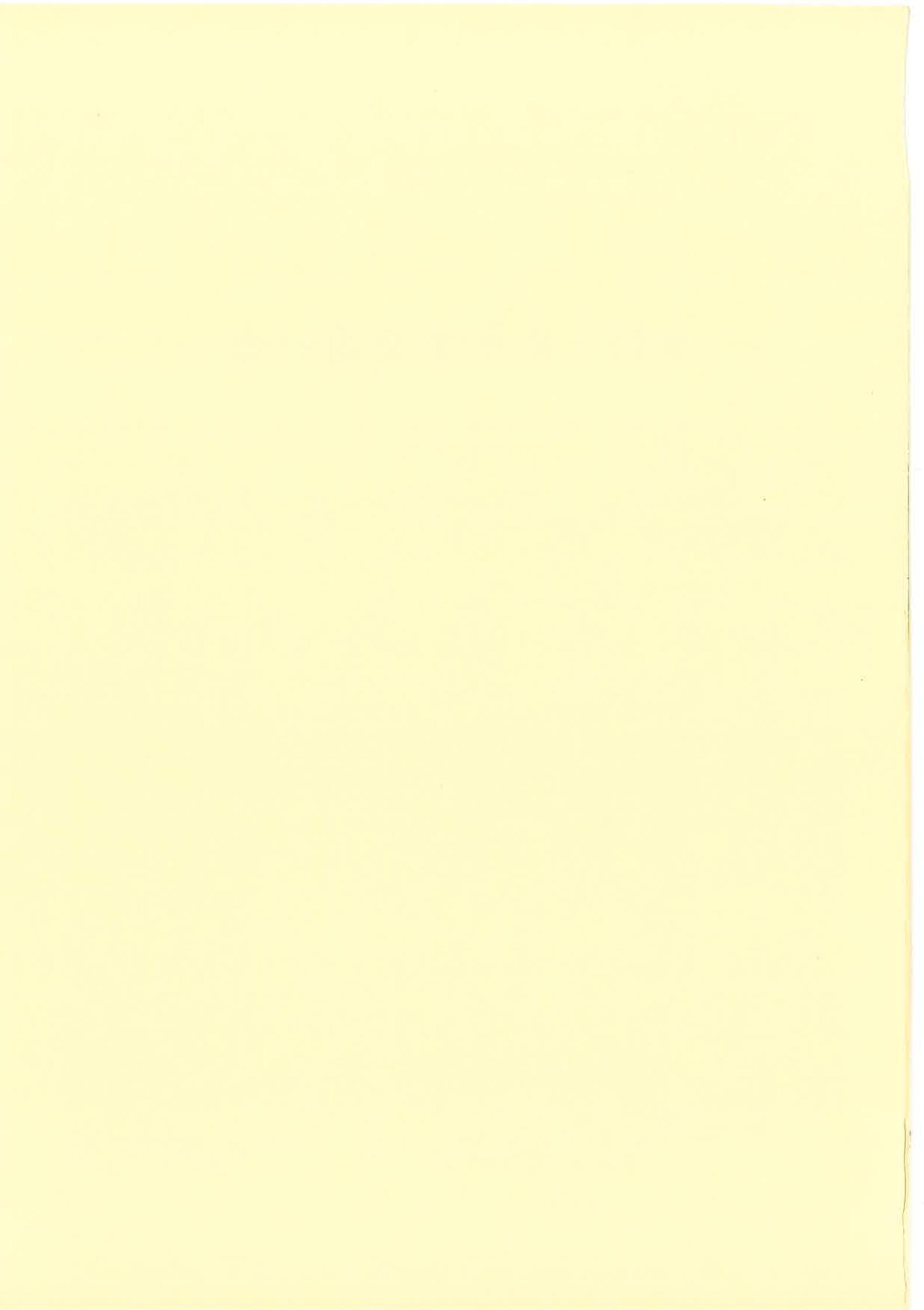


(通巻第31号)

令和2年度事業報告書

社会福祉法人 福栄会



目 次

法人事業報告（概況）	1
事務部事業報告	5
総務課	12
栄養課	17
高齢者福祉部事業報告	31
晴楓ホーム	32
東海ホーム	45
在宅サービス課	53
東品川在宅介護支援センター・大崎在宅介護支援センター	56
在宅サービスセンター	60
品川区ヘルパーステーション東品川	75
福栄会リハビリテーションセンター	77
東品川わかくさ荘	79
障害者福祉部事業報告	83
第一しいのき学園	85
第二しいのき学園	93
品川区立西大井福祉園	101
品川区立西大井つばさの家	110
グループホーム森前	114
グループホーム金子山	118
品川区立かがやき園	122
南品川むつみ園	132
福栄会障害者相談支援センター	140
品川区東品川障害者計画相談支援事業所	145
かもめ第一・第二・第三工房	147
品川区精神障害者地域生活支援センター	154
児童福祉部事業報告	159
家庭あんしんセンター	161
品川区ひまわり荘	162
品川区子育て支援センター	166
品川区子育て短期支援事業	168
平塚ファミリー・サポート・センター	170
平塚きぼう荘	172
品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設	182
品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設	188

令和2年度 法人事業報告（概況）

社会福祉法人福栄会は、高齢者福祉事業、障害者福祉事業及び児童福祉事業についての総合社会福祉施設としてサービスの質的向上を図る一方、健全な法人経営を行ないながら、利用者やご家族を始め、地域の期待に応えられるようそれぞれの事業分野において、サービスの充実に積極的に取り組みました。

令和2年度の主な成果

- (1) 新型コロナウィルス感染対策として、衛生管理の強化、面会制限、緊急のシフト変更等感染拡大防止に積極的かつ迅速に取り組みました。
- (2) 利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりを行うため、「福栄会3か年計画」に基づき計画的に事業を執行しました。
- (3) 地域社会から一層信頼される法人となるため、コロナ禍においても可能な限り地域貢献活動の充実や経営組織の強化に取り組みました。
- (4) 令和2年5月に福栄会本部開設30周年を迎ましたが、コロナ禍のため記念式典は中止しました。式典以外の記念事業、制服の変更、記念誌・記念DVDを作成しました。
- (5) 新たに管理運営を開始した東品川高齢者多世代交流支援施設の安定した運営に取り組みました。
- (6) 品川区立就学前乳幼児教育施設「ぷりすくーる西五反田」について、令和3年4月からの円滑な施設運営に向け、移行準備に取り組みました。
- (7) 品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぽ」の指定管理プロポーザルに参加し、福栄会が採択されました。
- (8) 社会経済状況の変化に対応し人事・給与制度と「福栄会キャリアパス」に基づく体系的な研修等により、質の高い人材の確保・育成に努めました。
- (9) 施設・設備の改善をさらに進め、引続き利用者にとってより快適な生活環境と職員にとって働きやすい職場づくりに取り組みました。
- (10) 堅実な法人運営を行うために、高齢者介護施設、障害者支援施設の利用率の安定・向上に取り組みました。

実績：特別養護老人ホーム	100.9%	(目標値：97%)
通所介護施設	77.4%	(目標値：85%)
障害者支援施設	77.9%	(目標値：95%)

事務部事業報告 目次

事務部事業報告	5
1. 基本方針	5
2. 重点目標	5
3. 地域貢献活動について	5
4. 会議について	6
5. 研修について	9
6. 防災計画について	10
7. 施設設備管理の点検強化	10
8. 苦情解決について	10
9. 新型コロナウイルス感染症への対応について	11
 総務課事業報告	12
1. 基本方針の遵守	12
2. 重点目標への対応	12
3. 事務の執行	12
4. 地域貢献活動	13
5. 防災対策	13
6. 防犯対策	14
7. 施設管理（営繕）体制	14
8. 広報	14
9. 職員について	15
 栄養課事業報告	17
1. 基本方針の遵守	17
2. 重点目標への対応	17
3. サービスの実際	17
4. 各施設との連携	19
5. 防災・その他非常時対策	19
6. 連絡調整・諸会議	19
7. 廉價設備等の更新	20
8. 給食状況報告	21
9. 特別献立実施状況	24
10. 給食委員会実施状況	26

事務部事業報告

1. 基本方針

社会福祉法人についての制度改正に基づき、法人事務局として法人役員や職員・関係者が主体的に関与を行い意思決定が円滑に行えるよう、適正かつ効率的な事業の執行を支援しました。

2. 重点目標

- (1) 令和2年5月の福栄会開設30周年にあたり、制服のリニューアルや記念誌及びDVD作成等の開設記念事業に取り組みました。
- (2) 令和2年9月から管理運営を開始した品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設「東品川ゆうゆうプラザ」の運営に主管部と連携して取り組みました。
- (3) 品川区立就学前乳幼児教育施設「ぷりすくーる西五反田」について、令和3年度からの運営受託に向け準備に取り組みました。
- (4) 利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりを行うため、「福栄会3か年計画」に基づき既存事業の見直し、新たな事業展開、施設改修等、計画的に事業を運営しました。職場環境改善のため施設改修及び備品の更新等について計画的に実施しました。
- (5) 福祉人材の確保・育成強化のため、ホームページのリニューアルや職員採用パンフレットの作成など積極的な広報活動を実施しました。

3. 地域貢献活動計画

- (1) 令和2年度 第28回「福栄会まつり」及び「秋のさんま祭り」など法人全体で開催する行事については、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、中止としました。
- (2) 例年、社会福祉施設地域開放事業として、福栄会の各施設にある作業室や訓練室・介護者教室や食堂、会議室等を町会等地域の団体に貸出していましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で近隣の町会祭等が中止となり、貸し出しの実績はありませんでした。
- (3) 新型コロナウイルス感染状況に鑑み、ミニサロン等の地域交流について年間をとおして中止としました。
- (4) 緊急事態宣言発出後より、各種イベントや地域交流事業の中止に伴い、地域のボランティアの受け入れについても活動中止としました。

4. 会議計画

(1) 理事会開催状況

第1回理事会	令和2年4月23日（金）※理事会決議の省略
第1号議案	就業規則の改正について
第2号議案	準職員就業規則の改正について
第3号議案	登録訪問介護職員就業規則の改正について
第4号議案	令和2年度幹部職員の任免について
第2回理事会	令和2年5月28日（木）
第1号議案	社会福祉法人福栄会定款の変更案の承認について
第2号議案	社会福祉法人福栄会評議員選任・解任委員会委員の選任について
第3号議案	令和元年度事業報告について
第4号議案	令和元年度指定管理業務事業報告について
第5号議案	令和元年度決算について
第6号議案	令和2年度定時（第99回）評議員会の開催について
第7号議案	品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設の管理運営に関する基本協定の締結について
第8号議案	品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設の指定管理料に関する年度協定の締結について
第9号議案	令和2年度品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設事業計画（案）の承認について
第10号議案	令和2年度第1回補正予算（案）について
報告事項	①福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について ②理事長及び業務執行理事（常務理事）業務執行状況報告 ③令和2年度契約の締結について ④第三者評価の結果について（晴楓ホーム） ⑤その他
第3回理事会	令和2年7月30日（木）※理事会決議の省略
第1号議案	品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設（介護予防支援事業等）運営規程の制定について
第2号議案	組織管理規程の改正について
第3号議案	就業規則の改正について
第4号議案	経理規程の改正について
第5号議案	建造物等管理規程の改正について
第6号議案	第二しいのき学園就労継続支援（B型）運営規程の改正について
第7号議案	品川区立西大井福祉園就労継続支援（B型）運営規程の改正について
第8号議案	かもめ第一工房就労継続支援（B型）運営規程の改正について
第9号議案	かもめ第二工房就労継続支援（B型）運営規程の改正について
第10号議案	かもめ第三工房就労継続支援（B型）運営規程の改正について
第11号議案	指定管理者再指定申請について

第12号議案	品川区立ふりすぐーる西五反田に関する社会福祉法人福栄会と特定非営利活動法人子育て品川との基本合意書（案）について
第13号議案	社会福祉法人福栄会本部建物防音工事（東京国際空港 令和2年度教育施設等騒音防止対策事業）の入札について
第14号議案	令和2年度第2回補正予算（案）について
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ①福栄会30周年記念事業について ②福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について ③その他
第4回理事会	令和2年10月6日（火）
第1号議案	社会福祉法人福栄会防音工事（東京国際空港 令和2年度教育施設等騒音防止対策事業）の契約締結について
第2号議案	令和2年度第3回補正予算（案）について
第3号議案	品川区立障害児者総合支援施設について
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ①福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について ②品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設（東品川ゆうゆうプラザ）の開設について ③その他
第5回理事会	令和2年12月10日（木）※理事会決議の省略
第1号議案	令和3年度運営計画について（意見交換）
第2号議案	社会福祉法人福栄会定款の変更案の承認について
第3号議案	令和2年度第2回（第100回）評議員会の開催について
第4号議案	品川区立就学前乳幼児教育施設の管理運営に関する基本協定の締結について
第5号議案	品川区立就学前乳幼児教育施設の管理に関する年度協定の締結について
第6号議案	令和3年度品川区立就学前乳幼児教育施設事業計画（案）の承認について
第7号議案	給与規程第18条別表（3）に定める特別手当について (福栄会慰労金)
第8号議案	給与規程第18条別表（3）の改定について
第9号議案	育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
第10号議案	令和2年度第4回補正予算（案）について
第11号議案	東京都福祉保健局による東海ホーム実地検査指導事項の対応について
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ①福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について ②その他
第6回理事会	令和3年3月23日（火）
第1号議案	令和2年度第5回補正予算（案）について
第2号議案	品川区立就学前乳幼児教育施設管理規程の制定について
第3号議案	組織管理規程の改正について
第4号議案	就業規則の改正について
第5号議案	準職員就業規則の改正について

第 6 号議案	給与規程の改正について
第 7 号議案	経理規程の改正について
第 8 号議案	建造物等管理規程の改正について
第 9 号議案	第二次福栄会 3 カ年計画（案）について
第 10 号議案	令和 3 年度事業計画（案）について
第 11 号議案	令和 3 年度指定管理事業計画（案）について
第 12 号議案	令和 3 年度当初予算（案）について
第 13 号議案	令和 3 年度契約の締結について
第 14 号議案	幹部職員の任免について
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ①理事長及び業務執行理事（常務理事）業務執行状況報告 ②理事の辞任について ③令和 2 年度第 1 回苦情解決・サービス向上委員会について ④令和 2 年度第 1 回虐待防止対策委員会について ⑤第三者評価について ⑥福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について ⑦令和 2 年度職員採用試験結果について ⑧品川区立障害児者総合支援施設について ⑨品川区内社会福祉法人災害時等相互応援協定について ⑩その他

（2）評議員会開催状況

令和 2 年度定時評議員会	令和 2 年 6 月 18 日（木）
第 1 号議案	社会福祉法人福栄会定款の変更について
第 2 号議案	令和元年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録について
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ①福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について ②令和元年度事業報告について ③幹部職員の任免について ④品川区介護・障害福祉サービス業務継続支援金交付事業について ⑤その他
令和 2 年度第 2 回評議員会	令和 2 年 12 月 25 日（金）※評議員会決議の省略
第 1 号議案	社会福祉法人福栄会定款変更の承認について
報告事項	①福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について
令和 2 年度第 3 回評議員会	令和 2 年 3 月 23 日（火）
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ①第二次福栄会 3 カ年計画について ②令和 3 年度事業計画について ③令和 3 年度当初予算について ④理事の辞任について

- ⑤幹部職員の任免について
- ⑥福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について
- ⑦品川区立障害児者総合支援施設について
- ⑧品川区内社会福祉法人災害時等相互応援協定について
- ⑨その他

(3) 会議開催状況

運営会議	毎月第1、3木曜日開催
係長・主任会議	毎月第1火曜日開催
安全衛生委員会	毎月第4水曜日開催
防災委員会	毎月奇数木曜日開催
給食委員会	毎月第1水曜日開催

5. 研修について

新型コロナウイルス感染状況に鑑み、集合研修を中止し、動画視聴及びオンラインによる研修等を実施し、人材の育成を図りました。また、資格取得に向けた研修会の実施や資格取得助成などの取り組みを積極的に実施しました。

(1) 法人研修

①全職員を対象として、虐待防止チェックリストを実施し、548名の職員が参加しました。

- ・第1回 令和2年7月16日（木）～令和2年8月6日（木）
- ・第2回 令和3年2月9日（火）～令和3年2月23日（火）

②常勤職員を対象として、7月3日より動画視聴による感染症予防研修（新型コロナウイルス感染症予防）を行い、186名の職員が参加しました。

③常勤職員を対象として、情報セキュリティ研修を行い、128名の職員が参加しました。

(2) 資格取得研修

介護福祉士	8名合格
社会福祉士	2名合格
精神保健福祉士	1名合格
保育士	8名合格
公認心理師	1名合格
上級救命再講習	2月15日（月）・3月1日（月） 3月5日（金）・3月9日（火）

(3) 採用前研修

全体研修	3月24日（水）～29日（月）
現場研修	3月30日（火）～31日（水）

6. 防災計画について

新型コロナウイルス感染予防対策として利用者が密になる場面を回避し、集団感染リスクを防いだ上で防災機器の点検や緊急時の連絡方法の確認等を中心とした防災訓練を毎月1回実施しました。

7. 施設設備管理の点検強化

法人本部建物を始め、品川区より受託管理している各建物について感染対策を徹底して上で、専門管理業者と共に適正な維持管理に努めました。

8. 苦情解決について

利用者サービスの向上・充実を図るため第三者委員による内部検査を実施し、利用者の立場になって業務を点検し、改善を図りました。新型コロナウイルス感染状況に鑑み、令和2年度は開催回数を調整の上、10月27日（火）に委員会を実施し、以下のとおり対応しました。

＜令和2年度苦情内容＞

施設名	苦情内容	対応
かもめ第一工房	10月26日（月）かもめ第一工房利用者Y氏より、三ツ橋委員あてに以下の苦情の連絡を受ける。 苦情の内容は、他利用者との差別を感じたとのこと。6月より週2日で利用開始したが、同じ時期に利用した方は週3日お菓子作りに参加している。職員に何故か聞くと「経験があるから」との回答だったが、本人は「やったことがない」と言っている。また、たまに利用する方がすぐにお菓子作りに参加しているのは何故か。施設長へは話をしたが気持ちが落ち着かないでの電話をしました。また、軽作業を行った際に職員が全くいない時間帯が10分ほどあった。この間に何か問題があったらどうするのか等の内容であった。	精神障害福祉課長より、各委員へ利用の経緯等を説明する。 4月10日より通所開始された方で、初めて利用する方は、事業所に慣れて頂くため、軽作業から開始し、職員や利用者の顔や名前、作業内容等を覚えて頂くよう対応しており、開始時に本人にも説明している。本人から相談があるたびに担当者と施設長で何度も面談をしているが、その時々で訴えの内容が変わるために、こちらの説明をなかなか理解して頂けない。今後も保健所と相談、連携しながら根気よく事業所で対応していきたい。

9. 新型コロナウイルス感染症への対応について

令和2年1月に国内で初めて感染者が確認された新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）感染症ですが、その後、全国的に感染者が増えだしたことから、4月7日、国から新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が出されました。これを受け、東京都や大阪府などの大都市を始め、日本全体に外出や移動の自粛、飲食店を始めとした商業施設やイベント施設などへの休業要請が行われました。通勤、通学による人の動きを減少させるため、公立学校など教育施設の休校処置や企業ではテレワークによる在宅勤務が進められるなど、今までの社会生活が大きく変わらざるを得ない状況となりました。

福栄会では、体温計測による発熱等のチェック、マスク着用、手指消毒、居室の換気などの基本的な感染対策を励行しつつ、通所施設の利用自粛を促したり、入所者への面会制限や外出・外泊の抑制、短期入所施設の利用停止、職員の交代出勤等を行うことになりました。また、毎年5月に開催している福栄会まつりの中止を始め地域ミニサロン、ボランティアの受け入れなどの事業を停止しました。利用自粛や就労支援活動の減少による収益の減は、法人会計にとっても大きなマイナス影響をおよぼしています。

緊急事態宣言は、日々の新型コロナPCR検査の陽性者発生数が下降傾向となったことから、5月27日に解除されましたが、7月に入ると再び感染者数が増加し始めました。8月中旬をピークに一旦は減少に転じましたが、都内においては下げ止まりという状態が続きました。そのため、毎年秋に開催している、さんま祭りやオータムフェスティバルも中止せざるを得ませんでした。

11月に入り気温が低下するとともに全国的に感染者数が増加し、年末にかけ急増したことから医療体制が逼迫し始め、令和3年1月8日、二度目の緊急事態宣言が出されました。この間、品川区により介護事業所等の職員のPCR検査が行われています。

前回の宣言とは違い、飲食店の営業時間の短縮を求めるなどの内容で、対象地域も東京・大阪などの11都道府県に限定されたものでした。福栄会では、入所者への面会制限、短期入所施設の利用停止などを行ったものの、社会的に休業要請が行われなかつたことから、基本的な感染予防策をとりつつ事業運営にあたりました。

東京都の緊急事態宣言は3月21日で解除されましたが、解除後も感染者数は下げ止まりの傾向を示していました。再び大阪市で感染者が増加し始めたのを追うように、東京都の感染者数も増加に転じました。新型コロナの変異株が危惧される中、新年度となる4月以降、大阪府や東京都へのまん延防止等重点措置の発出につながっていきます。福栄会においても、職員や利用者に新型コロナの感染者が発生していますが、感染拡大には至りませんでした。引き続き、適時、適切に感染予防策を取りながら事業運営に取り組みます。

総務課事業報告

1. 基本方針

高齢者、障害者、児童福祉等の総合福祉施設という特色を生かし、人事、給与、会計等事務処理体制について、総合的かつ適切な執行に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、利用者及び家族、地域の方々の理解を得ながら感染症予防対策に努めました。

2. 重点目標

- (1) 令和2年9月から新たに管理運営を開始した品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設の運営に向けた準備と安定した運営に主管部と連携して取り組みました。
- (2) 品川区立就学前乳幼児教育施設「ぷりすくーる西五反田」について、令和3年4月からの施設受託に向けた準備に取り組みました。
- (3) ホームページのリニューアルや採用パンフレットの作成・配布など積極的な広報活動や職員研修をとおし福祉人材の確保・育成を行いました。
- (4) 利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりを行うため、職場環境改善を目的に施設改修及び備品の更新等について計画的に実施しました。

3. 事務の執行

- (1) 総合的な福祉施設としての効率的な事務処理

高齢者、障害者、児童福祉等の総合施設という特色を生かし、人事、給与、会計等の事務処理について、総合的かつ効率的な執行を行いました。また、新型コロナウイルス感染症による各事業運営への影響について注視し、適宜状況を経営者層へ報告しました。

- (2) 福利厚生事業の充実

①職員の健康管理について、定期健康診断・成人病予防検査・インフルエンザ予防接種・メンタルヘルスチェック等を実施し、健康管理に努めました。

令和2年12月及び令和3年3月に、高齢者福祉施設及び障害者福祉施設の全従事者に対して新型コロナウイルスPCR検査を実施し、感染の疑いが高い職員の早期発見や迅速な予防対策への取り組みを強化しました。

また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、職員のマスクの着用、手洗いやアルコールによる手指消毒の励行、飛沫防止用アクリル板の設置、手すり等の消毒、居室等の換気の励行、職員や利用者の体温計測による発熱等の健康状態のチェック、入所者への緊急やむを得ない場合を除く面会中止など、感染症への予防と拡大防止に取り組みました。

②新型コロナウイルス感染状況に鑑み、令和2年度の職員親睦会活動は、中止としました。

③職員室の事務机や椅子の見直しや空調機の更新など、職員の職場環境改善計画等を考慮しながら実施しました。

(3) 事務処理の迅速化

会計と経理、請求事務と出納事務、人事と給与など業務区分を更に明確にし、会計監査、給与計算事務会社とさらに連携しながら迅速な事務処理を行いました。

(4) 事務員の育成

法人の事務局として適切に事務業務を行うため専門的事務員の育成に努めました。

(5) 情報管理体制の強化

福栄会の情報管理安全対策として職員向けの研修等を実施し、適正な管理・運用に努めました。

4. 地域貢献活動（地域開放事業）

令和2年4月7日及び令和3年1月8日、国から新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出されたことにともない、施設行事及び地域行事への参加中止やボランティアの受入中止、会議室・介護者教室等の貸し出し及び車両や行事物品の貸し出しなどを中止しました。緊急事態宣言解除後も、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、地域開放事業の中止を継続しました。

5. 防災対策

新型コロナウイルス感染予防対策として利用者が密になる場面を回避し、集団感染リスクを防いだ上で防災機器の点検や緊急時の連絡方法の確認等を中心とした防災訓練を毎月1回実施しました。また居室等の家具の転倒防止、物品の落下防止などを行いました。

(1) 小規模社会福祉施設防火実務講習の開催

新規採用職員を中心に、防災機器の取り扱いや避難方法についての講習会を実施し緊急の場合に備えました。

(2) 消防訓練の実施

毎月1回、昼夜想定の消防訓練を実施しました。また、マニュアルを確認するとともに、職員に周知徹底を図りました。

(3) 救命講習（上級講習、自動体外式除細動器業務従事講習）

参加者は密にならないよう少人数での実施とし、上級救命再講習会を年4回実施しました。なお自動体外式除細動器業務従事講習（AED）

D) を年4回実施しました。

(4) 参集訓練

11月29日（日）本部建物、品川区立かがやき園及び品川区立家庭あんしんセンターにおいて職員参集訓練を実施し、82名の職員が参加しました。

6. 防犯対策

本部建物、品川区立かがやき園及び品川区立家庭あんしんセンターにおいて、非常通報装置等の確認及び緊急時の連絡方法の見直し等を行い、防犯対策への取り組みを行いました。

7. 施設管理（營繕）体制

経年劣化した法人建物を適正に効率よく管理するため、建物ごとに保守管理計画を作成し実施しました。新型コロナウイルス感染症予防対策として、工事に関わる方への検温の実施や体調確認等を行い、感染防止に努めました。また、職員が立ち会うなど利用者の安全確保と工事個所の確認を適切に行いました。

8. 広報

法人の広報活動のあり方を幅広く検討し、福栄会についての情報開示をより推し進め、区民及び関係者の理解と協力が得られるように働きかけました。

法人総合情報誌「ふくえいだより」・ホームページ等での広報活動の充実を図りました。

第88号・春号 令和2年 5月22日 発行

第89号・夏号 令和2年10月12日 発行

第90号・冬号 令和3年 2月22日 発行

9. 職員について

(1) 職員の配置状況

* () 内は準職員等数

令和3年3月31日現在

施設名	施設長	事務員	介支 護援 員員	看護師	栄養士	医師	施設 管理	OT PT	計	委託 運行
晴楓ホーム	1	(1) 1	(17) 31	(3) 2	1	(3)		1	(24) 37	
東海ホーム	1	1	(2) 5	1	1				(2) 9	
東品川在宅 サービスセンター	1	(1) 23	(35) 2	(2) 1			(1) 1	(3)	(42) 26	(1)
大崎在宅 サービスセンター	1	(3) 20	(16) 2	(3) 1					(22) 21	(1)
第一 しいのき学園	1		(12) 10	(2) 1		(1)			(15) 12	(2)
第二 しいのき学園	1	(1) 7	(12) 7						(13) 8	
福栄会障害者 相談支援センター	1		6						7	
西大井福祉園 (GH森前・GH金子山 を含む)	1	(1) 1	(22) 15	(1) 2		(1)			(25) 19	(2)
家庭 あんしんセンター	1	(1) 2	(28) 18			(1)			(30) 21	
かがやき園	1	(1) 2	(28) 22	1	1	(1)			(30) 27	
南品川むつみ園			(3) 2	(1)					(4) 2	
かもめ工房	1	(2)	(26) 17			(1)			(29) 18	
五反田ふれあい デイホーム			(1) 2	(1)					(2) 2	(1)
平塚・東品川高齢者 多世代交流支援施設		(4)	(21) 6						(25) 6	
計	11	(15) 7	(223) 184	(13) 8	3	(8)	(1) 1	(3) 1	(263) 215	(7)

※産前・産後休暇等 6名 品川区地域包括支援センター出向 1名

(2) 令和2年度の職員採用及び退職

令和2年度採用	4月 1日	介護福祉士	: 5名
		社会福祉士	: 6名
		保育士	: 2名
		社会福祉主任用	: 4名
		介護福祉士実務者研修修了	: 1名
		介護職員初任者研修修了	: 1名
		合計	<u>19名</u>
令和2年度退職	3月 31日	介護福祉士	3名
		社会福祉士	3名
		保育士	1名
		合計	<u>7名</u>

(3) 職員採用活動

令和3年度新規職員採用は、新型コロナウイルス感染症予防のため少人数での見学説明会やオンラインでの就職説明会等を実施し、品川介護福祉専門学校など14学校や一般を含め27名の受験があり、うち中途採用者を含め21名を採用しました。これらの新規採用者については、6日間の事前研修を行い各施設に配属しました。

令和2年 6月 27日 (土)	受験者	1名	内定者	1名
令和2年 9月 5日 (土)	受験者	4名	内定者	2名 (10月採用 1名)
令和2年 9月 17日 (木)	受験者	1名	内定者	0名
令和2年 10月 10日 (土)	受験者	1名	内定者	1名
令和2年 11月 7日 (土)	受験者	2名	内定者	1名
令和2年 12月 12日 (土)	受験者	7名	内定者	6名
令和3年 1月 7日 (木)	受験者	1名	内定者	1名 (2月採用 1名)
令和3年 1月 28日 (木)	受験者	1名	内定者	1名
令和3年 2月 7日 (日)	受験者	5名	内定者	5名
令和3年 3月 31日 (木)	受験者	4名	内定者	3名 (5月採用 3名)
	合計	27名	21名	

(4) 職員親睦会について

新型コロナウイルス感染状況に鑑み、令和2年度の職員親睦会活動については、中止としました。なお、職員親睦会総会については、新型コロナウイルス感染予防のため、書面で実施しました。

栄養課事業報告

1. 基本方針の遵守

利用者、各施設職員、調理スタッフ3者間におけるコミュニケーションの場として東海ホーム利用者及び東品川デイサービス利用者との給食懇談会を各2回予定していましたが、新型コロナ感染症防止対策の観点から懇談会は中止し、ミニアンケート（書面）の形で利用者の意見を伺いました。

2. 重点目標への対応

（1）利用者のニーズにあった食事の提供

喫食時の観察・声かけや残菜調査及び嗜好調査、給食委員会での意見交換、検食簿での評価等により利用者のニーズを把握し、献立に反映させることができました。

生活に潤いと日本の文化や季節を伝える行事食を年18回実施しました。

（2）食品衛生管理の充実を図るため、給食施設における大量調理施設衛生管理マニュアルを遵守し、毎朝礼時における調理従事者の服装・毛髪・手指のチェックや厨房全域・器具機材配膳車等の清掃・消毒を厳重に行い、年間を通して食中毒予防に努めました。

（3）厨房設備、備品類は計画に基づき更新を図り、厨房作業環境の構築に努めました。

3. サービスの実際

（1）食事提供内容の充実と適切な食事習慣の育成等に向けた取り組みとして

①選択食の充実

ア 朝食は通常米飯食・粥食での提供、毎週日曜日と水曜日はパン食メニューで提供しました。

イ 昼食時、麺選択を年24回、主菜選択を11回実施しました。

ウ 夕食時の複数メニューについては実施できなかったため、令和3年度から実施するよう努めます。

②嚥下困難者への食事の提供として、状態に応じて刻み食、みじん切り食、ペースト食で対応しました。

（2）調理技術向上の取り組み

①給食委員会を本部施設、西大井地区でそれぞれ12回開催し、利用者のニーズの把握に努めました。

(3) 食品衛生管理の充実

- ①定例給食委員会において食品衛生管理体制の確立を図りました。
- ②厨房清掃の徹底を図るため、毎日の清掃に加え定期清掃を計画的に計48回実施しました。また厨房の水道水（飲料水）の残留塩素濃度測定を毎日行いました。

③調理従事者の健康管理

- ア 検便を毎月1回、調理師は11月から3月までの5ヶ月間、ノロウイルスの検査も実施しました。
- イ 健康診断を年1回実施しました。
- ウ 毎日、自己チェックと朝礼時の全体相互チェックを行いました。

(4) 栄養管理

①栄養摂取基準量

令和2年4月15日現在で、利用者個々の年齢・性別・基礎代謝量・生活活動強度により適正量を算出し、各施設の令和2年度目標栄養量を設定しました。

- ②①の栄養摂取基準量に基づき、食品構成表を作成しました。

③献立作成

②の食品構成に基づき、利用者の嗜好や歳時・季節感等を考慮しながら高齢者・知的障害者向けにそれぞれバランスのとれた献立を作成しました。

④栄養ケアマネジメント

特別養護老人ホーム（晴楓ホーム）及び障害者入所施設（かがやき園）の各利用者に栄養ケアマネジメントを実施し、計画に沿ったサービスの提供により適正な栄養管理や肥満防止に努め、栄養管理体制の充実を図りました。

(5) 食事の種類

①一般食（常食・軟菜食）

- ②摂食・嚥下機能に応じて一口大・刻み食・みじん切り食・ペースト食で対応しました。

- ③生活習慣病など医療的配慮を必要とする場合や、機能障害等に対応した療養食にも対応しました。

- ④アレルギーや禁忌食品に対応し代替食を実施しました。

(6) 食事時間

朝食7:30～8:30まで、昼食12:00～13:00まで、夕食時間は高齢者福祉部門との協議の結果、18:00～19:00を17:45～18:45に変更し、概ね時間通りに食事の提供を行いました。

(7) 行事食等

- ①日本人の食文化や季節を伝える行事食を概ね毎月1回実施しました。
- ②ミニバイキングに代わるお楽しみ給食を年4回実施しました。

(8) 配食サービス

- ①在宅の利用者の食事を日曜・祝日を除き、年間100食配達しました。
- ②希望者にはお粥での個別対応を行いました。

(9) 1食当たりの食材単価は下表により履行しました。

	高齢者部門	障害者部門	職員・外来	配 食
朝 食	200円	200円	200円	—
昼 食	320円	320円	320円	320円
夕 食	300円	300円	320円	—

なお、行事食については別枠で行いました。

(10) 検食・保存食

- ①検食・・・栄養士及び各施設管理者が毎食実施し、記録しました。
- ②保存食・・・1品50gを2週間以上冷凍保存しました。

(11) 食事管理

献立と調理内容の適合、個別の食種コメント等のチェックを配膳前に行い盛り付けや食器の工夫など、食事環境面にも配慮しました。

4. 各施設との連携など

(1) 調査・研究

- ①嗜好調査・・・各施設職員の協力を得て嗜好調査を実施し、結果をもとに献立に反映させることができました。
- ②残菜調査・・・毎食ごとに残菜を確認し、喫食状況の観察とあわせて必要な栄養量が確保されているか確認しました。

(2) 栄養指導・相談

- ①医師・看護師・介護職員からの要請に応じ、実施しました。

5. 防災・その他非常時対策

- (1) 業務終了時におけるガス器具の元栓、電気器具の電源の点検と記録を確実に行いました。
- (2) 法人本部の防災訓練時に合わせ、課内初期消火訓練に取り組みました。
- (3) 非常食の有効利用を目的として、消費期限の直前に献立に取り入れて提供し、使用分の補充も行いました。

6. 連絡調整・諸会議

(1) 課内連絡

朝礼を毎日実施しました。

(2) 他部門との連絡

- ①晴楓ホーム職員朝礼と事務部朝礼に栄養士が合流しました。

②給食委員会を毎月実施し、栄養士・調理師・各施設管理者及び給食委員が参加しました。

(3) 利用者給食懇談会

新型コロナ感染症感染防止対策により、懇談会をミニアンケートに代えて東海ホームやデイサービス利用者の給食に関する意見などを聞きしました。

7. 廚房設備等の更新

本部施設厨房の自動洗米機の更新を行いました。

8. 給食状況報告

(1) 福栄会本部

利用者(延食数) R2.4.1～R3.3.31

施設		晴楓	ショート ステイ	東海	東品川S・C		しいのき			計(人)	
食種・形態					デイ	配食	第1	第2	むつみ園		
主食	米飯	12,698	5,428	34,371	10,348	100	7,071	10,356	1,731	82,103	
	粥	67,907	2,632	12,867	2,135	0	621	126	2	86,290	
	流動	3,571	0	0	0	0	0	0	0	3,571	
計		84,176	8,060	47,238	12,483	100	7,692	10,482	1,733	171,964	
一般食	常食	普通	2,133	4,166	38,543	8,373	100	4,436	9,913	1,727	69,391
		一口切	6,647	567	5,086	984	0	1,541	0	2	14,827
		刻み	4,128	49	302	144	0	0	0	0	4,623
		みじん	0	0	0	0	0	326	0	2	328
	軟菜食	普通	1,672	136	1,094	502	0	0	0	0	3,404
		一口切	8,738	649	441	544	0	179	0	2	10,553
		刻み	24,199	960	29	536	0	34	0	0	25,758
		みじん	0	0	0	0	0	101	0	0	101
	ペースト食	26,922	1,090	0	293	0	204	0	0	0	28,509
	経管流動食	3,571	0	0	0	0	0	0	0	0	3,571
治療食	減塩食	普通	1,701	0	974	577	0	0	408	0	3,660
		一口切	1,069	429	760	57	0	0	0	0	2,315
		刻み	3,287	0	9	10	0	0	0	0	3,306
		ペースト		0	0	0	0	0	0	0	0
	糖尿病食	普通	0	9	0	352	0	233	0	0	594
		一口切	109	5	0	110	0	411	0	0	635
		刻み	0	0	0	1	0	227	0	0	228
		みじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ペースト	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	普通	0	0	0	0	0	0	161	0	161
		一口切	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		刻み	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		流動	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		84,176	8,060	47,238	12,483	100	7,692	10,482	1,733	171,964	

外来食

視察者	家族	ボラ	実習生	体験利用	その他	計
30	9	18	677	17	7	758

職員食

計
24,708

(2) 西大井福祉園

利用者(延) R2.4.1～R3.3.31

食種・形態		西大井福祉園	
主食	米飯	8,268	
	粥	0	
	汁や粥	212	
計		8,480	
一般食	常食	普通	7,436
		一口切	608
		刻み	0
		みじん	0
	軟菜食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
	ペースト食	212	
	流動食	0	
治療食	減塩食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
	糖尿病食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
	脂肪制限	普通	224
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
計		8,480	

外来食

実習生	グループホーム	体験利用
198	38	108
金子山	ボラ	計
		344

職員食

計
4,135

(3) 大崎在宅S・C

利用者(延) R2.4.1～R3.3.31

食種・形態		大崎在宅S・C	
主食	米飯	9,772	
	粥	815	
	汁や粥	172	
計		10,759	
一般食	常食	普通	7,935
		一口切	1,418
		刻み	140
		みじん	0
	軟菜食	普通	
		一口切	40
		刻み	149
		みじん	1
	ペースト食		289
	流動食		0
	減塩食	普通	584
		一口切	103
		刻み	78
治療食	糖尿病食	普通	0
		一口切	22
		刻み	0
		みじん	0
	蛋白制限	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
	その他		
	計		10,759

外来食

実習生	視察者	その他
57		
		計
		57

職員食

計
5,006

(4) かがやき園

利用者(延食数) R2.4.1~R3.3.31

施設		入所者	ショート	計(人)
食種・形態				
主食	米飯	29,551	1,139	30,690
	粥	2,650	0	2,650
	流動	0	0	0
計		32,201	1,139	33,340
一般食	常食	普通	13,071	1,123
		一口切	9,801	4
		粗刻み	0	0
		刻み	9,087	0
		みじん	0	0
	軟菜食	普通	0	0
		一口切	0	0
		粗刻み	0	0
		刻み	0	0
		みじん	0	0
ペースト食		0	12	12
療養食	減塩食	普通	0	0
		一口	0	0
	糖尿病食	普通	121	0
		一口切	121	0
		刻み	0	0
		みじん	0	0
	糖・腎食	一口	0	0
		刻み	0	0
	糖・肝食	普通	0	0
	脂肪制限	普通	0	0
		刻み	0	0
計		32,201	1,139	33,340

外来食

職員食

体験	家族	実習生	その他	計	計
43		250	123	416	5,130

9. 特別献立実施状況（令和2年度）

◎…東海ホーム昼食

◇…入所施設（高齢者、知的障害者）

△デイサービス

実施日		行事名	献立内容
4月	1日 水	新年度を祝う	ちらし寿司 南瓜と豚肉の煮物 すまし汁 フルーツ
5月	1日 金	開設記念日	牛丼 菜の花のお浸し 味噌汁 祝ケーキ
	5日 月	こどもの日	穴子ちらし 炊き合わせ すまし汁 鯉のぼりようかん
6月	21日 日	◎お楽しみ給食	(食前酒もどき)梅の赤ワイン煮 そら豆御飯 梅盛りそうめん 天麩羅 茶碗蒸し 新じゃが煮 酢味噌和え 漬物 抹茶小豆ムース
7月	7日 火	七夕 /昼食	七夕そうめん 茄子の肉味噌田楽 七タゼリー
	21日 火	土用の丑 /昼食	鰻と卵の二色丼 厚揚と野菜の炊き合わせ すまし汁 バナナ
9月	21日 月	/昼食△	御飯 鶏肉のピーナッツ焼 白菜しらす和え 味噌汁 抹茶ロール
		/夕食	赤飯 鯛塩焼 天麩羅 炊き合せ 茶碗蒸し お吸い物 芋ようかん
	22日 火	秋分の日 /昼食	冷やし肉味噌うどん かぶのうすくず煮 おはぎ
10月	1日 木	十五夜 /昼食	御飯 魚のタルタル焼 薩摩揚と蓮根の煮物 味噌汁 お月見饅頭
	18日 日	◎お楽しみ給食	栗と茸のおこわ 鴨南そば 豚肉香草焼 芋煮 和え物3天盛り しじみの赤だし シュークリーム抹茶ソース
11月	3日 火	文化の日 /夕食	鉄火丼 炊き合わせ 即席漬 卵豆腐のお吸い物
	15日 日	◎寿司の日	にぎり寿司 大根あら煮 白和え だし巻卵 赤だし 焼りんご
12月	21日 月	冬至 /昼食	御飯 鶏肉辛味噌焼 ほうれん草のナムル スープ 南瓜いとこ煮
	24日 木	クリスマスイブ/夕食	ケチャップライス ローストチキン サラダ スープ ケーキ
	25日 金	クリスマス /昼食	海老フライとハンバーグ ポテトサラダ スープ いちごババロア
	31日 火	○大晦日 /夕食	御飯 魚のチリソース 胡麻風味和え スープ 黄桃缶 年越しそば
1月	1日 金	◇朝食	雑煮(すまし仕立) 口取(紅白蒲鉾 黒豆 数の子 紅白なます)
		祝 膳	お屠蘇 ヨーグルト
		◇昼食 (二の重)	赤飯 鯛塩焼 松風焼 錦卵 日の出海老 煮べ 栗きんとん 吸い物
		◇夕食	天丼 菜の花といかの辛子和え 浅漬 味噌汁 みかん
2日 木	◇朝食	雑煮(味噌仕立)	
	祝 膳	口取 (伊達巻・昆布巻・豆きんとん・帆立と胡瓜の胡麻酢和え)	
		◇昼食	海鮮ちらし寿司 お浸し 味噌汁 さつま芋とりんごのレモン煮
	◇夕食	七福神雑炊 筑前煮 茶碗蒸し 漬物 抹茶ムース小豆添え	
1月	7日 木	◇七草 /昼食	七草粥 里芋そぼろ煮 オクラのおかか和え 漬物 味噌汁 牛乳
	11日 月	鏡開き /昼食	かき揚そば 春菊といかの和え物 ぜんざい
	15日 金	◇小正月 /朝食	小豆粥 卵とじ オクラの梅和え はりはり漬 味噌汁 牛乳

実施日		行事名	献立内容
2月	2日火	節分 /昼食	御飯 魚の柚子味噌焼 薺と豚肉の炒め煮 昆布豆 つみれ汁
		/夕食	恵方巻(寿司) 鶏肉の利久焼 白菜即席漬 味噌汁 オレンジ
3月	14日日	◎お楽しみ給食	御飯 天ぷら 穴子と野菜の炊き合わせ 茶碗蒸し 白菜漬 なめこの赤だし デザートケーキ<ガトーショコラ>
		3日水 ひな祭り /昼食	雛ちらし つみれとかぶの含め煮 お吸い物 莓ババロア
	20日土 ◇春分の日	/昼食	御飯 鰯の生姜煮 味噌きんぴら すまし汁 おはぎ

10. 給食委員会実施状況(令和2年度)

(1)福栄会本部開催日(毎月第1水曜日)

晴楓・東海・東品川在宅サービスセンター・大崎在宅サービスセンター・しいのき

月	内 容	月	内 容
4月	給食委員会の主旨について 令和2年度利用者名簿の提出について 令和2年度検食担当者について 令和2年度栄養課行事計画について 予定献立について	12月	にぎり寿司の日の振り返り 年末年始の行事について 予定献立について (会議資料配布による書面での報告) 嗜好調査の実施について
5月	6月のミニバイキングについて 予定献立について	1月	予定献立について
6月	令和2年度食事摂取基準量について 利用者給食懇談会について (食事アンケートの実施について) 東海ホームお楽しみ給食について 予定献立について	2月	年末年始の行事食等の振り返り 嗜好調査について 予定献立について
7月	東海ホームお楽しみ給食の振り返り 予定献立について	3月	嗜好調査結果について 予定献立について
8月	夏場の食事管理について 食事アンケート結果について 予定献立について		
9月	東海ホーム秋のお楽しみ給食について 予定献立について		
10月	東海ホームお楽しみ給食について 予定献立について		
11月	東海ホームお楽しみ給食の振り返り にぎり寿司の提供について 予定献立について		

(2) 西大井福祉園開催日(毎月第1木曜日)

かがやき園・西大井福祉園

月	内 容	月	内 容
4月	かがやき園食事分類の変更について 新型コロナ感染症防止対策状況について 利用者名簿提出について 予定献立について	12月	年末年始の行事予定について 利用者状況について クリスマス会について 余暇活動について
5月	利用者状況について 予定献立について		嗜好調査について 予定献立について
6月	新型コロナ感染症防止対策における各施設の 対応について 予定献立について	1月	年末年始の行事食の振り返り 嗜好調査の実施について 予定献立について 利用者状況について
7月	プラスチック製買い物袋有料化に伴う、配食 時等の取り扱いについて 事業予定について 献立について	2月	嗜好調査について 食堂床改修工事について 利用者状況について 予定献立について
8月	かがやき園給食イベントについて 利用者動向について 予定献立について	3月	嗜好調査結果について 利用者状況について 西大井福祉園担当調理師の交代について 予定献立について
9月	利用者状況について イベントについて 予定献立について		
10月	利用者及び職員状況について クリスマス会について 予定献立について		
11月	クリスマスについて 年末年始の食事について 利用者及び職員状況について 予定献立について		

高齢者福祉部事業報告 目次

高齢者福祉部事業報告	3 1
晴楓ホーム事業報告	3 2
東海ホーム事業報告	4 5
在宅サービス課事業報告	5 3
在宅介護支援センター事業報告	5 6
品川区東品川在宅介護支援センター	
品川区大崎在宅介護支援センター	
在宅サービスセンター事業報告	6 0
東品川在宅サービスセンター	
品川区立大崎在宅サービスセンター	
品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム	
品川区ヘルパーステーション東品川事業報告	7 5
福栄会リハビリテーションセンター事業報告	7 7
東品川わかくさ荘事業報告	7 9

高齢者福祉部事業報告

1. 基本方針

利用者の人権を尊重し、利用者に寄り添ったサービスを行いました。

利用者の能力に応じて自立的な暮らしができるように利用者・家族・職員との協力関係の構築に努め支援を行いました。

また、利用者の健康維持を大にし、特に新型コロナウイルス等の感染症に対する予防対策を丁寧に行いました。

2. 重点目標

- (1) 生活施設及び通所施設において利用者の安全を第一とし、万全の配慮を行い利用者及び家族が安心して利用できるサービスの提供をしました。
- (2) 地域との連携を図り地域に根ざした施設運営を行うとともに、利用者それぞれの高齢化に伴う状態及び状況に対しその家族を含めて生活を支えるための適切なサービスの提供を行いました。
- (3) 利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりを行うため、既存事業の見直し、新たな事業展開、計画的な施設改修等について「福栄会3か年計画」に基づいて推し進めました。

(4) 各施設の利用実績

①晴楓ホーム

ホーム事業（80床）	短期入所生活介護（8床）	合計利用率(88床)
97.4%	117.3%	98.9%

※短期入所生活介護(ショートステイ)は空床利用(4床)を含めた数値。

②在宅サービス事業（通所介護・訪問介護・居宅介護支援）

東品川在宅サービスセンター	73.1%
認知症デイホーム（ぽかぽか・なごみ）	43.4%
大崎在宅サービスセンター	78.8%
〃 認知症デイサービス（ほのぼの）	64.5%
五反田ふれあいデイホーム	65.5%
ヘルパーステーション東品川	545.1時間

③東海ホーム（軽費老人ホームA型）

ホーム事業（50名）	100%
------------	------

晴楓ホーム（特別養護老人ホーム・介護老人福祉施設）事業報告

1. 事業実績報告

晴楓ホームとショートステイの年間合計利用率は、98.9%でした。

(ホーム97.4%・ショート113.4%)

令和2年度月別利用率の推移（定員：ホーム80名・ショート8名）（単位%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ホーム	97.6	95.1	95.4	98.6	98.4	97.3	96.6	98.4	99
ショートステイ	103	118	135.8	119	110.1	117	110.1	120.4	109
合計利用率	98.1	97.1	114	100.4	99.5	99.1	97.8	100.4	100

	1月	2月	3月	年間利用率	令和元年度年間利用率
ホーム	96.6	98.6	98	97.4	99.3
ショートステイ	116	108	117	113.4	117.3
合計利用率	98.3	99.5	99.6	98.9	100.9

※小数点第二位四捨五入

2. 重点目標報告

（1）抱えない介護の実践を推し進めます。

晴楓ホーム2居室に天井走行リフトを造設しました。移乗用リフトやスライディングボード等の移乗用補助具の使用を徹底し、抱えない介護の実践を行い、介護職員の負担軽減を図りました。

より安全に移乗用リフトを使用できるように内部研修会を開催しました。

介護職員が腰痛予防に対して意欲的に取り組んだこともあり、腰痛により長期的な療養を必要とする介護職員の発生はありませんでした。

（2）設備整備及び施設改修を行います。

経年劣化が顕著であった機械浴槽の更新を行いました。

各階それぞれ1居室に天井走行式リフトを新たに設置し、職員の腰痛防止とともに、利用者にも移動中の打撲等の負担が掛からぬように対応しました。

利用者の重度化に伴いリクライニング車椅子を購入しました。

（3）安定した利用の確保に努めます。

利用者の健康管理に留意し、嘱託医と連携し、早期発見、早期対応に努めました。また、緊急対応訓練を事業所内研修で行い、対応技術の向上を図りました。

事故防止対策として、リフトインストラクターの職員が中心となりリフト操作の実技勉強会を実施しました。

事故報告・ヒヤリハット報告書を再発防止に活用し、転倒防止用のセンサーマット（床用・ベッド用・車椅子用）等の活用を行いました。

コロナウイルス等感染症の防止対策として内部研修を繰り返し、実践的な防止対策の習得を行いました。体温チェック、手洗い、マスクの装着等を行い、感染予防に努めた結果、インフルエンザA型及胃腸炎の罹患者は、ありませんでした。コロナウイルスに関しても集団感染を避けることができました。

3. 家族との連携・協力

コロナウイルス蔓延のため、例年に比べご家族との連携・協力の場面が激減してしまいました。1階のパブリックスペースでの面会を感染症の蔓延の推移を見極めながら実施しました。

4. 身体拘束廃止・虐待防止

（1）身体拘束廃止に向けた取り組み

身体拘束の廃止に向けた取り組みとしてセンサーマット、立位時にブレーキが掛かる車椅子等の活用を計るなど、身体拘束防止に努めました。

（2）利用者に対する人権擁護（虐待防止）

利用者の人権を擁護するとともに、対人援助における介護者の精神的ストレスを軽減するため、チームでのケア、抱えない介護の取り組みを行い、虐待を生まない施設作りを行いました。

また、感染症対策による第三者の立ち入り機会が少なくなり、法人の取り組みである虐待防止チェックを2度行い、その結果を基に事業所内で事例検討や意見交換等を行いました。

東京都福祉保健財団主催の高齢者虐待防止研修に職員1名が参加しました。

5. 機能回復訓練の実施について

(1) 個別機能訓練実施計画書に基づく機能訓練の実施

機能訓練指導員（理学療法士）・介護・看護チームと作成した個別機能訓練実施計画書に基づき、リハビリを実施し、利用者の身体機能の維持・向上に努めました。

(2) 各利用者の生活に合わせながら『介護者の視点』に立ったリハビリーションを行いました。

リハビリ室に誘導が困難な利用者に対して、フロアで離床時のリハビリの機会を増やし、車椅子上の食事姿勢の安定を目的にするなど、より生活に関連するリハビリを実施しました。各利用者の生活上で問題点に着目し、車椅子やベッドでの安楽なポジショニング、クッションの置き方等の検討を介護職と連携して行いました。

移乗の際のベッドと車椅子の高さの調整を行う等、利用者個々の生活場面に合わせた配慮も行いました。

ショートステイ利用者については、毎日、リハビリを実施しました。

(3) 職員の腰痛予防対策を一層推進しました。

機能訓練指導員が利用者の状態に合わせたリフト・シートの種類の選択、使用方法の確認を行いました。安全にも一層配慮し、退院後や骨折後の利用者のリフト移乗の確認を介護職員と一緒に行いました。

リフト移乗による機能低下の可能性についても着目し、残存機能の評価を行い立位機能のある利用者には トランスマーティル等の介護用具を使った移乗方法の検討も併せて行いました。

6. 東京都福祉サービス第三者評価受審及び自己評価の実施

(1) 福祉サービス第三者評価の受審

今年度は「利用者調査」を受審し、現状のサービス内容の客観的評価を受けました。

(2) 施設サービス自己評価の実施

令和元年度に実施した施設サービス自己評価結果（セルフチェック）に基づき、サービス向上計画を作成しサービスの質の向上に努めました。

晴楓ホーム併設型短期入所生活介護事業報告

1. 事業実績報告

令和2年度晴楓ホーム併設型短期入所生活介護事業の年間利用率は、113.4%でした。

2. 重点目標報告

特別養護老人ホーム 晴楓ホーム利用者の入院等で生じる空床利用を推進し、多くの利用者がサービスを利用できるようになりました。

入退所業務を担当する中堅職員の育成に努めることで、円滑な入退所業務を行うことができました。

キャンセル等の空床が生じた場合は、キャンセル待ちの利用者等に速やかに連絡するなど柔軟に対応し、利用者のニーズに応えるように努めました。

品川区、在宅支援センター等からの緊急の利用要請に対しては、可能な限り受け入れを行いました。

感染症禍の利用のおいでは、ご家族や介護支援専門員の情報提供に基づき利用者の入所時のバイタルチェックを確実に行い、集団感染を防ぐことができました。

感染予防に努めた結果、インフルエンザA型及びの胃腸炎の罹患者は、ありませんでした。

3. 晴楓ホーム実績資料

(1) 利用者の入退所状況(入院退所・退院再入所を含む)

		入 所 者 数				退 所 者 数			1日付 在籍者数
		在宅	病院を退院	退院再入所	その他	入院	死亡	その他	
4月	男	0	0	1	0	1	0	0	7
	女	0	0	5	0	6	1	0	73
	計	1	0	6	1	7	1	0	80
5月	男	0	0	1	0	2	0	0	8
	女	0	0	5	0	4	0	0	71
	計	0	0	6	0	6	0	0	79
6月	男	0	0	0	0	0	0	0	8
	女	0	1	3	0	5	1	0	69
	計	0	1	3	0	5	1	0	77
7月	男	0	0	0	0	1	0	0	8
	女	2	0	4	2	2	0	0	67
	計	2	0	4	2	3	0	0	75
8月	男	0	0	1	0	0	0	0	7
	女	0	0	5	1	8	0	0	73
	計	0	0	6	1	8	0	0	80
9月	男	0	0	0	0	2	0	0	8
	女	1	0	2	0	3	1	0	71
	計	1	0	2	0	5	1	0	79
10月	男	1	0	1	0	0	0	0	6
	女	0	0	3	0	2	1	0	70
	計	1	0	4	0	2	1	0	76
11月	男	0	0	0	2	1	0	0	8
	女	0	0	0	1	3	0	0	70
	計	0	0	0	3	4	0	0	78
12月	男	0	0	0	0	0	0	0	9
	女	1	0	2	0	2	1	0	68
	計	1	0	2	0	2	1	0	77
1月	男	0	0	0	1	0	0	0	9
	女	2	1	2	1	4	1	0	69
	計	2	1	2	2	4	1	0	78
2月	男	1	0	0	1	2	0	0	10
	女	1	0	1	1	4	0	0	70
	計	2	0	1	2	6	0	0	80
3月	男	0	0	0	0	0	0	0	9
	女	0	1	4	1	3	0	0	68
	計	0	1	4	1	3	0	0	77
2年度総計		10	3	40	12	55	6	0	
元年度総計		4	1	40	7	50	3	1	

※退所欄「その他」は在宅復帰者・一時利用（入所）契約の終了者等。

※入所欄「その他」は、軽費老人ホーム・老人保健施設、有料老人ホーム等からの入所。

※入院による退所は7日経過後の人数。（介護保険法上の規定）

※入院者総数（7日以内退院者含む）57名（元年度50名）

[最近3年間の推移]

年度	入所者数	退所者数
30	72	71
元	52	54
2	55	61

(2) 年齢分布等の構成

令和3年 3月31日現在(以下同)

年齢区分	男 性		女 性		計	
	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
100歳以上	0	0.0	5	7.1	5	6.4
90~99	4	50.0	31	44.3	35	44.9
85~89	4	50.0	20	28.6	24	30.8
80~84	1	12.5	5	7.1	6	7.7
75~79	0	0.0	5	7.1	5	6.4
70~74	1	12.5	3	4.3	4	5.1
65~69	0	0.0	1	1.4	1	1.3
60~64	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	10	100.0	70	100.0	80	100.0

(小数点第2位四捨五入)

平均年齢 88.7歳

最高年齢 104歳

男性 87.1歳

最低年齢 68歳

女性 88.9歳

※過去平均年齢 30年度88.4歳 元年度89.8歳

男女比

性 別	人 数	(%)
男 性	10	12.0
女 性	70	88.0
合 計	80	100.0

(3) 認知症日常生活自立度状況 (年度末現在)

認知レベル	30年度	元年度	2年度	%
自 立	1	1	0	0.0
I (軽度)	3	1	2	2.6
II (中度)	17	20	19	24.4
III (重度)	35	34	35	44.9
IV (最重度)	19	19	21	26.9
M (治療対象 レベル)	5	3	3	3.8
合 計	80	78	80	100

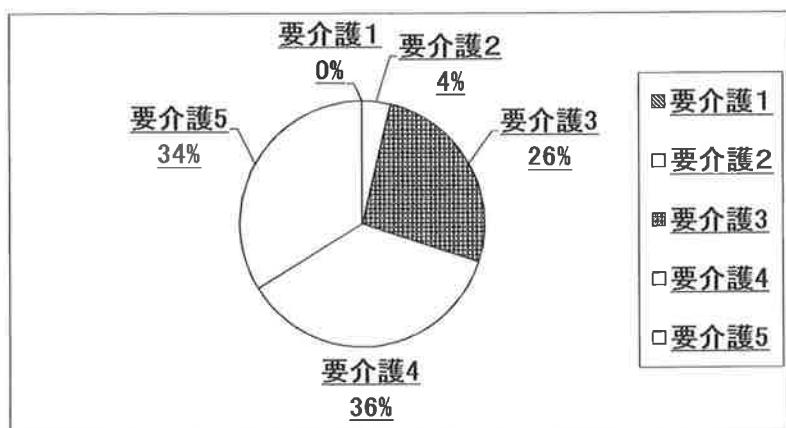
※II・IIIは各々a・bに分かれるが一括して集計

※III以上の割合: 76% (元年度72%)

(4) 要介護度別分布

区分	要介護度別内訳					計
	1	2	3	4	5	
人 数	0	3	21	29	27	80
構成比 (%)	0.0	3.8	26.0	36.2	34.0	100.0
令和元年度構成比	0.0	5.1	20.5	41.0	33.3	100.0

※ 4+5合計割合比率：30年度 65.0% 令和元年度 74.3% 2年度 74.3%



※平均要介護度：平成30年度 3.85 令和元年度 3.95 2年度 3.90

(5) ホーム骨折件数及びインフルエンザ等感染症発生状況

月	日	年齢	発生部位	時 間	発生場所	入院期間	処 置
4	1	92	左大転子部	不明	不明	18	手術
	29	87	左大腿骨大骨子部骨折	不明	不明	0	保存
5	11	89	右脛、腓骨	6時10分	食堂	43	手術
7	9	85	右大腿骨インプラント骨折	10時30分	浴室	0	保存
8	1	93	胸骨	不明	不明	0	保存
9	11	77	左大転子部	不明	不明	0	保存
10	7	99	胸椎圧迫	不明	不明	入院中死亡	手術
12	2	84	第4、5胸椎圧迫	不明	不明	0	保存
2	19	96	第3、4、5胸椎圧迫	不明	不明	0	保存
合計	3		※令和2年度骨折件数3件				

・インフルエンザ（A・B型）－0名（A）

※インフルエンザ予防接種－78名 10月実施

・胃腸炎－0名 ・コロナウイルス－1名

(6) ホーム救急車要請件数

月	日	年齢	症 状	時 間	場 所
4	23	94	心停止	6時09分	居室
5	1	97	呼吸停止	0時10分	居室
	2	94	多臓器不全	1時35分	居室
	8	98	SP02低下	17時25分	フロア
	10	89	SP02低下	15時10分	居室
6	10	92	心肺停止	3時00分	居室
	18	87	SP02低下	19時58分	居室
	19	93	胸苦	10時40分	居室
7	29	95	SP02低下	21時40分	居室
8	12	95	SP02低下	0時30分	居室
9	5	89	心停止	6時15分	居室
10	20	92	心不全。胸水	0時25分	居室
	29	82	誤嚥性肺炎	9時35分	居室
11	17	99	SP02低下	18時10分	居室
12	6	90	心肺停止	0時20分	居室
	14	85	血圧上昇	0時20分	居室
	21	100	SP02低下	22時00分	居室
	22	100	意識消失	18時40分	居室
	23	92	意識消失	12時05分	居室
1	2	88	低体温	11時00分	居室
	7	99	血圧低下	16時40分	居室
	10	99	意識低下	16時15分	居室
	13	92	誤嚥性肺炎	14時00分	フロア
2	13	92	胸苦	3時00分	居室
	17	85	嘔吐	18時30分	居室
	22	95	嘔吐	3時15分	居室
3	4	85	頭痛	0時35分	居室
3	11	98	SP02低下	14時20分	居室
合計	28		※30年度救急車要請18件		

※夜間・早朝時間帯オンコール件数22件（オンコール：看護職員との24時間連絡体制）

※(5) (6) ショートステイは救急車要請0件 骨折事故0件。

(7) ヒヤリハット・事故状況

ヒヤリハット報告状況

※受診・治療にいたらなかったもの

	ホーム	ショート	合計
4月	5	4	9
5月	8	4	12
6月	7	2	9
7月	1	1	2
8月	5	3	8
9月	9	0	9
10月	5	0	5
11月	5	1	6
12月	8	2	10
1月	7	4	11
2月	6	3	9
3月	3	2	5
合計	69	26	95
30年度	120	21	141
元年度	116	14	130

事故報告状況(感染症含む)

※受診・治療を行ったもの

但し、感染症はホーム内療養者含む。

	ホーム	ショート	合計
4月	3	0	3
5月	4	0	4
6月	2	0	2
7月	3	0	3
8月	4	0	4
9月	2	0	2
10月	3	0	3
11月	1	0	1
12月	7	0	7
1月	5	0	5
2月	3	0	3
3月	2	1	3
合計	39	1	40
30年度	38	4	42
元年度	22	4	26

[内訳] 転倒・創傷・打撲等 - 6 件

骨折 - 4 件

胃腸炎 - 0 件

インフルエンザ - 0 件

所在不明 - 1 件

肺炎等その他 - 29 件

(8) 医療器具使用者等医療状況

項目	令和2年 度末人数	割合(対在籍80 名)	令和元年 度末人数
胃瘻実施者	5	6.3%	4
痰吸引者	6	7.5%	5
バルン挿入者	1	1.3%	1
ペースメーカー	2	2.5%	3
B・C型肝炎	4	5.0%	4
M R S A・ 綠膿菌保菌	1	1.3%	1

(9) 防災訓練実施状況

月	日	曜日	訓 練 内 容
4	25	木	夜間出火想定（火点：4階 機械浴室）
5	23	木	夜間出火想定（火点：5階 事務所）
6	27	木	夜間出火想定（火点：東海ホーム6階）
7	25	木	夜間出火想定（火点：4階 機械浴室）
8	22	木	夜間出火想定（火点：5階 給湯室）
9	26	木	夜間出火想定（火点：わかくさ荘）
10	24	木	昼間出火想定（火点：1階 クリーニング室）
11	29	日	事業継続訓練（火点：5階 511号室）
12	26	木	夜間出火想定（火点：東海ホーム7階）
1	23	木	夜間出火想定（火点：5階 516号室）
2	27	木	夜間出火想定（火点：4階 給湯室）
3	26	木	夜間出火想定（火点：5階 516号室）

※感染症のため机上訓練

(10) 職員研修・見学参加状況

(外部研修)

主催	研修名	実施日	人数
品川介護専門学校品川福祉カレッジ	認知症専門コース（ファシリテーターで参加）	6月18日、7月22日、11月19日、11月21日、2月27日	1
公益財団法人 総合健康推進財団	令和2年度東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	全6回	1
東京都福祉保健財団	喀痰研修	10月～3月	2
東京都福祉保健財団	東京都虐待防止研修	12月15日	1

(内部研修)

主催	研修名	実施日	人数
晴楓ホーム	全体ミーティング（第1回） (事業計画・報告・虐待防止・身体拘束・事故防止・看取り・感染症・予算等)	①6月18日 ②7月2日 ③7月9日	全介護職員対象
晴楓ホーム	全体ミーティング（第2回） (事業計画・虐待防止・身体拘束・事故防止等)	①2月18日 ②2月25日 ③3月3日 ※感染症予防のため中止 書類回覧	全介護職員対象
晴楓ホーム	感染症予防研修（ガウンテクニック、吐しや物処理等）	全4回実施	15
晴楓ホーム	緊急対応訓練	全7回実施	18
晴楓ホーム	リフト勉強会（リフトリーダー研修受講者による実技勉強会）	全2回実施	15
晴楓ホーム	新採用職員フォローアップ研修	10月1日	5
法人研修	実務研究発表	11月9日	4
法人研修	感染症予防研修	ウェブで実施	29

(11) 行事等実施状況

月 日	行事名等	内 容	備 考
4 8 25	利用者集会 防災訓練(4階)	※毎月第1木曜日実施	
5 1 3 7 28	福栄会開設記念日 菖蒲湯週間 利用者集会 防災訓練(5階)		
6 3 25	利用者集会 防災訓練(東海ホーム) 利用者健康診断	※消防訓練参加 採血・心電図	
7 1 7 13 16 花火を楽しむ会 30	都知事不在者投票 七夕 お盆/迎え火 お盆/送り火 花火を楽しむ会 防災訓練(4階)	短冊作り・飾りつけ 1階中庭	
8 18 20 22	物故者慰靈法要 花火を楽しむ会 防災訓練(5階)	1階ロビー・中庭にて慰靈札安置供養 1階中庭	
9 10 26	長寿を祝う会 防災訓練(わかくさ荘)	消火班にて参加	
10 22	防災訓練(わかくさ荘) インフルエンザ予防接種	消火班にて参加 ※ホーム嘱託医にて複数回実施	
11 29	町会合同防災訓練(火点5階)	B C P参集訓練実施	合同訓練は中止
12 5 24 31	利用者集会 防災訓練(東海ホーム7階) 大晦日	消火班にて参加 年越しそば	
1 1 7 8 11 24	元旦・高齢者福祉部長挨拶 七草粥 利用者集会 鏡開き 防災訓練(5階)	祝膳行事食(1、2日) 昼食ぜんざい	
2 3 27	節分 防災訓練(4階)	豆まき、鬼退治	
3 3 25	ひな祭り 防災訓練(5階)	行事食	

(12) 晴楓ホームの利用者状況経過

※入所・退所者実数は退院再入所・入院退所者を含む。

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
入所者実数	67	77	52	45	64	68	67	90	74	49	54	62
退所者実数	65	51	45	51	56	71	74	80	67	54	50	62
平均年齢	87.0	87.0	88.0	89.0	89.9	90.6	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	89.2
男性数(3月末)	12	10	14	14	13	14	10	7	8	9	11	10
女性数(3月末)	65	67	64	64	67	63	62	64	71	68	65	69
平均要介護度	3.80	3.92	3.83	3.73	3.50	3.60	3.60	3.60	3.60	3.70	3.70	3.80
特養利用率	93.1%	94.3%	95.0%	94.2%	95.7%	96.9%	93.7%	95.0%	97.8%	97.7%	95.9%	95.0%
ショート利用率	133.9%	119.5%	133.7%	136.9%	127.0%	128.3%	109.1%	114.4%	109.0%	96.0%	92.8%	107.0%
合計利用率	96.8%	96.6%	98.5%	97.7%	98.5%	99.7%	95.1%	96.1%	98.8%	97.5%	95.4%	96.1%

	29年度	30年度	合和元年度	2年度
入所者実数	53	71	52	65
退所者実数	53	70	54	61
平均年齢	88.0	88.4	89.8	88.7
男性数(3月末)	8	7	8	10
女性数(3月末)	71	73	70	70
平均要介護度	3.71	3.85	3.95	3.90
特養利用率	99.0%	98.7%	99.3%	97.4%
ショート利用率	119.0%	118.7%	117.3%	113.4%
合計利用率	100.8%	100.5%	100.9%	98.9%

東海ホーム（軽費老人ホームA型）事業報告

1. 基本方針

(1) 家庭的で開放された施設作りを目指しました。

新型コロナウイルス感染症まん延防止対策を実施しながら、安心・安全に生活できるように努めました。

(2) 虐待防止規定に基づき虐待防止に向けた取り組みを進めました。

日々（毎日）行われる夕方のミーティングでは、職員間の気づきを積極的に発言し合い、虐待防止に努めました。

(3) 地震等災害への自衛防災体制の徹底を図りました。

新型コロナウイルス感染症まん延防止対策を実施しながら、訓練の内容を変更して実施しました。

2. 重点目標

(1) 東海ホームの利用者がその人らしい生活を送れるように利用者の健康状態及び生活状況を踏まえて、それぞれの計画に基づいた支援を提供しました。

入所前からのその人らしい生活のアセスメントを行い継続して生活が送れるように、デイサービスや訪問看護などを利用し、長くホームでの自立した生活が送れるように、計画に基づいた支援を行いました。

(2) レクリエーション活動などのプログラムの提供を図り、利用者が健康を維持し、安心できる生活を送れるように支援しました。

新型コロナウイルス感染症で、外出が制限される中、ホーム内の、行事やクラブ活動などをできる限り行い、気分転換できるように支援しました。

(3) 利用者が地域で生活することを支援するとともに、就労の継続など社会参加を進めました。また、地域貢献活動（サロン開催）等への職員派遣は、新型コロナウイルス感染症の関係で、実施できませんでした。

(4) 設備整備を行い良好な居住環境を提供し、利用者が快適な生活を送れるように整備しました。

3. 東海ホーム実績資料

(1) 利用者の入退園状況

月	入園者数			退園者数		
	家庭から	その他	病院から	特養ホームへ	その他へ	ご逝去
4月	男					
	女				1	
	計				1	
5月	男	1				
	女					
	計		1			
6月	男					
	女					
	計					
7月	男					
	女					
	計					
8月	男					
	女	1				1
	計		1		1	
9月	男					
	女	1				
	計		1			
10月	男					
	女					
	計					
11月	男				1	1
	女					
	計				2	
12月	男	1				1
	女	1				
	計		2		1	
1月	男		1			
	女					
	計		1			
2月	男					
	女				1	
	計				1	
3月	男		1			
	女					
	計		1		1	
総計	男	2	2		2	2
	女	2			2	1
	計		7		7	

※入園その他とは、特養ホーム・老人保健施設・有料老人ホーム等

※退園その他とは、民間アパート・高齢者住宅・老健・病院・有料老人ホーム等

(2) 年齢構成等

[令和3年3月31日現在]

年齢区分	男性 (17名)		女性 (33名)		合計	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
100歳以上	0		0		0	
95~99	0		2	5.8%	2	4.0%
90~94	0		10	29.0%	10	20.0%
85~89	3	18.7%	5	14.2%	8	16.0%
80~84	4	25.0%	9	21.2%	13	26.0%
75~79	4	25.0%	4	11.7%	8	16.0%
70~74	4	25.0%	2	5.8%	6	12.0%
65~69	1	6.2%	2	5.8%	3	6.0%
60~64	0		0		0	
合計	16	100%	34	94%	50	100%

平均年齢 82.7歳

男性 78.7歳

男性最高年齢

88歳(昭和9年生)

女性 84.2歳

女性最高年齢

98歳(大正12年生)

(3) 在籍期間

[令和3年3月31日現在]

	1月以内	1月 ～6月以内	6月 ～1年以内	1年 ～3年以内	3年 ～5年以内	5年 ～10年	10年以上
男	0	3	0	3	3	5	3
女	1	0	2	10	9	8	3
合計	1	3	2	13	12	13	6

※最長 平成2年8月入所 29年在籍(女性)

※平均 5年

(4) 介護度状況・ホームヘルプ利用状況(人)

[令和3年3月31日現在]

区分	人数	ホームヘルプ利用状況		デイサービス・リハビリ等利用状況	訪問看護	訪問リハ	単リハ
		生活援助	身体介護				
なし	4	1	0	0	1	1	
総合事業	8	4	3	6	0	1	
要支援1	7	2	2	0	1	2	
要支援2	6	6	2	3	1	3	
要支援合計	13	8	4	3	2	5	
要介護1	20	15	13	14	1	2	
要介護2	3	3	3	3	0	1	
要介護3	2	0	0	0	0	0	
要介護4	0	0	0	0	0	0	
要介護5	0	0	0	0	0	0	
新規調査中	0	0	0	0	0	0	
区分変更中	1	1	0	0	1	0	
要介護合計	26	19	16	17	2	3	
合計	50	27	20	20	4	8	

※生活援助(洗濯・外出同行等)

※身体介護(通院・外出介助等)

(5) 要介護者の主な職員介助内容

[令和3年3月31日現在]

介助内容	人数	備考欄
入浴	13	見守り・声掛け含む
喫食	6	声掛け・誘導
通院	11	職員通院同行者 *生活保護受給者含む
服薬	19	居室セット含む
排泄	4	トイレ誘導・オムツ交換

(6) 身体障害者手帳所持状況

[令和3年3月31日現在]

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
1種	1	0	0	0	0	0	1
2種	0	0	1	1	0	0	2

(7) 愛の手帳所持状況

[令和3年3月31日現在]

	1度	2度	3度	4度	計
人数	0	1	2	2	5

(8) 利用料別内訳

[令和3年3月31日現在]

①本人負担額 (平成12年7月1日以降に入所の方)

	生活費	サービスの提供に要する費用	本人負担額	人数
1	54,230	10,000	64,230	36
2	54,230	13,000	67,230	4
3	54,230	16,000	70,230	2
4	54,230	19,000	73,230	2
5	54,230	22,000	76,230	1
6	54,230	25,000	79,230	1
7	54,230	30,000	84,230	2
8	54,230	35,000	89,230	
9	54,230	40,000	94,230	
10	54,230	45,000	99,230	1
11	54,230	50,000	104,230	
12	54,230	57,000	111,230	
13	54,230	64,000	118,230	
14	54,230	71,000	125,230	
15	54,230	78,000	132,230	
16	54,230	85,000	139,230	
17	54,230	93,000	147,230	
18	54,230	101,000	155,230	
19	54,230	109,000	163,230	
20	54,230	117,000	171,230	
21	54,230	119,100	173,330	
		合計	49	

②本人負担額

	生活費	サービスの提供に要する費用	本人負担額	人数
1	35,550	0	35,550	
2	38,950	0	38,950	
3	41,250	0	41,250	
4	43,250	0	43,250	
5	45,250	0	45,250	
6	47,250	0	47,250	
7	49,250	0	49,250	
8	51,250	0	51,250	
9	53,250	0	53,250	
10	55,850	0	55,850	
11	58,550	0	58,550	
12	61,250	0	61,250	
13	63,850	0	63,850	1
14	64,230	0	64,230	
		合計		1

※本人負担額=生活費+サービスの提供に要する費用+冬季暖房費

※冬季暖房費・本人負担額(11月～3月) 一室を一人で利用しているもの 2,130円(月額)

注1) 平成12年6月30日以前入所者で、前年の対象収入が126万円以下の者は、②の表を適用する。

注2) 対象収入(利用料算出の基になる収入)とは、前年の収入(社会通念上収入として認定することが適当でないものを除く)から租税、社会保険料、医療費等必要経費を控除した後の収入をいう。

(9) ヒヤリハット・事故報告状況

ヒヤリハット状況報告				
	6階	7階	その他	合計
4月				
5月	1			1
6月				
7月	1			1
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月		1		1
合計	2	1	0	3
平成31年度	5	3	0	8
平成30年度	2	4	0	6
平成29年度	3	3	0	6

<内訳> 紛失(1)・転倒(2)・その他(5)

事故報告状況			
	6階	7階	合計
4月			
5月	1		1
6月			
7月	1		1
8月			
9月	1		1
10月			
11月			
12月	1		1
1月			
2月			
3月	2		2
合計	6	0	6
平成31年度	0	4	4
平成30年度	6	3	9
平成29年度	4	3	7

<内訳>緊急対応(4)

(10) 結核・インフルエンザ・感染性胃腸炎疑い発生状況

	結核	インフルエンザ	感染性胃腸炎
平成29年度	0	5	0
平成30年度	0	5	0
平成31年度	0	0	0
令和2年度	0	0	0

(11) 救急対応 5件

腰痛(1)、心筋梗塞(1)、右大腿骨頸部骨折・右上腕骨骨折(1)、
腰部圧迫骨折の疑い(1)、突発性好酸球增多症(1)

(12) 防災訓練実施状況

月	日	曜日	訓練内容 (火点等)	利用者参加者数
4	23	木	夜間出火想定 (火点: 4階 機械浴室) 設備点検	37
5	21	木	夜間出火想定 (火点: 5階 給湯室) 設備点検	不参加
6	25	木	夜間出火想定 (火点: 東海ホーム 6階 洗濯室) 設備点検	38
7	30	木	夜間出火想定 (火点: 4階 機械浴室) 設備点検	不参加
8	20	木	夜間出火想定 (火点: 5階 給湯室) 設備点検	不参加
9	24	木	夜間出火想定 (火点: わかくさ荘 306号室) 設備点検	不参加
10	22	木	昼間出火想定 (火点: 1階 クリーニング室) 設備点検	不参加
11	22	日	町会合同防災訓練 (火点: 5階 511号室) 設備点検	不参加
12	24	木	夜間出火想定 (火点: 東海ホーム 7階 洗濯室) 設備点検	不参加
1	21	木	夜間出火想定 (火点: 4階 機械浴室) 設備点検	不参加
2	25	木	夜間出火想定 (火点: 4階 機械浴室) 設備点検	不参加
3	25	木	夜間出火想定 (火点: 5階 事務室) 設備点検	不参加

新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、訓練内容を変更し、利用者参加を見合わせました。

(13) 外部研修参加状況

主催	実施日	研修名	受講職員職種
東京都高齢者権利擁護推進事業介護サービス事業管理者	11月16日	「高齢者虐待防止研修」	施設長(1名)

(14) 福祉専門学校等実習生の受入れ

学校名: 品川区福祉事務所 実習	7月17日・9月15日	6名
品川区社会福祉協議会社会福祉士養成コース	9月7日～11月5日	6名
日本福祉教育専門学校	8月5日～9月5日(8日間 1名計24日間)	3名

(15) 事業実施報告

月	日	行事・活動名	内 容	備 考
4	2 8 8 12 16 28	利用者集会・体重測定 折り紙クラブ 花まつり甘茶 書道クラブ 工作クラブ 五月人形飾り	新年度の職員体制について マスク作り・アマビエ塗り絵	利崎町会ミニサロン中止 東海マップ中止 茶話会中止
5	1 7 8 13	開設記念日 利用者集会・体重測定 書道クラブ 折り紙クラブ	福栄会まつり中止について	利崎町会ミニサロン中止 福栄会まつり中止 ひろまち保育園来訪中止 カラオケ中止 東京マックス美容中止 東海マップ中止
6	6 10 12 23 28	利用者集会・体重測定 折り紙クラブ 書道クラブ 健康診断 お楽しみ給食	お楽しみ給食・シャワー浴について 栄養課	利崎町会ミニサロン中止 町内祭礼中止 給食懇談会中止 北品川第二保育園来訪中止 お出かけ行事中止 ボランティア懇談会中止 ミニバイキング中止 手話ダンス中止
7	2 8 10 12 22 26	利用者集会・体重測定 折り紙クラブ 書道クラブ お盆入り 16日送り火 茶話会 ビデオ観賞会『悲しき口笛』	茶話会・害虫駆除について	利崎町会ミニサロン中止 1セットバー中止 東海中清掃ボランティア中止 音楽療法中止 ウクレレC中止 ピューティークラブ中止
8	6 12 14 18	利用者集会・体重測定 折り紙クラブ 書道クラブ 物故者慰靈法要	納涼祭中止、物故者法要について	利崎町会ミニサロン中止 利崎町会納涼祭中止 カラオケ中止 東海マップ中止
9	3 9 10 11 20~26	利用者集会・体重測定 折り紙クラブ 長寿を祝う会（該当者のみ式に参加） 書道クラブ お彼岸	長寿を祝う会について 卒寿1名、米寿3名、	利崎町会ミニサロン中止 ひろまち保育園児来訪中止 東海中学校敬老訪問中止 宿場祭り中止 手話ダンス中止 家族懇談会中止 宿場祭り中止
10	3 9 14 26 31	利用者集会・体重測定 書道クラブ 折り紙クラブ インフルエンザ予防接種 東海まつり（介護予防）	赤い羽根共同募金について 【浅草】がテーマ、射的や輪投げを楽しむ	利崎町会ミニサロン中止 ジブランタ生命ボランティア 中止 カラオケ中止 ミニバイキング中止 東京マックス中止 お出かけ行事中止
11	5 11 13 15	利用者集会・体重測定 折り紙クラブ 書道クラブ お楽しみ給食 紅葉・イルミネーションドライブ (14・16・17・18日)	お楽しみ握り寿司給食、紅葉ドライブについて 栄養課 ドライブは車中のみ	利崎町会ミニサロン中止 総合防災訓練中止 福栄会さんま祭り中止 介護予防講座(口腔ケア)中止 北品川第二保育園来訪中止 給食懇談会中止 ウクレレC中止

月	日	行事・活動名	内 容	備 考
12	3 9 11 13 15 7・17 21	利用者集会・体重測定 折り紙クラブ 書道クラブ 年末の集い 健康診断 工作クラブ ゆず湯	健康診断・年末年始について 東海ホーム利用者と職員のみ LEDライトを使って雪だるまのクリスマス飾りを作る	洲崎町会ミニサロン中止 品川消防署少年消防団 来訪中止
1	1 7 9 13 ,10 11 17 24 31	元旦ご挨拶 七草がゆ 利用者集会・体重測定 折り紙クラブ 書道クラブ 鏡開き 利用者新年会 ビデオ観賞会『銀座の恋の物語』 工作クラブ	感染症予防・新年会について 鬼のお面作り	洲崎町会ミニサロン中止 東海中生徒職場訪問中止 ピューティクラブ中止 P T 体操中止
2	2 4 10 12 23	節分 利用者集会・体重測定 折り紙クラブ 書道クラブ 工作クラブ	防音対策工事、喫煙所移動について アマビエマスクット作り	洲崎町会ミニサロン中止 カラオケ中止
3	5 10 11 17～23	利用者集会・体重測定 折り紙クラブ 書道クラブ お彼岸 お花見ドライブ(22・24・26・29・31日)	お花見ドライブについて ドライブは車中のみ	洲崎町会ミニサロン中止

(16) 入所選考委員会実施状況

月	日	委員会
4	1	第1回入所選考委員会
2	21	第2回入所選考委員会

在宅サービス課事業報告

1. 基本方針【在宅サービス課共通】

地域包括ケアシステムの推進を目指し、「できる限り住み慣れた我が家で暮らす」ことが実現できるよう、利用者への自立支援、家族支援を念頭に置き、また、多職種（他事業所）及び地域住民と連携し、継続したサービス提供に努めました。

2. 重点目標【在宅サービス課共通】

（1）安定した利用の確保に努めます。

介護サービスを必要とする利用者に対し、適切な支援を継続しました。また、他事業所と連携し、より一層信頼される事業所づくりに努めました。

（2）地域に根ざした施設運営の充実を図ります。

ミニサロンや地域ミニディなどの多様な地域事業について、地域住民及び関係事業所との連携を強め、より一層の内容充実を図る予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、大部分の交流を中止としました。介護予防サービス（地域ミニディ）については、下半期より実施場所を東品川ゆうゆうプラザに移し、その地域の実情やニーズに合わせた調整を行いました。

（3）高齢者・障害者福祉部との連携強化を図ります。

障害者福祉サービスを利用している利用者が介護保険制度に移行する際、柔軟な受け入れを行い、障害者サービスから高齢者サービスに円滑に移行し、切れ目のないサービス提供に努めました。

※区分 ①法人 ②品川区 ③東京都・社協 ④その他（事業所外） ⑤事業所内

区分	研修名	内 容	実 施 日	参 加 者
東品川在宅介護支援センター				
②	高齢者総合相談システム研修	品川区高齢者支援システムの使用方法について	5月14日	1名
④	地域包括新任研修	地域包括支援センター基礎知識	6月29日、30日	1名
①	在宅サービス課全体研修	令和1年度決算状況確認・令和2年度事業計画書確認	6月30日	9名（※全体開催は中止とし、部課長・管理者のみで開催）
②	ケアプランサポート研修	医療等の多様な視点からのアセスメントを学ぶ	7月14日	1名
②	虐待防止研修	虐待に対しての基礎知識を学ぶ	7月22日	1名
③	介護支援専門員更新研修専門Ⅰ	資格更新のための研修	9月14日～	1名
④	パーキンソン病について	パーキンソン病を理解する	9月17日	1名
⑤	セキュリティー研修	個人情報などの管理について	8月14日	11名
③	介護支援専門員更新研修専門Ⅱ	資格更新のための研修	10月2日～	1名
②	ケアマネジメント質の向上研修	ケアプラン点検及びプラン作成の視点とポイント	10月13日	1名
②	精神保健地域サポート研修	精神疾患のある方を地域で支えるための視点	11月17日	3名
⑤	感染症予防研修	新型コロナウイルス予防について	11月27日	11名
②	ゲートキーパー研修	自殺の現状と「死にたい」を理解する	12月2日	3名
③	精神保健福祉研修	自殺に傾くこころを開き支援につなぐ	12月10日	1名
③	精神保健福祉研修	引きこもりの理解	1月22日	1名
④	地域包括現任研修	地域包括支援センターの役割など	2021/1/28・29	1名
④	高次脳機能障害について	高次脳機能障害の理解	2月16日	1名
②	自立支援・重度化防止に向けた介護支援専門員研修	医療等の多様な視点からのアセスメントを学ぶ	3月26日	1名
①	法人研修	上級救命研修	3月1日	1名
東品川在宅サービスセンター				
①	異動職員対象OJT研修	日常業務の習得・利用者の基本情報の把握	4月1日～6月30日	1名
③	新任研修(品川区福祉部)	福祉部新任職員向け部内事業概要	書類配布	1名
①	在宅サービス課全体研修	令和1年度決算状況確認・令和2年度事業計画書確認	6月30日	9名（※全体開催は中止とし、部課長・管理者のみで開催）
②	情報セキュリティ研修	福栄会の情報管理安全対策	7月1日～	14名
①	安全衛生委員会研修	職場のメンタルヘルスについて	7月1日～	14名
②	虐待防止研修	虐待チェックリストを基に、各個人の対応について振り返り	8月1日～	40名（常勤：非常勤）
①	異動職員対象OJT研修	日常業務の習得・利用者の基本情報の把握	10月1日～12月31日	1名
⑤	認知症対応研修	認知症の対応について学ぶ（DVD使用）	10月20日	14名
①	感染症研修	感染症の基礎知識を学ぶ	11月27日	14名
④	サービス研修	他事業所との差別化の方法を学ぶ	11月27日	2名
⑤	業績評価者研修	職員の業績評価の方法を学ぶ	12月4日	1名
①	上級救命講習	上級救命講習	2021/1月～随時	3名
ヘルパーステーション東品川				
⑤	基礎研修	新型コロナウイルスに関するサービスの対応について	5月11日	8名
①	在宅サービス課全体研修	令和1年度決算状況確認・令和2年度事業計画書確認	6月30日	9名（※全体開催は中止とし、部課長・管理者のみで開催）
⑤	基礎研修	緊急時の対応について	7月27日	5名
①	情報セキュリティ研修	情報管理安全対策	7月28日	3名
⑤	基礎研修	食中毒について	8月3日	8名
①	安全衛生委員会研修	感染症予防研修	8月18日	3名
⑤	基礎研修	看取りケア	2月15日	3名

在宅サービス課職員研修報告（大崎在宅介護支援センター／大崎在宅サービスセンター／五反田保育園ふれあいデイホーム）

※区分 ①法人 ②品川区 ③東京都・社協 ④その他（事業所外） ⑤事業所内

区分	研修名	内 容	実 施 日	参 加 者
大崎在宅介護支援センター				
③	認定調査員研修	認定調査員について	4月17・27日	2名
②	高齢者総合支援システム研修	品川区高齢者支援システムの使用方法について	5月13・14日	2名
①	在宅サービス課全体研修	令和1年度決算状況確認・令和2年度事業計画書確認	6月30日	9名（※全体会議は中止とし、部課長・管理者のみで開催）
②	ケアプランサポート研修	新任ケアマネ向け研修	7月14日	2名
②	虐待予防基礎研修	虐待の基礎を学ぶ	7月22日	1名
①	情報セキュリティ研修	個人情報などの管理について	7月	12名
②	福祉カレッジ 認知症ケア専門コース	認知症の基本的理解と生活への影響など	8月18日	2名
①	感染症予防研修	【動画】新型コロナウイルス感染症予防	8月	10名
②	パーキンソン病を知りたい	パーキンソンの特徴や治療法などを学ぶ	9月13日	4名
③	介護支援専門員研修専門II	資格更新の為の研修	9月27日～	1名
③	主任介護支援専門員更新研修	資格更新の為の研修	10月3日～	2名
②	ケアマネジメント質の向上研修	ケアプラン点検及びプラン作成の視点とポイント	10月12・13日	2名
③	地域ケア会議実践者養成事業	自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議	11月8日・12月19日	1名
③	精神保健福祉研修	アウトリーチ支援の理念と実践的課題について	11月4日	1名
③	精神保健福祉研修	薬物依存への支援を探る	11月5日	1名
③	精神保健福祉研修	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム	11月16日	1名
②	住宅改修研修	住宅改修の基本的な知識を学ぶ	11月20日	2名
②	ケアマネジメント講座	ケアマネジメントの標準化	11月19日～計4回	2名
④	生活支援記録法	F-S P A I P を活用した記録法	12月19日	1名
③	精神保健福祉研修	精神疾患の特徴や対応について	1月26日	1名
②	介護予防ケア間地面と研修	介護予防ケアマネジメント業務と流れについて	3月15日	2名
②	自立支援、重度化防止のために	自立支援に資する介護予防ケアマネジメント	3月25日	2名
大崎在宅サービスセンター				
⑤	異動職員対象OJT研修	日常業務の習得・利用者の基本情報の把握	4月1日～6月30日	4名
②	環境法令研修	環境法令の厳守管理に必要な基本知識を習得	6月15日～30日	1名
①	在宅サービス課全体研修	令和1年度決算状況確認・令和2年度事業計画書確認	6月30日	9名（※全体会議は中止とし、部課長・管理者のみで開催）
①	情報セキュリティ研修	福栄会の情報管理安全対策	7月23日	8名
①	感染症予防研修	【動画】新型コロナウイルス感染症予防	8月	9名
①	虐待防止研修	虐待チェックリストを基に、各個人の対応について振り返り	8月1日	9名（常勤） 17名（非常勤）
⑤	介護技術向上研修	安全な移動・移乗介助	8月29日	9名（常勤） 16名（非常勤） ※非常勤資料回覧
③	東京都認知症介護実践者研修（第11回）	認知症の方の理解と対応など	10月1・2・7・8・9・28日 ※実習10/10～/27	1名
⑤	緊急対応訓練	感染症対応（吐物処理など）について	10月31日	9名
④	介護福祉士実務者研修	介護介護福祉士として必要な知識を学ぶ	10月～11月 (7日間)	1名
④	介護現場の生産性向上に関する全国セミナー	高齢者人口増加による人手不足から人材育成について学ぶ	11月5日	2名
①	業績評価者研修	職員の業績評価の方法を学ぶ	12月4日	1名
⑤	虐待防止研修	虐待防止・不適切ケア防止（DVD教材）	2月27日	9名
⑤	新型コロナウイルス感染症研修	新型コロナウイルス感染症Q&A（品川区多職種勉強会発）	3月	9名（常勤） 17名（非常勤） ※資料回覧
⑤	実務研究チーム	当年度の実務研究チームの実践報告（多種多様なレク）	3月27日	9名
五反田保育園ふれあいデイホーム				
①	情報セキュリティ研修	個人情報などの管理について	8月4日	2名
①	感染症予防研修	新型コロナウイルスについて理解する	4月14日	2名
①	身体拘束について	身体拘束について学ぶ	5月12日	2名
①	食中毒について	食中毒及び感染症の予防について	6月2日	2名
①	在宅サービス課全体研修	令和1年度決算状況確認・令和2年度事業計画書確認	6月30日	9名（※全体会議は中止とし、部課長・管理者のみで開催）
①	情報セキュリティ研修	個人情報などの管理について	8月4日	2名
①	エコリンク研修	環境について学ぶ	10月6日	2名
①	プライバシー保護研修	プライバシーについて学ぶ	11月10日	2名
①	事故防止研修	事故防止について学ぶ	12月1日	2名
①	認知症研修	認知症における精神症状を学ぶ	1月5日	2名
①	虐待防止研修	高齢者虐待を学ぶ	2月2日	2名
①	非常災害研修	災害時の対応を学ぶ	3月2日	2名

在宅介護支援センター事業報告
品川区東品川在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所）
品川区大崎在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所）

1. 基本方針【共通】

支援を必要とする方のニーズと社会資源を結びつけ、住み慣れた地域で自立した生活が送れるような支援を行いました。予防から介護まで包括的・継続的な支援を行い、一体的・効果的なサービス提供に努めました。

2. 重点目標【共通】

(1) 地域包括支援センター・在宅介護支援センター機能の充実

①制度改正への適切な対応

次期介護保険法改正の動向を注視し、その対応について指定居宅管理者である品川区と協議を図りました。また、第7期品川区介護保険事業計画の内容を踏まえた適切な支援を継続しました。

②多職種連携の推進

品川区高齢者相談支援システム及び多職種連携システムを効果的に運用するとともに、品川区及び各関係機関と連携を強め、地域の身近な相談窓口として、さまざまな介護相談に迅速かつ適切に対応しました。

③ケアマネジメントの質の向上・職員の育成

さまざまなケースに適切に対応できるよう、外部研修等を活用し、介護支援専門員のスキルアップを図りました。また、主任介護支援専門員取得にも努めるとともに、OJTの流れを整理し、事業所全体で新任職員の育成にあたりました。

④高齢者虐待の防止

高齢者虐待を防止するため、高齢者保護のための措置、高齢者の養護者の負担軽減を図る支援を、関係機関と連携を密にとり適切に行いました。

(2) 地域ネットワークづくりへの取り組み

①外出に不安がある高齢者及び認知症高齢者の支援

品川区高齢者探索支援システム「くるみプラン」を生活状況や必要度に応じて情報提供を行い、申請を促しました。区と連携しながら、安心して生活ができる地域づくりを目指しました。

②地域ニーズの把握

例年、地域の会議（ふれあいサポート会議等）に積極的に参加し、各地域内において、民生委員や町会等との情報共有・連携の強化を図って参りました。今年度はコロナ感染症拡大防止の観点より、会議形式ではなく電話等での情報共有をするなど、工夫しながら連携に努めました。また、品川区介護支援専門員協議会

(けあまネット) へも参加し、事業所間のネットワークづくりに努めました。

③認知症高齢者への支援

認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らすことができる社会を目指し、定期的に認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座を開催しました。

④地区ケア会議の充実

個別のケース検討を通じ、他機関・多職種が協働して課題解決にあたり、地域の問題解決力の向上を図るとともに、地域課題を明らかにし、地域づくりについても検討しました。

⑤高齢者・障害者包括支援相談体制構築について

令和2年1月より品川区東品川障害者計画相談支援事業所が東品川在宅介護支援センター事業所内に開設されました。高齢者・障害者それぞれの相談員が情報を共有し、地域共生社会の実現に向けて包括的な相談体制の構築を図りました。

3. 各支援センター目標

<東品川在宅介護支援センター>

(1) 事業所間連携の強化

東品川在宅サービスセンターとの情報交換・連携のしやすさを活かした事業運営を行いました。

(2) 地域貢献活動の充実

①ちえのわ教室

毎月第1土曜日に開催していた「ちえのわ教室」ですが、ボランティアスタッフが主体となって、高齢者の方を対象に脳トレ、介護予防体操等を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としています。

②アットホームカフェ

毎月第4土曜日に「わかやぐ」と同時に開催していた「アットホームカフェ」ですが認知症の相談に加えて関係事業所の協力によるイベントも開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としています。

(3) 品川区立東品川わかくさ荘（品川区立高齢者住宅・50室）等への継続支援及び「東品川身体障害者住宅」（2室）居住者への援助

品川区の指定管理を受けて、東品川在宅介護支援センターと同一建物内にある上記高齢者住宅の居住者に対し、緊急対応も含め、必要な生活支援を行います。また、防災意識の向上のため、防災訓練を毎年3回計画し実施していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、わかくさ荘住民は不参加として職員のみの動作確認訓練としました。

<大崎在宅介護支援センター>

(1) 事業所間連携の強化

大崎在宅サービスセンターとの情報交換・連携のしやすさを活かした事業運営を行いました。

(2) 地域貢献活動の充実

地域貢献事業「大崎ふくふく」を大崎在宅サービスセンター及び五反田保育園ふれあいデイホームと協働し脳トレや介護予防体操等を開催予定でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としています。

在宅介護支援センター利用状況

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査件数(新規)		0	0	2	1	1	0	5	1	0	2	3	1	16
認定調査件数(更新)		17	8	5	8	8	3	4	7	4	5	2	4	75
認定調査件数合計		17	8	10	7	9	3	9	8	4	7	5	5	161
実態把握アセス予防・介護給付		15	13	7	7	8	6	4	5	9	12	15	10	111
実態把握アセス予防事業		13	12	2	3	4	6	3	4	3	3	6	3	62
介護予防マネジメント(生活機能向上)		28	25	9	10	12	12	7	9	12	15	21	13	173
アセスマント等件数合計		28	25	9	10	12	12	7	9	12	15	21	13	173

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防給付(要支援1)		68	73	68	90	70	69	65	70	70	68	69	76	856
予防給付(要支援2)		60	67	67	54	73	73	72	73	73	71	71	59	811
総合事業対象者		28	29	30	31	31	30	32	34	35	33	33	32	377
予防給付特高合計件数		156	168	165	175	174	172	170	176	178	172	172	162	2,044
介護給付(要介護1)		51	55	56	56	60	56	59	56	61	58	61	62	691
介護給付(要介護2)		58	50	49	47	42	41	38	42	45	44	43	41	540
介護給付(要介護3)		25	30	31	33	30	31	33	31	29	29	29	32	363
介護給付(要介護4)		24	21	20	19	17	17	14	15	17	14	13	15	216
介護給付(要介護5)		8	7	7	6	6	7	6	5	6	7	7	7	79
介護給付合計		166	163	163	161	155	152	150	149	158	152	153	157	1,879
予防+介護給付合計		322	331	328	336	329	324	320	325	336	324	325	319	3,919

ちえのわ教室利用実績

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施日	実施なし												
参加者人数													

大崎在宅介護支援センター

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査件数(新規)		8	6	6	10	5	9	7	11	5	6	6	10	89
認定調査件数(更新)		22	11	16	16	16	8	9	14	12	5	7	4	140
認定調査件数合計		30	17	22	26	21	17	16	25	17	11	13	14	229
実態把握アセス予防・介護給付		13	14	13	16	16	11	8	12	12	14	6	9	144
実態把握アセス予防事業		15	14	6	7	10	8	11	4	11	5	5	4	100
介護予防マネジメント(生活機能向上)		28	28	19	23	26	19	19	16	23	19	11	13	244

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防給付(要支援1)		58	59	60	61	61	58	59	57	58	59	56	54	700
予防給付(要支援2)		72	85	78	76	81	81	77	83	81	80	80	84	958
総合事業対象者		100	84	95	93	95	97	98	96	98	91	95	98	1,140
予防給付特高合計件数		230	228	233	230	237	236	234	237	236	230	231	236	2,798
介護給付(要介護1)		66	67	64	65	64	66	66	70	80	76	73	64	830
介護給付(要介護2)		58	60	53	53	53	49	54	55	55	57	59	61	667
介護給付(要介護3)		29	25	25	27	26	25	25	26	26	22	25	26	307
介護給付(要介護4)		19	20	19	19	18	19	19	21	23	23	21	24	245
介護給付(要介護5)		11	8	6	6	4	7	6	6	9	9	9	8	89
介護給付合計		183	180	167	170	165	166	174	188	189	184	189	183	2,138
予防+介護給付合計		413	408	400	400	402	402	408	424	426	414	420	419	4,936

在宅サービスセンター（通所介護事業所）事業報告

1. 基本方針【共通】

利用者のケアプラン（介護サービス計画）に基づき、質の高いサービスの提供に努めました。利用者的心身の状況や変化にいち早く気付き、また、介護者である家族等への支援を行いながら、在宅生活の継続に視点を置いたサービス提供を行いました。

2. 重点目標【共通】

（1）地域包括ケアシステムの充実を図る。

利用者や介護者及び関係事業者と連携を図り、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができるよう、包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を図りました。また、医療的ケアが必要な利用者や認知症高齢者を積極的に受け入れ、家族の介護負担の軽減を図りました。

（2）地域貢献活動の充実及び地域との連携強化を図る。

職員が積極的に地域に出て、開放的な施設運営が図れるように町会や関係者との関わりを深めていく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、大部分の交流を中止としました。

地域交流事業（ミニサロン）や地域貢献事業（大崎ふくふく）などの地域事業について、地域住民及びボランティアとの協力・連携体制を構築し、安定した利用者確保と内容の充実を図る予定でしたが、同様に中止しています。

（3）事故防止に努め、安全かつ快適なサービスを提供します。

職員間で情報の共有を徹底し、個々の利用者の状態に応じた適切な介護を行いました。また、事故・ヒヤリハット事例を検証し、より安全な介護方法を取り入れ対応を行いました。

設備・備品について定期的に点検し、事故につながるおそれのある箇所を発見した場合、速やかに安全対策を実施しました。また、老朽化した設備・備品を計画的に更新し、より安全で快適に過ごせる環境を整備しました。

3. 各施設目標・サービス提供内容

（1）東品川在宅サービスセンター（総合事業、通常規模型通所介護 定員40名）

①品川区総合事業を推進するとともに、中重度の高齢者及び医療的ケアの必要な方についても積極的に受け入れを行いました。また、認知症ケアにおいては、専門性のあるプログラムを提供し、認知症予防や利用者の能力の最大活用ができるよう、個々のニーズに合わせたサービス提供を行いました。

②高齢者福祉部として取り組んでいる地域交流事業（ミニサロン）の内容を見直し、参加者がより楽しめるようなプログラム作りを行う予定でしたが、新型コロナウ

イルス感染拡大に伴い、各回において中止とし、また、地域ミニデイについても、サービス内容を検討し、より利用者が楽しみながら運動ができるプログラムを構築していく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各回において中止としています。尚、新しい生活様式の中での再開に伴い、開催場所を10月より、東品川ゆうゆうプラザに変更し、実施しました。

③利用者の事故を防止するため、事故・ヒヤリハット事例の検討を迅速に行いました。防止策については、朝礼等で職員全体での情報共有を徹底するとともに、業務マニュアル・手順書を適宜更新しました。

令和元年度に洗面台、トイレ・洗濯室を改修したところですが、今後、机・椅子等の老朽備品を点検し、随時入れ替えることで、より一層安全で快適な環境を整備していきます。又、今年度、全テーブルに飛沫防止シートを設置し、感染症予防にも対応しました。

(2) 大崎在宅サービスセンター（総合事業、通常規模型通所介護 定員35名）

①品川区総合事業対象者や中重度の要介護者等、通所介護計画書に基づき一人ひとりに効果的なケアを提供しました。胃瘻・痰の吸引・ストマー等の医療ニーズのある方でも安全かつ円滑な受け入れが出来るよう、各関係機関及び施設内の連携を強化を図りながら対応しました。

②地域貢献事業（大崎ふくふく一脳トレ・軽い体操・施設見学など）を定期的に開催いく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、中止としました。

③利用者の事故を防止するため、事故・ヒヤリハット事例の検討を迅速に行いました。防止策については、朝礼等で職員全体での情報共有を徹底するとともに、業務マニュアル・手順書を適宜更新しました。

職員のスキルアップを目的に、研修委員会を組織し内部研修を実施しました。

(3) 品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム（地域密着型通所介護 定員10名）

①ヒヤリハット事例を事故防止の入り口と捉え、防止策を立て、それを着実に実行することで事故を防止しました。必要な環境整備を実施し、安全に過ごせる環境を提供しました。

②介護予防や自立支援を目的とした「いきいき活動支援プログラム」などを推進しました。手芸等の創作活動など様々な活動を通して利用者の心身機能の維持・向上に努めました。

③大崎在宅サービスセンター及び大崎在宅介護支援センターと協働して、地域貢献事業の充実を図る予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、中止としました。

(4) 介護予防事業

「マシンでトレーニング」（東品川 定員10名）

「身近でトレーニング」（東品川・大崎 定員各12名）

介護予防事業の充実を図り、虚弱高齢者を積極的に受け入れました。感染予防対策を実施し、適切に事業を実施しました。

「マシンでトレーニング」で使用する機器について、新機器の配備を実施しています。担当職員に研修等を通じて新機器の適切な使用方法を身に付け、安全かつ効果の高いサービスの提供に努めました。

(5) 介護者教室の開催

介護者教室は、在宅介護者の方々への介護に関する専門的な情報提供や、関心のある身近なテーマを通して、参加者同士の自由な意見交換の場を作る事を目的としています。開催にあたっては、法人や品川区、関係各機関の協力の下、町内会の掲示板等を利用し、多くの方の参加を呼びかける予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、中止としました。

4. 家族介護者、在宅介護支援センター等との連携

サービス担当者会議等を通じて、利用者的心身の状況、おかれている環境、保険・医療サービスの利用状況の把握に努めるほか、下記の事項を実施しました。

- ①戸別訪問の実施（介護計画作成時等、随時実施）
- ②家族懇談会の実施（年1回実施：6月に実施）
- ③利用者集会の実施（年1回以上：6月の他、必要に応じ随時実施）

5. 地域との交流、ボランティアの受け入れ促進

- (1) 地域との交流（町会・自治会や近隣の保育園・小学校等）については、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、大部分の交流を中止としました。
- (2) 地域開放事業として、東品川地区で、折り紙教室「海岸通り」（毎月第2木曜日・第4金曜日）。また、地域交流事業として東品川地区で、「東品川ミニサロン」（毎月第4金曜日）、「自治八潮会サロン」（毎月第1金曜日）、「沢崎町会サロン」（毎月第3水曜日）、地域貢献事業として大崎地区で「大崎ふくふく」（年4回程度）を開催し、地域の方の参加を募り、地域交流を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、中止としました。
- (3) プログラムメニューを工夫し、ボランティアの方々が短時間でも活動しやすい体制を作るなど、ボランティアの受け入れを促進する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、それぞれの交流を中止としました。

認知症対応型通所介護事業報告

1. 基本方針

少人数で家庭的な雰囲気の中、個別のアセスメントを基に、その人らしさを引き出しながら個々の利用者の有する能力に応じた支援を提供しました。

2. 重点目標

- (1) 認知症対応型通所介護の特性を活かし、特色のある事業運営を行います。

認知症高齢者の特性を理解することで、個々の利用者に合わせた対応機能の充実を行いました。利用者や家族のニーズに合わせた柔軟な受け入れ体制やサービス提供時間の設定を行い、家族の介護負担軽減に努めました。

- (2) ケアプランに基づく、適正なサービス提供を行います。

個々のケアプランに基づき、身体介護、入浴サービス、食事サービス、送迎サービス等を適正に実施・提供します。個別ケアによる自己選択・自己決定ができる環境作りに取り組みます。個別機能訓練は、リハビリテーションセンターで日常生活に生かせる「生活リハビリ」を実施しました。

3. 各施設目標・サービス提供内容

- (1) 東品川在宅サービスセンター（1単位目 定員12名 「福栄会の家 ぽかぽか」）

利用者サービスの向上・家族の介護負担軽減を視野に入れた提供時間の調整を行い、より充実したプログラムを提供しました。（1・2単位共通）

①センター方式を一部活用するなど、より個々の利用者の有する能力に応じた自立した支援を提供しました。

②サービス内容に対する取り組み

ア 入浴サービスは、個々の身体状況に合わせ、利用者・家族と相談の上で、機械浴、介助浴、個別浴など入浴サービスを行いました。

イ 利用者が能力を最大限引き出せるよう、余暇活動において自己決定（選択）できる環境を整えました。

- (2) 東品川在宅サービスセンター（2単位目 定員12名 「福栄会の家 なごみ」）

①認知症予防プログラムの構築など、より個々の利用者の有する能力に応じた自立した支援を提供しました。

②サービス内容に対する取り組み

ア 入浴サービスは、「個別浴」方式を取り入れ、体調に留意し、各利用者のペースを重視して実施しました。

イ 利用者の能力を最大限引き出して頂くために、余暇活動やおやつ作りなど自己決定（選択）できる環境を整えました。

(3) 大崎在宅サービスセンター（定員12名 「福栄会の家 ほのぼの」）

①住み慣れた地域の中で、生活することが出来るよう、認知症予防プログラムを提供するなどサービスの質の向上を図りました。その方にとって馴染みの職員・利用者に囲まれ、安心できる居心地の良い環境を提供しました。

②サービス内容に対する取り組み

- ア 着替えや食事等の日常生活場面では、ゆっくりと自分のペースで行って頂くなど、有する能力に応じ、自立した日常生活が営めるように支援しました。
- イ 入浴サービスは、その利用者が安全かつ安心できる入浴方法（個別浴含む）で対応し、その方のペースに合わせた入浴サービスを提供しました。
- ウ 利用者個々の思いや意思を汲み取ることが出来るよう、出来るだけ選択の機会を提供しました。その方のご希望に沿ったサービス提供に努めました。

(4) 在宅介護支援センターと連携し、認知症サポートー養成講座を修了したボランティア等の力を活用する予定でしたが、新型コロナウィルス感染症予防の観点から、ボランティアの受け入れを中止としました。

(5) 介護者教室や認知症家族懇談会を通して、認知症介護から生じるさまざまな問題や課題を理解し、家族同士が交流の場を持つことで、不安やストレスの軽減を図るなど家族支援にも取り組む予定でしたが、新型コロナウィルス感染症予防の観点から、中止としました。

(6) 認知症高齢者の理解をさらに深める取り組みとして、認知症介護実践者・管理者研修を受講し、介護職員のスキルアップを図りました。

大崎在宅サービスセンター：1名が受講修了

〔別紙①〕在宅課年間行事

①東品川在宅サービスセンター・支援センター・ヘルパーステーション

月	日	行事名等	内 容
4	1 2 2 3 4 5 6 8 13 11 12 12 15 17 16 18 20 22 25 26 30	お花見ドライブ⇒中止 福栄会まつり実行委員会 係長・主任会議 給食委員会 東海ミーティング（東支援） 自治八潮会サロン（東支援）⇒中止 ちえのわ教室（東支援）⇒中止 管理者会・居宅支援事業所連絡会（東支援）⇒中止 東品川地区ケア会議⇒中止 折り紙教室⇒中止 東品川ミニサロン（第2金曜日）⇒中止 支援職員会議（東支援） 茶話会（お誕生会）週間 沢崎町会サロン⇒中止 職員会議 台場地区ケア会議 アットホームカフェ（東支援）⇒中止 ヘルパー ミーティング（東支援） 法人防災訓練 東品川ミニサロン（第4金曜日） 在宅課ミーティング⇒中止	季節行事 以降毎週火曜日実施 以降毎月第1火曜日実施 毎月第1週の水曜日実施 以降毎月第1木曜日実施 以降毎月第1金曜日開催 以降毎月第1土曜日実施 前期は7月・8月に実施 以降毎月第2月曜日に実施 地域開放交流事業、以降毎月第2木曜日・第4金曜日 以降毎月第2金曜日実施 以降毎月第2金曜日実施 以降毎月第3週に実施 以降毎月第3水曜日実施、東海ホーム職員が実施 以降毎月1回開催 以降毎月第3木曜日開催 以降毎月第3土曜日実施 以降毎月第4月曜日実施 以降毎月第4木曜日開催 以降毎月第4金曜日実施 以降毎月最終火曜日実施
5	1 6 12 17 18 22 25 25	開設記念日 菖蒲湯週間 福栄会まつり⇒中止 ひろまち保育園交流⇒中止 家族懇談会⇒中止 ちえのわ南校（東支援）⇒中止 認知症サポートー養成講座（東支援）⇒中止 認知症家族懇談会（アットホーム）⇒中止	年1回開催 奇数月第4水曜日に実施 年3回開催 年3回開催
6	7 12 15 18 20 22	昭和大学医学部附属看護専門学校実習（東支援） 品川介護専門学校 介護者教室⇒中止 城南小学校訪問⇒中止 社会福祉士実習（東支援） ボランティア懇談会⇒中止	7日・8日 12日～7月10日 夏場の熱中症対策 20日・21日 年1回開催
7	4 4 6 8 9 12 13 18 20 26 28	昭和大学医学部附属看護専門学校実習（東支援） 身近でトレーニング（土曜日）開始 マシンでトレーニング開始 身近でトレーニング（水曜日）開始 東京医療保健大学実習（東支援） 在宅課全体ミーティング わかくさ荘防災訓練（東支援） 北品川保育園交流⇒中止 介護者教室⇒中止 すいか割り⇒中止 昭和大学医学部付属看護専門学校実習	4日・5日 一般介護予防事業、以降毎週土曜日実施 一般介護予防事業、以降毎週月曜日実施 一般介護予防事業、以降毎週水曜日実施 9日・11日 月1回開催 年2回開催、法人総合防災訓練 4歳児との交流 家庭で出来るやさしい介護技術 28日・29日・30日・31日・8月18日・19日・20日・21日
8	2 3 23	社会福祉士実習（東支援） 沢崎町会納涼祭⇒中止 運営推進会議⇒中止	2日・3日・6日・7日・8日・9日・10日・13日 第1回（年2回開催）
9	10 11 21 19	ひろまち保育園交流⇒中止 センター祭り⇒中止 認知症家族懇談会（アットホーム）⇒中止 北品川保育園交流⇒中止	年3回開催

月	日	行事名等	内 容
10	5 8 10 12 19 28	ジブルタル生命ボランティア来所⇒中止 城南小学校訪問⇒中止 昭和大学医学部付属看護専門学校実習（東支援） 東京医療保健大学実習（東支援） 介護者教室⇒中止 運動会⇒中止	衛生用品の寄付あり 10日・11日 12日・15日 リハビリについて 28日・29日
11	2 5 5 5 9 16 16 18 19 24	法人経営基礎研修⇒中止 東京福祉専門学校実習受け入れ 秋の収穫祭（さんま祭り）⇒中止 城南小学校訪問⇒中止 うんどう教室（北浜公園） 品川介護福祉専門学校実習受け入れ（東支援） 介護者教室⇒中止 市民後見人見学⇒中止 紅葉ドライブ行事⇒中止 介護者激励の集い（東支援） 総合防災訓練・わかくさ荘防災訓練（東支援）⇒中止	11月2日～9日 法人行事 5年生体験授業 一般介護予防事業、以降毎月第1・3木曜日実施 9日・10日・30日 高齢者の食事 季節行事 年1回・年3回開催
12	1 7 24	品川介護福祉専門学校実習（東支援） 法人経営基礎研修 クリスマス会⇒中止	
1	6 6 30	初詣ドライブ⇒中止 理事長ヒヤリング 上級救命講習 品川学園職業体験⇒中止	季節行事
2	3 6 18 21	介護支援専門員実習（東支援） 東海中学校職業体験⇒中止 品川区デイサービスセンター合同作品展⇒中止 運営推進会議⇒中止	合計3日（3日・8日・16日） 年2回開催
3	30	新任研修 親睦会総会・歓送迎会	配属先での研修 ※感染症拡大に伴い中止

②大崎在宅サービスセンター・支援センター・五反田保育園ふれあいデイホーム

月	日	行事名等	内 容
		将棋ボランティア(大崎) バイオリンボランティア (大崎) 大正琴ボランティア (大崎) 八潮ウクレレボランティア (大崎) ギター・ハーモニカボランティア (大崎) ソプラノ(大崎) 落語ボランティア (大崎) 利用者集会 (大崎) 家族懇談会 (大崎) 折り紙ボランティア (五反田) 絵手紙ボランティア (五反田) お花見週間 (五反田) 管理者会・居宅支援事業所連絡会 (大支援) 大崎地区ケア会 (大支援)	毎週金曜日 ※コロナの為、中止 月2回 ※コロナの為、中止 大正琴を使用した演奏と合唱、月1回 ※コロナの為、中止 毎月実施 ※コロナの為、中止 毎月1回開催 ※コロナの為、中止 不定期に開催 ※コロナの為、中止 不定期に開催 落語・合唱 ※コロナの為、中止 年1回開催 ※コロナの為、延期 年1回開催 ※コロナの為、中止 季節の折り紙、毎月1回 ※コロナの為、中止 季節の折り紙、毎月1回 ※コロナの為、中止 年1回一週間程度 ※コロナの為、中止 毎月実施 ※7・10・3月実施、他の月は中止 毎月実施 ※6月～11月実施、他の月は中止
4	7	係長主任会議	以降毎月第1火曜日に実施
	8	給食委員会	以降毎月第1水曜日に実施
	9	五反田保育園ふれあいデイホーム職員会議 (五反田)	以降毎月1回実施
	9	保育園との打ち合わせ(五反田)	以降毎月1回実施 ※コロナの為、中止
16	16	西五反田地区ケア会議 (五反田)	以降月1回開催 ※コロナのため、参加を控えた
17	17	上大崎地区ケア会議 (五反田)	以降月1回開催 ※コロナのため、参加を控えた
18	18	台場地区ケア会議 (五反田)	以降月1回開催 ※コロナのため、参加を控えた
18	18	大崎S C職員会議	以降毎月1回実施
28	28	支援職員会議 (大支援)	以降も毎月1回実施
	28	在宅課ミーティング	以降毎月最終火曜日に実施
5		福栄会まつり 保育園との交流会 (五反田) 認知症家族懇談会 (アットホーム)	年1回 (法人全体) ※コロナの為、中止 不定期に開催 ※コロナの為、中止 年3回開催 ※コロナの為、中止
	5	菖蒲湯 (大崎)	1週間程度
6		貴船神社祭礼 介護者教室 支え愛活動会議サポート会議 (大崎・大支援ー管理者) 中止 ボランティア懇談会 (法人全体) 地域貢献事業「ふくふく」 (大支援・大崎・五反田) 大崎ウェブタワー全館防災訓練 (大崎・大支援) 品川介護福祉専門学校実習 (大崎)	「夏場の熱中症対策」 ※コロナの為、中止 大崎第二地域センターより書面報告あり ※コロナの為、中止 年1回開催 ※コロナの為、中止 年4回開催 ※コロナの為、中止 年2回実施 (6・11月) ※コロナの為、6月→8月へ延期 ※コロナの為、延期
	14	大崎館内清掃(大崎)	年4回実施
	11	昭和大学医学部付属看護専門学校実習 (大支援)	11日、12日 (2日間) 2名
7		品川区立日野学園職場体験(五反田) 在宅課全体ミーティング 運営推進会議① (五反田)	※コロナの為、中止 年1回開催 ※コロナの為、中止 (部課長・管理者のみで開催) 年2回開催 ※コロナの為、書面開催
	9	昭和大学医学部付属看護専門学校実習 (大支援)	9・10日 (2日間) 2名
22	品川介護福祉専門学校実習 (大崎)	22日、29日、8月5日	
27	夏祭り (五反田)	～8月1日まで実施	
28	昭和大学医学部付属看護専門学校実習 (五反田)	28日、29日 (2日間) 2名	
30	認知症センター養成講座 (大支援)		
8		品川介護福祉専門学校 (大崎) 夏の体験ボランティア (大崎) 運営推進会議 (大崎認知デイ) 三事業所合同消防訓練 (五反田) 3教員介護等体験ボランティア(五反田) 5教員介護等体験ボランティア(大崎) 18夏祭り (大崎デイ) 20昭和大学医学部付属看護専門学校実習 (五反田)	3日間 ※コロナの為、中止 ※コロナの為、中止 年2回開催 ※コロナの為、書面開催 毎年2回開催 ※コロナの為、書面開催 (～12月、各週1名づつ) ※コロナの為、時間短縮して実施 (～12月、各週2名づつ) ※コロナの為、中止 18～20日開催 20・21日 (2日間) 2名
9		夏の体験ボランティア (大崎) コスモスの会 (五反田) 認知症家族懇談会(アットホーム) 地域貢献事業「ふくふく」 (大支援・大崎・五反田) 14利用者集会 (五反田) 21教員介護等体験ボランティア(大崎) 28認知症家族懇談会(アットホーム)	※コロナの為、中止 保育園交流 ※コロナの為、中止 年3回開催 ※コロナの為、中止 年4回開催 ※コロナの為、中止 ～19日で実施 (～11月、各週2名づつ) 年3回開催

月	日	行事名等	内 容
10		大崎中学職場体験（大崎） 介護者教室	※コロナの為、中止 リハビリについて ※コロナの為、中止
	8	昭和大学医学部附属看護専門学校実習生（大支援）	(8日、9日) 2名
	13	昭和大学医学部附属看護専門学校実習生（大支援）	(13日、14日) 1名
	13	運動会（大崎）	13～15日
	16	運動会（五反田）	12日～17日
	19	品川区社協社会福祉士実習生（大支援）	19～28日 1名
	22	品川区実地検査（大崎SC）	
	30	東京医療保健大学実習生（大支援）	2名
11		秋の収穫祭（さんま祭り） 介護者激励の集い（大支援） 介護者教室 地域貢献事業「ふくふく」（大支援・大崎・五反田） 紅葉ドライブ行事（大崎）	法人行事 ※コロナの為、中止 ※コロナの為、中止 高齢者の食事 ※コロナの為、中止 年4回開催 ※コロナの為、中止 季節行事 ※コロナの為、中止（施設内で代替行事実施）
12		支え愛活動会議サポート会議（大崎・大支援一管理者）	大崎第二地域センターより書面報告あり ※コロナの為、中止
	24	大崎SCクリスマス会	24～25日実施。
	24	クリスマス会（五反田）	季節行事（保育園と合同） ※コロナの為、中止
	21	ゆず湯週間（大崎）	21～24日実施
	22	大掃除週間（大崎）	22～28日実施
	29	年末年始休業	12月29日～1月3日まで
1	6	初詣ドライブ（大崎・五反田）	季節行事6日～11日 コロナの為、中止
	12	お正月の会（五反田）	季節行事 保育園との交流 コロナの為、中止
	14	品川区指定管理ヒアリング（大崎）	
	26	品川区実施指導（五反田）	
2		保育園展（五反田） 品川区デイサービスセンター合同作品展	保育園の作品展に出展 ※コロナの為、中止 ※コロナの為、中止
		三事業所合同消防訓練（五反田）	年2回開催 ※コロナのため、書面開催
		認知症家族懇談会（アットホーム）	年3回開催 ※コロナの為、中止
	2	節分（大崎）	
	2	節分の会（五反田）	保育園との交流 ※コロナの為、交流は中止
3		ひなまつり会（大崎・五反田） 運営推進会議（五反田） お花見ドライブ（大崎）	※コロナのため中止 ※コロナの為、書面開催
	13	五反田保育園 卒園式参加	季節行事 ※コロナの為、中止（施設内で代替行事実施）
	19	認知症サポートーステップアップ講座（大支援）	五反田保育園にて実施 ※コロナの為、不参加
	24	認知症サポートー養成講座（大支援）	※コロナの為、書面にて実施
	24	新任研修	配属先での研修

[別紙②] 年間利用状況

東品川在宅サービスセンター

1) 利用率

小数点第2位四捨五入

2) 利用率算出式

延利用数 ÷ (稼動日数 × 1日定員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
	稼働日数	25	26	26	27	26	26	27	25	24	24	27	307
1. 通常規模型 通所介護 品川区総合事業	要介護 実利用者数	66	62	69	71	70	72	77	81	81	75	70	73 867
	総合事業 実利用者数	27	28	34	36	36	37	39	39	35	35	36	35 417
	要介護 延利用数	471	465	554	588	584	592	612	603	566	513	528	582 6,658
	総合事業 延利用数	152	170	199	213	211	225	234	211	203	203	199	214 2,434
	定員40名	利用率%	59.9	61.0	72.4	74.1	76.4	78.5	78.3	81.4	80.1	65.6	75.7 73.1
2. 認知症対応型 通所介護 (ばかばか)	要介護 実利用者数	14	15	13	14	15	16	13	13	13	13	14	14 167
	総合事業 実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	要介護 延利用者数	156	166	146	146	147	154	146	141	125	123	129	144 1,723
	総合事業 延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	定員12名	利用率%	50.0	53.0	46.7	40.0	42.9	43.5	41.3	46.6	43.0	45.4	41.6 39.5
3. 認知症対応型 通所介護 (なごみ)	要介護 実利用者数	17	17	15	16	15	16	15	15	14	14	14	14 182
	総合事業 実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	要介護 延利用者数	140	133	125	139	136	129	151	129	131	120	114	122 1,569
	総合事業 延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	定員12名	利用率%	44.8	42.6	40.0	42.9	43.5	41.3	46.6	43.0	45.4	41.6	39.5 37.6
4. 入浴	延利用数	658	662	724	771	765	782	792	770	726	698	711	785 8,844
5. 給食サービス	延利用数	914	930	1,020	1,081	1,083	1,104	1,148	1,085	1,029	967	978	1,070 1,070
6. 訪問給食	延利用数	8	8	7	9	9	9	9	8	8	8	8	1,070
7. 送迎サービス	延利用数	1,679	1,717	1,928	2,040	2,033	2,078	2,149	2,062	1,945	1,852	1,870	1,055 1,070
8. 相談件数	延利用数	120	138	75	108	91	101	96	99	76	78	76	78 1,136
9. 介護者教室	参加者数				0			0	0		0		0 0
10. 身近でトレーニング	実利用数	0	0	0	22	22	22	24	24	24	24	24	23 209
※全24回開催													
※週2回開催・各回12名定員	延利用者数	0	0	0	81	90	69	102	81	80	69	83	73 728
11. マシンでトレーニング	実利用数	0	0	0	9	7	7	10	10	10	10	10	10 83
※全24回開催	延利用者数	0	0	0	26	27	6	38	48	28	36	38	38 285
12. 東品川ミニサロン (月2回開催)	実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
13. 自治八潮会サロン (月1回開催)	実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
14. 津崎町会サロン (月1回開催)	実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
15. 折り紙教室 (月2回開催)	実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
16. 地域ミニデイ (週1回開催)	実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0

※新型コロナウィルス感染拡大の影響で、左記9, 12, 13, 14, 15は今年度、中止となる。(マシンでトレ、身近でトレは7月より再開)

※新型コロナウィルス感染拡大の影響で、地域ミニデイは10月より東品川ゆうゆうプラザにて実施。

大崎在宅サービスセンター

1) 利用率

2) 利用率算出式

小数点第2位四捨五入

延利用数 ÷ (稼動日数 × 1日定員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	
		稼働日数	25	26	26	27	26	26	27	25	24	24	24	307	
1. 通常規模型 通所介護 品川区総合事業	要介護 実利用者数	60	57	58	63	65	64	70	67	67	66	68	69	774	
	総合事業 実利用者数	24	21	23	24	23	22	18	20	16	16	14	15	236	
	要介護 延利用者数	550	530	582	597	587	584	630	563	563	566	588	699	7,039	
	総合事業 延利用者数	147	141	135	156	145	132	123	112	96	89	80	90	1,446	
	定員35名	利用率%	76.6	75.3	78.8	79.7	80.4	78.7	79.7	76.8	78.2	78.0	79.5	83.5	78.8
2. 認知症対応型 通所介護 (ほのほの)	要介護 実利用者数	19	16	18	19	19	19	18	20	18	19	19	20	224	
	要支援 実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要介護 延利用者数	169	162	181	216	216	208	205	197	186	197	209	236	2,382	
平成26年6月1日開所	要支援 延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	定員12名	利用率%	54.2	51.9	58.0	66.7	69.2	66.7	63.6	65.7	64.6	68.4	72.6	72.8	64.5
	3. 入浴	延利用数	731	702	723	781	776	748	777	721	699	696	708	820	8,882
4. 個別機能訓練	延利用数	714	696	763	813	798	797	834	760	740	767	796	933	9,411	
5. 給食サービス	延利用数	847	838	884	952	934	909	941	868	829	841	861	1008	10,712	
6. 訪問給食	延利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7. 送迎サービス	延利用数	1,687	1,649	1,717	1,852	1,817	1,762	1,830	1,671	1,613	1,637	1,672	1,959	20,866	
8. 相談件数	延利用数	97	95	102	75	69	86	69	71	80	73	65	71	953	
9. 介護者教室	参加者数				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10. 予防事業 身近でトレーニング (定員10名)	実利用者	0	0	0	4	4	4	10	10	10	9	9	8	68	
	延利用者	0	0	0	14	11	16	36	29	33	34	32	31	236	
11. 地域貢献事業 (大崎ふくふく)	延利用数				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※新型コロナウィルス感染拡大の影響で、「介護者教室」・「地域貢献事業(大崎ふくふく)」は中止。

品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム

1) 利用率

2) 利用率算出式

小数点第2位四捨五入

延利用数 ÷ (稼動日数 × 1日定員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
		稼働日数	25	22	26	26	25	24	27	23	24	23	22	26
1. 地域密着型 通所介護 品川区総合事業	要介護 実利用者数	10	8	13	13	12	13	15	14	14	14	14	15	155
	総合事業 実利用者数	4	5	6	6	7	8	8	8	8	8	8	9	85
	要介護 延利用者数	100	82	113	115	117	118	150	124	145	134	118	153	1,469
	総合事業 延利用者数	25	29	32	39	41	40	44	39	34	39	40	48	450
	定員10名	利用率%	50.0	50.5	55.8	59.2	63.2	65.8	71.9	70.9	74.6	75.2	71.8	77.3
2. 給食サービス	実利用数	14	13	19	19	18	20	22	21	21	21	21	23	240
	延利用数	125	111	145	154	158	158	194	163	179	173	158	201	1,919
3. 送迎サービス	延利用数	208	184	242	262	273	276	341	286	316	308	282	356	3,334
4. 相談件数	延利用数	32	12	17	10	12	9	16	11	20	17	13	20	189

[別紙③] 過去の各事業の推移

小数点第2位四捨五入
実利用数は月平均数
延利用数÷(稼働日数×1日定員)
延利用数は年間合計数

ア 東品川在宅サービスセンター

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	備 考
1 . 基本事業 一般デイサービス	平均実利用数	164.3	142.1	142.8	131.8	130.7	123.8	112.3	107.0	平成13年1月より定員数を、 基本25名から40名に変更。
	延利用数	10,295	10,707	10,851	10,360	10,843	10,208	9,432	9,092	
	平均利用率 (%)	82.9	87.0	88.9	84.9	85.8	83.0	76.8	73.0	
2 . 認知症対応型 デイサービス	平均実利用数	37.4	35.6	30.2	31.9	33.0	32.8	28.8	29.0	平成24年12月1日より2単位 目「なごみ」開始に伴い、 定員数を12名から24名に変更
	延利用数	4,357	3,712	3,323	3,621	3,447	3,463	3,214	3,292	
	平均利用率 (%)	62.9	50.0	45.7	48.6	47.5	46.9	43.6	44.0	
3 . 入浴(介助浴)	延利用数	5,948	4,906	5,080	4,507	5,801	5,601	5,047	5,887	
4 . 入浴(機械浴)	延利用数	3,648	2,983	2,858	2,696	3,379	3,545	3,413	2,957	28年度チエインバス入替
5 . 機能回復訓練	平均実利用数	173.3	194.0	191.4	194.0	198.0	176.0	145.5	164.0	平成20年11月1日より認知症 デイ機能訓練請求開始
	延利用数	13,763	14,343	14,600	14,921	15,965	14,212	13,033	12,615	
6 . 給食サービス	平均実利用数	169.9	161.8	170.0	158.7	171.4	154.9	140.4	136.0	
	延利用数	14,328	14,227	13,874	13,921	14,290	13,601	12,603	12,382	
7 . 訪問給食	平均実利用数	14.5	11.4	4.9	5.3	1.0	1.0	1.0	1.0	
	延利用数	1,260	956	151	498	307	89	95	99	
8 . 送迎	延利用数	26,488	27,119	27,391	26,897	26,688	25,945	23,955	22,924	片道送迎を1回としてカウント。
9 . 相談件数	年間相談件数	1,505	1,293	1,369	1,632	1,546	1,235	1,086	1,136	
10 . 介護者教室	総参加者数	65	88	58	133	30	53	78	0	リハビリ関係や食事が人気

イ 大崎在宅サービスセンター

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	備 考
1 . 基本事業 一般デイサービス	平均実利用数	106.0	104.1	106.5	109.9	114.0	104.5	95.8	84.2	平成13年1月より定員数を、 基本25名から35名に変更。平成 15年8月より定員数を基本35名 から30名に変更。平成19年11 月より定員数を基本30名から 35名に変更。
	延利用数	9,649	8,974	9,292	9,667	10,202	9,461	8,924	8,485	
	平均利用率 (%)	90.1	83.5	85.5	88.8	83.4	87.9	82.8	78.8	
2 . 認知症対応型 デイサービス	平均実利用数		15	19.5	20.4	16.8	22.8	21.1	18.7	平成15年8月より認知デイ開設 (定員10名)。平成19年11月 より認知デイ休止。平成26年6 月より認知デイ定員12名で開 始。
	延利用数		1,375	1,773	1,911	1,191	2,144	2,243	2,382	
	平均利用率 (%)		45.1	47.8	51.2	39.8	58.3	60.7	64.5	
3 . 入浴(介助浴)	延利用数	4,225	5,388	5,848	5,348	5,595	6,264	6,661	5,854	平成26年6月より認知デイ開 始。(個浴を含む)
4 . 入浴(機械浴)	延利用数	3,470	2,989	3,452	3,828	3,164	3,334	2,595	3,028	平成22年度よりチエインバス設 置。平成26年3月よりチエインバス 1台増設。
5 . 機能回復訓練	平均実利用数	108.5	98	102	107.2	95	143	84	103	平成28年度から本部より理学 療法士が月4回(平均週1回) 機能訓練を実施。
	延利用数	6,482	8,111	8,667	9,581	8,307	9,314	8,850	9,411	
6 . 給食サービス	平均実利用数	102.5	117.1	126	130	112	126.5	115	110	
	延利用数	9,345	10,330	11,329	11,578	10,012	11,480	12,350	10,721	
7 . 訪問給食	平均実利用数	2.3	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	延利用数	161	63	6	0	0	0	0	0	
8 . 送迎	延利用数	18,860	20,419	21,779	22,610	20,890	22,854	21,441	20,866	片道送迎を1回としてカウント。
9 . 相談件数	年間相談件数	1,004	1,369	1,321	1,321	989	846	1,108	953	
10 . 介護者教室	総参加者数	102	49	47	47	64	39	47	0	令和2年度新型コロナウイルス感 染拡大により中止

ウ 品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	備 考
1 . 基本事業 一般デイサービス	平均実利用数	29.0	27.0	27.0	33.0	33.0	31.4	23.9	20.0	平成18年度から運営受託 (品川区より)・定員数を8 名から10名に変更。平成19 年5月より土曜日開設
	延利用数	2,319	1,937	1,196	2,371	2,640	2,413	2,035	1,919	
	平均利用率 (%)	79.1	66.6	60.8	81.2	91.5	82.7	70.5	65.5	
2 . 給食サービス	平均実利用数	29.0	27.0	20.0	33.0	33.0	31.4	23.9	20.0	
	延利用数	2,319	1,937	1,196	2,371	2,592	2,413	2,035	1,919	
3 . 送迎	延利用数	4,440	3,504	2,385	4,216	4,257	4,113	3,579	3,334	片道送迎を1回としてカウント。
4 . 相談件数	年間相談件数	155	143	152	60	31	147	181	189	

[別紙④] 防災訓練実施状況

ア 東品川在宅サービスセンター

年	月	日	曜日	訓練内容
令和2年	4	23	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	5	21	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	6	25	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	7	30	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	8	20	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	9	24	木	防災機器等、自主点検、机上訓練、法定点検
	10	22	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	11	22	日	防災機器等、自主点検、机上訓練
	12	24	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
令和3年	1	21	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	2	25	木	防災機器等、自主点検、机上訓練、法定点検
	3	25	木	防災機器等、自主点検、机上訓練

イ 大崎在宅サービスセンター

年	月	日	曜日	訓練内容
令和2年	4	20	月	日中想定 消火・避難・通報訓練
	5	19	火	日中想定 消火・避難・通報訓練
	6	17	水	日中想定 消火・避難・通報訓練 ※6月延期 大崎ウィズタワー総合防災訓練
	7	9	木	日中想定 消火・避難・通報訓練
	8	28	金	日中想定 消火・避難・通報訓練 ※8月21日(金) 大崎ウィズタワー総合防災訓練
	9	26	土	日中想定 消火・避難・通報訓練
	10	12	月	日中想定 消火・避難・通報訓練
	11	10	火	日中想定 消火・避難・通報訓練
	12	16	水	日中想定 消火・避難・通報訓練 ※12月8日(火)大崎ウィズタワー総合防災訓練
	1	21	木	日中想定 消火・避難・通報訓練
	2	19	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
	3	13	土	日中想定 消火・避難・通報訓練

ウ 五反田保育園ふれあいデイホーム

年	月	日	曜日	訓 練 内 容
令和2年	4	21	火	日中想定 消火・避難・通報訓練
	5	22	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
	6	15	月	日中想定 消火・避難・通報訓練
	7	22	水	日中想定 消火・避難・通報訓練
	8	25	火	日中想定 消火・避難 3所(保育園・シルバーセンター合同訓練)
	9	26	土	日中想定 消火・避難・通報訓練
	10	8	木	日中想定 消火・避難・通報訓練
	11	20	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
	12	21	月	日中想定 消火・避難・通報訓練
令和3年	1	23	土	日中想定 消火・避難・通報訓練
	2	5	金	日中想定 消火・避難 3所(保育園・シルバーセンター合同訓練)
	3	18	木	日中想定 消火・避難・通報訓練

エ 東品川在宅介護支援センター(東品川わかくさ荘)

年	月	日	曜日	訓 練 内 容
令和2年	6	25	木	自主点検、机上訓練
	9	24	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
令和3年	1	21	木	自主点検、机上訓練

ヒヤリハット報告状況

※未受診または受診しても治療に至らなかつたもの

	東品川在宅 S C	大崎在宅 S C	五反田保育園 ふれあいD H
4月	1	4	0
5月	2	2	0
6月		2	0
7月	1	3	0
8月		1	0
9月		2	0
10月	3	0	1
11月	1	0	0
12月		1	0
1月		0	0
2月	2	2	0
3月	1	1	1
合計	11	18	2

〔内訳〕

東品川SC バイタル未実施2件・誤薬1件・忘薬2件
単独行動3件・糖尿病制限おやつ摂取2件
転倒1件

大崎SC 転倒6件、見守り不足4件、
バイタル未実施2件、食事中のムゼ込み1件
送迎中のリフト操作1件、おやつの提供1件
トイレ介助1件 移動介助2件

五反田 打撲1件、転薬1件

事故報告状況

※受診し治療・入院等に至つたもの

	東品川在宅 S C	大崎在宅 S C	五反田保育園 ふれあいD H
4月			
5月			
6月		1	
7月			1
8月			
9月			
10月			1
11月			
12月			1
1月			
2月			
3月		1	1
合計		2	4
			0

〔内訳〕

東品川SC 転倒2件

大崎SC 転倒3件（湿布処方）、調理員の感染症1件

五反田 なし

品川区ヘルパーステーション東品川事業報告

1. 基本方針

利用者がいつまでも住み慣れた地域で生活していくよう、訪問介護サービスの充実に取り組みました。

2. 重点目標

(1) 地域の関係事業者と連携したサービスの提供

法人内及び近隣の居宅介護支援事業所・通所介護事業所・短期入所生活介護事業所等と協力してサービスを提供しました。利用者とご家族の相談を踏まえ、訪問、通所、短期入所の各事業と連携した生活支援を行いました。

(2) 大規模多機能施設としての機能を活かす

- ①総合福祉法人の強みを活かし、法人内の居宅介護支援事業所・通所介護事業所・短期入所生活介護事業所等と日常的に情報交換等を行い、利用者とご家族のニーズを迅速に把握し、臨機応変に対応しました。
- ②障害者等の地域における自立生活と社会参加を促すことを目的に、移動支援事業を引き続き実施しました。また、研修等に積極的に参加し、障害福祉サービスの充実を図りました。

(3) 利用者の自立支援に努める

法人のサービス方針に謳われている「自立の援助」と「相互援助」の方針に基づき、利用者の人間性と生きてきた過程を尊重しました。そして、専門的知識を活かし、一人ひとりの生きがいのある生活を支援し、利用者のADLの維持・向上に努めました。

3. サービス提供体制

(1) サービス提供責任者及び訪問介護員の配置について、常に事業所として必要とされる適正な人員を配置しました。

サービス提供責任者（正規職員）	3名
登録ヘルパー	5名

(2) サービス提供にあたっては懇切丁寧に利用者及びそのご家族に対応しました。 また、サービス提供方法等について、分りやすく説明しました。

(3) 利用状況及び過去の推移

ア 訪問介護利用状況（品川区ヘルパーステーション東品川）

	—令和2年度—												(令和2年4月～令和3年3月)			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均		
利用実人数 予防	29	32	33	30	29	32	29	30	31	29	30	29	363	30.3		
生活	21	21	18	18	18	17	18	17	17	16	15	15	211	17.6		
利用延人数 予防	6	6	6	7	7	9	10	10	11	10	10	10	102	8.5		
介護	510	517	541	527	441	457	472	424	417	426	358	387	5477	456.4		
利用実人数 生活	115	104	87	99	86	90	94	79	83	75	74	78	1064	88.7		
介護	34	33	32	38	36	38	41	48	42	35	33	36	446	37.2		
介護	397.6	418.4	449.8	429.75	379	386.1	412	368	347.4	355.5	318.8	342.3	4604.6	383.7		
利用延時間数 予防	107.5	98.25	81	87.25	77.75	84.25	87.5	76.5	75	67.25	69.6	69.5	981.3	81.8		
生活	26	23	22.25	28.25	26.75	29	30.25	36.75	32.75	29.5	27	33.25	344.8	28.7		

イ 訪問介護利用状況（品川区ヘルパーステーション東品川）

	—平成31年度—												(平成31年4月～令和2年3月)			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均		
利用実人数 予防	29	28	29	30	28	28	28	30	30	30	30	33	32	353	29.4	
生活	18	17	19	18	18	18	18	19	19	19	19	20	20	222	18.5	
利用延人数 予防	8	8	8	8	8	9	8	8	9	7	7	7	7	95	7.9	
介護	447	476	440	464	444	388	438	429	462	475	554	526	5543	461.9		
生活	87	96	87	100	97	86	97	89	85	84	88	104	104	1100	91.6	
介護	375.5	423.25	364.4	387	376.3	331.25	387.1	378.6	387.6	395.75	442.25	419.5	4668.5	389.0		
利用延時間数 予防	88	100.3	85.75	95.25	92.1	82.45	91.25	84.5	80.9	78.8	85.5	96.75	989.55	82.4		
生活	28.75	34.25	25	29.25	24.5	30	29	31	30.3	24	22.25	25.5	338.8	27.8		

ウ 品川区障害者等訪問介護事業（品川区ヘルパーステーション東品川）

	—令和2年度—												(令和2年4月～令和3年3月)			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均		
利用実人数	1	4	4	4	4	5	5	3	3	3	4	4	44	3.6		
利用延人数	2	3	6	6	5	7	8	4	5	5	6	6	63	5.25		
派遣時間数	2.5	13.5	27	17	22	33	33.5	18.75	18.1	21.75	26.5	33	267	22.2		

エ 品川区障害者等訪問介護事業（品川区ヘルパーステーション東品川）

	—平成31年度—												(平成31年4月～令和2年3月)			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均		
利用実人数	3	3	5	6	6	6	6	4	5	5	4	3	53	4.4		
利用延人数	6	6	23	34	47	20	13	9	10	6	6	6	186	15.5		
派遣時間数	17	17	16.5	27.5	33	34.25	28.5	22.5	23.5	17	15.5	278	23.1			

福栄会リハビリテーションセンター事業報告

1. 基本方針

新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、利用者が希望する生活を営んでいくために、その人に応じたリハビリが行えるように、理学療法士・看護師・介護職など多職種がチームとなり、多面的な視野を持ったリハビリテーションを目指しました。

2. 重点目標

- (1) 設備・備品については、日々点検を行い、利用者が安全にリハビリを行えるよう必要な安全対策を行いました。
- (2) 利用者が置かれている状況の把握のため、介護支援専門員や関わっている介護職などと連携を図りました。また、高齢者福祉部、障害者福祉部の各施設・事業所と情報交換を行い、適切なリハビリを提供しました。
- (3) 介護予防事業「マシンでトレーニング」「身近でトレーニング」において、事業内容の充実とともに虚弱高齢者の受け入れを積極的に行いました。また、修了者へのフォローアップとして、運動の継続を促しました。ボランティア活動の提案などの社会参加については、新型コロナウイルス感染症の影響で行っていません。

3. サービス提供内容

- (1) 生活している環境や状況に配慮し、利用者個々の身体機能に合わせたリハビリの提供を行いました。
- (2) 介護予防事業において、虚弱高齢者でも運動が行えるように個々の状態に合わせた運動を行いました。また、自宅などで行える運動プログラムを提案し、事業修了後の運動継続を支援しました。元気高齢者に対してボランティア活動などを勧めることに関しては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり行っていません。
- (3) 他施設・他事業所への理学療法士派遣は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部を除き中止しました。

<サービス提供体制>

リハビリの内容	サービス提供時間	職員体制（一日当り）
①運動療法 (立位・歩行訓練等)	午前／ 9時30分～11時30分	常勤理学療法士2名 非常勤理学療法士または 非常勤介護士等2名
②温熱療法	午後／ 13時30分～16時00分	
③福祉用具相談等		

機能訓練実施状況

個別リハビリ利用者数（上段：実人数（登録数） 下段：延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
日数	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308	26
基本ディ	76	77	78	76	75	80	86	90	87	82	82	966	81	
465	447	547	577	564	579	593	585	550	500	513	564	6,484	540	
予防ディ	38	40	42	43	41	40	40	40	40	36	37	38	474	40
156	171	197	213	214	220	229	208	203	194	201	215	2,421	202	
認知ディ(ぼか)ぼか)	14	16	13	13	15	16	15	14	13	13	14	14	170	14
155	165	142	138	135	145	144	139	125	126	129	140	1,683	140	
認知ディ(なごみ)	15	17	17	16	17	18	17	15	16	15	14	15	192	16
136	117	114	130	133	129	150	127	129	113	113	122	1,513	126	
マシンでトレーニング	0	0	0	9	7	7	10	10	10	10	10	10	83	7
※	※	※	26	27	6	38	48	28	36	38	38	285	32	
身近でトレーニング	0	0	0	22	22	22	24	24	24	24	24	23	209	17
単独リハビリ	13	14	14	14	14	14	15	15	14	13	13	13	166	14
47	46	39	44	34	39	41	48	43	42	45	46	514	43	
晴楓ホーム	82	80	79	90	84	84	87	85	86	88	87	1,012	84	
195	241	294	224	234	134	162	206	211	190	235	165	2,491	208	
ショートステイ	37	23	35	28	34	37	32	34	36	39	35	405	34	
143	147	140	151	118	104	86	105	85	85	88	102	1,354	113	
実人數合計	275	266	276	301	318	314	317	325	328	323	317	3,677	306	
延べ人數合計	1,297	1,334	1,473	1,584	1,549	1,425	1,545	1,454	1,355	1,445	1,465	17,473	1,456	
一日の利用者数平均	50	51	57	59	60	55	57	62	61	56	60	54	57	

※4~6月のマシンでトレーニング・身近でトレーニングは新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止となっている。

※9月のマシンでトレーニングは機器の変更があったため、1回の実施となっている。

高齢者施設実施状況
※新型コロナウイルス感染症の影響で今年度実施していない。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
大崎在宅サービスセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

障害者施設実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
しいのき学園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西大井福祉園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かがやき園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
障害者福祉部計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※しいのき学園・西大井福祉園については、新型コロナウイルス感染症の影響で今年度実施していない。
※かがやき園の1件については、利用者の身体機能評価のため実施している。

品川区立東品川わくわくさ荘事業報告

1. 基本方針

居住者が安心した生活を営めるよう、安全性の高い建物設備の維持管理を区所管課とともに行いました。また、日常生活上の相談に丁寧に対応するとともに、緊急時には法人内の他施設と連携して迅速に対応するなど多面的な支援体制を構築しました。

2. 重点目標

(1) 安心・安全な生活の確保

- ①緊急通報システム（生活リズムシステム）や朝夕の巡回などにより、居住者の安全確認を行い、事故防止に努めました。また、緊急時には病院などの関係機関と迅速な情報共有を図る必要があるため、適宜、居住者情報の更新を行いました。
- ②健康状態の確認を含めた日常的な声掛けなどを通じて、居住者が居室内で孤立しないよう支援を行いました。
- ③防犯対策を強化するため、防犯カメラを適切に運用しました。また、施設内掲示板等を活用し、居住者の防犯意識の向上に努めました。
- ④施設管理職員が建物機械設備を適切に維持管理します。また、専門業者による定期点検を実施し、適切な建物管理を実施しました。
- ⑤令和2年11月に実施したエレベータ改修工事について、区所管課及び工事業者と連携し、居住者に配慮した円滑な工事の実施に協力しました。

(2) 防災対策への取り組み

高齢者住宅での火災発生に備え、「迅速な避難」を第一に居住者対象の防災訓練を実施します。近隣町会との合同防災訓練も含め、年3回訓練を実施しました。また、チラシでの周知や声掛けにより、居住者の訓練への参加を促しました。

(3) 利用者の意見、要望の調整

日常会話や相談窓口で収集した居住者の意見・要望について、状況確認・調整等を速やかに行いました。また、対応困難な事例は区所管課へ報告し、対応を協議しました。居住者の理解を得られるよう努めました。

<東品川わくわくさ荘管理体制概要>

職 員	配置数	担 当 業 務
常勤職	1名	防火管理、建物管理者
常勤職（支援センター）	1名	相談業務、一部ワーデン業務
準職員（支援センター）	1名	一部ワーデン業務
常勤職（総務課）	1名	経理、施設管理、一部ワーデン業務
防災宿日直（法人本部職員）	1名	夜間帯の見回り・緊急対応等

令和2年度 東品川わがかくさ荘事業報告資料（指定管理含む）

令和3年3月末現在 単位：(人)										
		全體	女性	男性	非該当	女性	男性	支援1	女性	男性
年齢 要支援 要介護度	高齢者平均年齢	82	83	80				介護1	女性	男性
	高齢者最年少年齢	71	71	72				介護2	女性	男性
	高齢者最年長年齢	93	93	89				介護3	女性	男性
	高齢者年齢比（65～69代）	0	0	0	0	0	0	介護4	女性	男性
	高齢者年齢比（70～79代）	17	9	8	8	0	0	介護5	女性	男性
	高齢者年齢比（80～89代）	23	15	8	10	6	1			
	高齢者年齢比（90～）	3	3	0	1	0	0			
	高齢者桿當年年度入居者数	5	4	1						
居室 （合計52室）	高齢者桿當年年度退居者数	7	5	2						
	高齢者桿當年年度未入居者数（50室）	43	27	16						
	障害者桿當年年度居住年数	7	8	6						
	障害者桿當年年度入居者数	0	0	0						
	障害者桿當年年度退去者数	0	0	0						
	障害者桿當年年度未入居者数（2室）	1	1	0						
	高齢者日中緊急対応（件数）	4	2	2						
	高齢者夜間緊急対応（件数）	0	0	0						
緊急対応 (4月～3月)	障害者夜間緊急対応（件数）	0	0	0						
	生活相談・環境整備等への個別対応（件数）	176								
その他の対応 (4月～3月末)	健康管理面への対応（件数）	50								
	備考									

障害者福祉部事業報告 目次

障害者福祉部事業報告	8 3
第一しいのき学園事業報告	8 5
第二しいのき学園事業報告	9 3
品川区立西大井福祉園事業報告	10 1
品川区立西大井つばさの家事業報告	11 0
グループホーム森前事業報告	11 4
グループホーム金子山事業報告	11 8
品川区立かがやき園事業報告	12 2
南品川むつみ園事業報告	13 2
福栄会障害者相談支援センター事業報告	14 0
品川区東品川障害者計画相談支援事業所事業報告	14 5
かもめ第一・第二・第三工房事業報告	14 7
品川区精神障害者地域生活支援センター事業報告	15 4

障害者福祉部事業報告

1. 基本方針の遵守

通所・入所・短期入所・共同生活援助・特定相談支援等、障害者福祉部の各事業所は、基本サービスの機能向上を図ると同時に、緊急事態や新たなニーズに対応するため、各事業所が一体となり、また関係機関と連携し地域福祉の発展に努めました。

2. 重点目標への対応

(1) 福栄会で運営する各障害者福祉サービス事業所の、適切なサービス提供体制・健全な経営環境への取り組み

令和2年度は新型コロナウィルス感染拡大の影響及び、拡大防止に向けた取り組みに重点を置き、各事業所において職員・利用者の健康管理の徹底、マスクの確保・活動場所や食事場面での環境整備・送迎体制の見直しなどの取り組みを徹底しました。

濃厚接触者や感染者の発生は、複数の事業所で有りましたが、事業所内での感染拡大は防ぐことができました。

緊急事態宣言時のサービス利用の自粛や、感染予防のための自主的な利用控え等により、利用率は実績のとおり通所施設において激減しました。

家庭訪問や配食など柔軟な対応を行い、在宅時のサービス提供などこれまでになかった支援方法にも取り組み、新形コロナウィルス収束までの長期的な対応を継続しつつ、経営面においては適切な職員配置などバランスを取りつつ支援レベルの維持に向け取り組みます。

(2) I C T化への対応

入所施設では先行して、支援場面において記録が出来るよう、無線LANの導入や、見守り機器の試行等に取り組みました。通所施設においても、先行事例の状況を共有し、導入に向けて準備を開始しました。

(3) 西大井地区3か所のグループホームの安定した運営に向けた取り組み

グループホーム運営の安定化に向けて、世話人業務の標準化や宿直の応援体制に取り組みました。入居者の所属先において、感染症対応が生じた際に経験した世話人のシフトや宿直体制の調整等は、今後の感染症発生時の対応に生かしていきます。

3. サービス支援体制

(1) 各施設の利用実績

事業・施設名	障害者自立支援法に基づく事業、施設	定員	利用率 ※(%)
第一しいのき学園	生活介護	40	77.3%
第二しいのき学園	就労継続支援B型	60	68.4%
区立西大井福祉園 (多機能型)	生活介護	25	91.5%
	就労継続支援B型	15	96.3%
区立西大井つばさの家	共同生活援助	7	71.2%
グループホーム森前	共同生活援助	6	77.8%
グループホーム金子山	共同生活援助	10	86.8%
区立かがやき園	施設入所支援	30	97.4%
	生活介護	30	104.5%
	短期入所	3	65.7%
南品川むつみ園	生活介護	20	36.2%
かもめ第一工房	就労継続支援B型	25	65.1%
かもめ第二工房	就労継続支援B型	20	67.6%
かもめ第三工房	就労継続支援B型	20	56.3%
精神障害者地域生活支援センター	相談支援事業・ 地域活動支援センター		—
福栄会障害者相談支援センター	相談支援事業・ 地域拠点相談支援センター		—
品川区東品川障害者計画相談支援事業所	相談支援事業		—

※利用率は、実開園日数に対しての利用率です。

第一しいのき学園事業報告（生活介護）

1. 重点目標

(1) 障害者サービスの質の向上を図る

サービス担当者会議は感染症予防のため、回覧形式により支援方針や支援内容を職員全員で確認しながら適切に進めてまいりました。嘱託医や専門職との専門相談も定着し、利用者のサービス向上に活用されています。今後も専門職との連携を通じて職員の支援力向上が図れる機会としてまいります。今年度はコロナ禍で活動が制限され、利用者が幅広い選択肢から活動を選べたとは言い難いため、利用者の意思決定支援に基づいたサービス提供をどのように行うかを検討してまいります。

(2) 職場環境の改善

2階フロア照明機器の更新工事や食堂洗面台等の更新は見送り、令和3年度の予算として計上しました。感染症対策として検温、消毒、アクリルパネル・パーテーションの設置、送迎の増便などにおいて三密を避けるための環境整備に取り組みつつ、利用者の安全性や健康管理を図りました。

(3) 日中活動の充実と健康維持の強化

口腔機能や介護予防を目的とした取り組みのうち、感染症対策の観点から口腔体操を中止しています。また5月の緊急事態宣言中に在宅支援・家族支援の一環として訪問や配食サービスを行いました。その後も通所がしにくい利用者やその家族に対し、訪問や配食、在宅ワークの提供など通所という枠にとらわれず、柔軟にサービスを提供しました。

2. 家族・支援者との協力体制

学園連絡会、親亡きあと勉強会は新型コロナの影響もあり、今年度は実施できませんでした。ご家族との面談は極力書面でのやりとりにとどめましたが、利用者の健康問題など緊急性の高いケースは面談を実施し、同行受診をするなど東品川相談支援センターとも連携して対応しました。

3. 地域交流及び貢献活動

(1) 体験利用等の受入れ

今年度は特別支援学校の実習生を3名受け入れました。また他事業所からの移行を含む3名が入所されました。退所については2名の利用者が入所施設と高齢者施設へとつながり、適切なサービスへと移行

することができました。

(2) 地域交流事業の開催

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、今年度はすべての地域交流事業は実施できませんでした。今後動向を見ながら感染症対策を取りつつ、どのような実施内容（方法）ならば可能になるかを検討してまいります。

(3) 子ども食堂運営の協力

コロナ禍においても2月3月を除いて毎月定例で開催しました。実施の方法は屋外で弁当や寄付物品を配るという形式に変わりましたが、毎回50人ほどの子どもたちが楽しみにしている様子が伺えます。地域貢献として定着してきています。

4. 事故防止・虐待防止

(1) 事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は別表10のとおりです。事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体で意見交換や事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備等の点検を行いました。

(2) 虐待防止

虐待防止規定に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組む他、ケース会議の際に行動障害等への適切な対応について検討し、統一した対応による支援の質の向上に取り組みました。

5. 防災対策

防災計画及びB C Pに基づき毎月1回火災想定及び地震想定の防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。

[第一しいのき学園実績資料]

(令和3年3月31日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 利用者人員

定員(人)	現員(人)	内訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
40	48	30	62.5	18	37.5

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況(令和3年4月1日現在)

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	29	2	1	30
女	18	1	1	18
計	47	3	2	48

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

施設	第一しいのき学園			
	男	女	計	%
年齢(歳)				
~19	0	0	0	0
20~29	11	4	15	31
30~39	6	5	11	23
40~49	11	6	17	35
50~59	3	2	5	11
60~69	0	0	0	0
70~	0	0	0	0
人数計	30	18	48	100
最年少	20	23		
最高齢	56	54		

(2) 平均年齢

区分	男	女	平均
平均年齢	37.3歳	38.5歳	37.8歳

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

愛の手帳	1度			2度			3度			4度			非該当			合計		
施設名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第一	0	1	1	24	13	37	6	2	8	0	2	2	0	0	0	30	18	48
構成比	2.0		77.0			17.0			4.0			0.0			100%			

(2) 身体障害者手帳を併所持する利用者の障害状況

愛の手帳 所持人數	1度		2度		3度		4度		非該当		合計	
	1名	37名	8名	2名	0名	48名						
身 障 手 帳	1級	肢体1名	肢体1名								肢体2名	
	2級		肢体3名	肢体1名							肢体4名	
	3級		肢体1名								肢体1名	視覚1名
	4級		肢体1名								肢体1名	
	5級		肢体1名								肢体1名	
	計	1名	8名	1名	0名	0名					10名	

(3) 障害支援区分の状況

障害支援 区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0名	0名	7名	20名	10名	11名	0名	48名

4. 通園状況

(1) 利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数 (定員×開所日数)	出席者延べ人数	利用率
257日	10,080	7,949人	77.3%

(2) 送迎車両運行及び利用者状況

送迎車両コース	利用人数	所要時間	対応車種	運転	添乗者
荏原コース	19名	120分	マイクロバス29人乗	職員	職員1名
東海コース	14名	120分	リフト付マイクロバス※	委託	職員1名
大井町コース	10名	120分	車いす対応ワゴン※	職員	職員1名
西大井コース	7名	120分	10人乗ワゴン	職員	職員1名
合計	40名	※車椅子4台対応車両。合計4コースで6台対応。			

(3) 通園形態

通園形態		男	女	計
自力 通園	徒歩	1	0	1
	交通機関	0	0	0
	小計	1	0	1
家庭 介護 通園等	徒歩等	4	2	6
	交通機関	0	1	1
	その他	0	0	0
	小計	4	3	7
合 計		5	3	8

5. 支援概要

(1) グループ編成

第一 しいの き学園	A	1班			2班			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
		7	7	14	11	7	18	18	14	32
	B							合計		
		男	女	計				男	女	計
		12	4	16				12	4	16

(2) 余暇活動の実施状況

活 動	内 容
音楽レクリエーション	火曜日の午後に音楽講師のもと、楽器や歌などを通し身体を動かしたり歌をうたうなどの活動を行いました。
ダンス	木曜日の午後にダンス講師のもと、ダンスを通して心身のリフレッシュを行いました。
ドライブ	マイクロバスを使用し、ドライブを行いました。
創作活動	月に1回、季節に応じたいろいろな工作を行いました。

※各活動についての参加人数については、利用者本人の希望やその日の体調等を考慮し、状況に応じ変更しています。

(3) 年間行事の実施状況

月	実施日	行事名	備考
11	26 日 (木)	紅葉ドライブ	和田倉門
12	3 日 (木)	紅葉ドライブ	和田倉門
	4 日 (金)	茶話会 クリスマスツリー飾り付け	
	15 日 (火) ～16 日 (水)	しいのき学園健康診断	
	25 日 (金)	クリスマス会	
1	15 日 (金)	新成人を祝う会	
2	2 日 (火)	節分 豆まき	

6. 家族とのかかわり

(1) 学園連絡会の開催状況

新型コロナウィルスの拡大に伴い、令和2年度の開催を中止しました。

(2) しいのき報の編集内容

発行月	発行内容
4月	新年度のご挨拶 新型コロナウィルスに対する法人の対応
5月	感染症予防対策について施設長より
6月	飛沫感染や接触感染を防ぐために
7月	熱中症と食中毒への注意
8月	感染症予防と毎日の生活（予防の取り組みと対策した活動）
9月	コロナと運動
12月	毎日の生活と学園での感染予防対策
3月	

7. 実習・研修生の受け入れ状況(年間受け入れ人数)

区分	人数	備考
専門学校・大学・企業等	30名	保育、社会福祉援助技術現場実習、等の実習

8. 職員外部研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日程	参加人数
しながわ子ども食堂	子どもの食の支援	8月27日	1人

ネットワーク実行委員会	(オンライン)		
専門学校高崎福祉医療カレッジ	社会福祉士実習指導者講習会	10月14日 15日	1人
東京都社会福祉協議会	チームリーダー研修	11月18日 19日	1人
東京都福祉保健財団	東京都医療的ケア児支援者育成研修 (オンライン)	2月12日～ 3月5日	7人
東京都福祉保健局	ICT機器導入支援モデル事業 成果報告会 (オンライン)	3月12日	1人

(2) 法人内部研修

研修内容	日程	参加人数
感染症予防研修	8月21日(金)	9
虐待防止研修	10月12日(月)	9

9. トワイライト実施状況

家族支援事業「トワイライトステイ」利用状況

施設	第一しいのき学園			
	月	延べ人数	1時間	2時間
	4月	13	11	2
	5月	12	6	6
	6月	19	11	8
	7月	22	13	9
	8月	14	9	5
	9月	16	9	7
	10月	19	11	8
	11月	20	11	9
	12月	15	10	5
	1月	16	10	6
	2月	14	10	4
	3月	15	13	2
	合計	195	124	71
	月平均回数	16.2	10.3	5.9

10. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	1	0	3	0	7	3	4	5	4	3	4	9	43

- ・他傷/他害行為 (24件)
- ・送迎 (2件)
- ・所在不明 (2件)
- ・服薬 (7件)
- ・不穏 (4件)
- ・怪我 (1件)
- ・職員の対応 (2件)
- ・誤嚥 (1件)

(2) 事故報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2

- ・不穏からの他害 (1件)
- ・利用者の器物破損 (1件)

11. 感染症発生状況

インフルエンザ	感染性胃腸炎
0名	0名

新型コロナウイルス感染予防として、検温、マスクの着用、手洗いの励行のほか、パーテーションおよびパネルの設置・館内消毒の徹底、乗車定員減による送迎サービスなど取り組みました。

第二しいのき学園事業報告（就労継続支援B型）

1. 重点目標への対応

（1）利用者サービスの向上

感染症対策を優先した取り組みとなり、支援の統一を図るためのサービス担当者会議は回覧形式に、支援力向上を図るための研修会は中止及びウェブ形式になるなど、今までの会合形式ではない方法を用いて取り組みました。

（2）日中活動の充実

社会スキルやマナーの習得を目的とした社会見学などの園外での活動は全て中止として、従来の生産活動中心の取り組みとしました。緊急事態宣言などの影響から作業量の減少した活動もありましたが、令和2年度平均工賃額は17,496円となり目標（17,000円）を達成することができました。

（3）職場環境の整備

パネルやパーテーションの設置、消毒や検温の徹底など感染症対策を主体的に実施、整理整頓を心掛けるなど利用者が安心・安全に休息できる空間の増加を図りました。

2. 家族・支援者との協力体制

感染症対策により連絡会は全て中止として、事業報告を書面にて行うなど情報交換に努めました。また利用者の日々の様子等については必要に応じて報告を行うとともに面談や家庭訪問を実施しました。

利用者が必要とするサービスの調整や緊急対応については相談支援事業所や法人内外の他事業所を連携し対応しました。

3. 地域交流及び貢献活動

地域のイベントや祭礼等での自主製品の販売や毎月第四土曜日開催の地域交流サロン『わかやぐ』は感染症対策として全て中止としましたが、館内利用者対象の土曜喫茶は年3回開催をしました。また地域の特別支援学校や特別支援級、在宅の方の体験利用等も昨年度同様に受入れを行いました。

4. 事故防止策・虐待防止対策

（1）事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は実績資料（別表10）のとおりです。
事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう朝礼等を利用し

職員全体での事例の報告や意見交換、事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備等の点検を行いました。

(2) 虐待防止

虐待防止規定に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組んだ他、担当者会議において支援方針の統一を図り支援の質の向上に取り組みました。

5. 防災対策

防災計画及びB C Pに基づき毎月1回火災想定及び地震想定の防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。`

[第二しいのき学園実績資料]

(令和3年3月31日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 利用者人員

定員(人)	現員(人)	内訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
60	55	35	63.6%	20	36.4%

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	40	0	5	35
女	22	0	2	20
計	62	0	7	55

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

施設	第二しいのき学園			
	男	女	計	%
年齢(歳)				
~19	0	0	0	0%
20~29	7	2	9	16%
30~39	10	5	15	27%
40~49	12	11	23	42%
50~59	6	2	8	15%
60~69	0	0	0	0%
70~	0	0	0	0%
人数計	35	20	55	100%
最年少	20	24		
最高齢	55	58		

(2) 平均年齢

区分	男	女	平均
平均年齢	42.4歳	42.1歳	42.2歳

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

愛の手帳	1度			2度			3度			4度			非該当			合計		
施設名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第二	0	0	0	9	4	13	19	10	29	7	6	13	0	0	0	35	20	55
構成比	0%			24%			52%			24%			0%			100%		

(2) 身体障害者手帳を併所持する利用者の障害状況

愛の手帳		1度		2度		3度		4度		非該当		合計	
所持人数		0名		13名		29名		13名		0名		55名	
身 障 手 帳	1級					肢体1名							肢体1名
	2級												
	3級												
	4級												
	計	0名		0名		1名		0名		1名		2名	

(3) 障害支援区分の状況

障害支援 区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	1名	17名	8名	11名			18名	55名

4. 通園状況

(1) 利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数 (定員×開所日数)	出席者延べ人数	利用率
256日	15,360人	10,544人	68.6%

(2) 通園形態

通園形態		男	女	計
自力 通園	徒歩	7	4	11
	交通機関	17	10	27
	その他	1	0	1
	小計	25	14	39
家庭 介護 通園等	徒歩等	2	1	3
	交通機関	1	0	1
	その他	7	5	12
	小計	10	6	16
合 計		35	20	55

5. 支援概要

(1) グループ編成

C グループ	合計		
	男	女	計
	21	12	33
D グループ			
D グループ	合計		
	男	女	計
	14	8	22

(2) 余暇活動の実施状況

感染症拡大防止の観点から講師およびボランティアの受け入れの全面中止、集団で調理を行うことおよびマイクロバス使用など3密の状態の回避するため、余暇活動は全て中止としました。

(3) 年間行事の実施状況

月	実施日	行事名	備考
12	15 日(火) ～16 日(水)	しいのき学園健康診断	
1	15 日(金)	新成人を祝う会	
2	2 日(火)	節分・豆まき	

(4) 作業実施内容

作業種目	内 容
クリーニング (集荷・納品 を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・区内保育園 12カ所のシーツ、白衣、掛けカバー、エプロンなどの洗濯、たたみ ・同法人施設(高齢・障害・児童)のオムツ、タオル、リネン類、私物、予防衣、シーツ、エプロン、おしごり等の洗濯およびたたみ ・同法人の制服の洗濯 ・区内高齢者施設の私物、タオル、おしごり等の洗濯、たたみ ・図書館の風呂敷の洗濯 ・区内公共施設のリネン類の洗濯 ・他区の公共機関のリネン類やカーテンの洗濯 ・区内宿泊施設のリネン類の洗濯
清掃作業	<ul style="list-style-type: none"> ・区内公園 17ヶ所の清掃 ・同法人高齢者施設の館内清掃 ・同法人障害者施設の館内清掃 ・同法人児童施設の館内清掃 ・同法人本部建物共有部の館内清掃 ・同法人本部建物外周部の清掃
軽作業	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット、新聞納品(塗装資材) ・内職(封入、ペン入れ、シール張り等) ・ナッツ類のパック詰め
お菓子 自主製品作り	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶海岸通り販売用お菓子製造、販売 ・地域の各種イベントの参加 ・同法人高齢者施設、誕生日会用ケーキ、おやつの製造 ・贈答用お菓子の製造、販売
リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内機密文書等の処理 ・古紙回収 ・小型家電の回収・解体 ・エコキャップ運動(ペットボトルキャップの回収)
喫茶実習	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶「海岸通り」での喫茶作業(接客・掃除・金銭の授受等)

(5) 工賃支給状況

年間総支給額	12,352,200円
支給対象利用者延べ人数	706人
月平均工賃（1人）小数点以下四捨五入	17,496円

6. 家族とのかかわり

(1) 学園連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回学園連絡会		
第2回学園連絡会		新型コロナウィルスの拡大に伴い中止
第3回学園連絡会		

(2) しいのき報の編集内容

発行月	発行内容
4月	新年度のご挨拶 新型コロナウィルスに対する法人の対応
5月	感染症予防対策について施設長より
6月	飛沫感染や接触感染を防ぐために
7月	熱中症と食中毒への注意
8月	感染症予防と毎日の生活（予防の取り組みと対策した活動）
9月	コロナと運動
12月	毎日の生活と学園での感染予防対策

(3) 地域とのかかわり

ボランティアの受け入れ状況

活動名	人数	期間等	内 容
余暇活動ボランティア			新型コロナウィルスの拡大に伴い中止
作業補助			

7. 実習・研修生の受け入れ状況(年間受け入れ人数)

区分	人数	備 考
専門学校・大学・企業等	40名	保育、介護、社会福祉、介護等体験等の実習

8. 職員外部研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加 人 数
東京都福祉保健財団	東京都医療的ケア児支援者育成研修 (オンライン)	2月12日 ～3月5日	5

(2) 法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参 加 人 数
虐待防止研修	10月12日	7
感染症予防研修	8月21日	2

9. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	0	1	1	5	2	0	6	2	1	6	3	2	29

- ・他傷/他害行為 (12件)
- ・職員への暴言、暴力 (5件)
- ・パニック (3件)
- ・所在不明 (4件)
- ・転倒 (3件)
- ・その他 (2件)

(2) 事故報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	2	1	6

- ・所在不明 (4件)
- ・転倒 (1件)
- ・怪我 (1件)
- ・その他 (1件)

10. 感染症発生状況

インフルエンザ	感染性胃腸炎
0名	0名

新型コロナウイルス感染予防として、検温、マスクの着用、手洗いの励行のほか、パーテーションおよびパネルの設置・館内消毒の徹底、乗車定員減による送迎サービスなど取り組みました。

品川区立西大井福祉園事業報告 (生活介護・就労継続支援B型)

1. 重点目標への対応

(1) 生活介護・就労継続支援

新型コロナウィルスの流行に伴い、選択をともなう活動については、実施が困難でしたが、「菜園」「プール」「納涼祭」、「ハロウイン」、「炭火で焼いて食べよう（全8回）」、「クリスマスツリーをつくろう」「デコレーション大会」など、感染症対策を取りながらの活動を充実させました。

社会資源の活用では、3密を避け、感染症予防における対策を講じ、プラネタリウムや体育館の利用等を継続実施しました。日帰り旅行と一泊旅行については中止としました。

地域との連携では、グループホームの職員と共に千葉にある農家から梨を仕入れ、地域の方へ販売を行いました（2回）。オータムフェスティバル及び近隣町会・福祉施設合同防災訓練は新型コロナウィルス感染症予防のため中止としましたが、12月から1月の2か月間、地域の方に楽しんで頂けるよう、かがやき園と共にイルミネーションを実施しました。

<主な活動>

○生活介護事業

- ・生活訓練：運動（散歩、講師による運動、体操）
- ・余暇活動：季節の創作 ゲーム ドライブ 習字 カラオケ等
- ・社会資源の活用：プラネタリウム見学 ウエルカムセンター原体育館 利用 クロネコヤマトミュージアム
- ・生産活動：軽作業（リサイクル、ビーズ製品等）

○就労継続B型

生産活動：清掃（公園5か所、森前障害者施設）

軽作業（チラシ折り込み、シール貼り、袋詰め、パック詰め）

令和2年度目標工賃： 15,700円

令和2年度平均工賃： 15,166円

(2) 質の高い人材の育成

新型コロナウィルスの流行に伴い、集合座学式の研修が相次いで中止になる中、コンピューターを用いたオンライン形式による研修に参加をしました。

- ・感染症対策研修 3名（看護師）
- ・虐待防止研修 1名（支援員）
- ・地域を耕す、相談活動 1名（支援員）
- ・強度行動障害支援アドバンス 1名（支援員）
- ・福祉職員のためのスタートアップ研修 1名（支援員）
- ・福祉職場に求められるリーダーシップについて 1名（支援員）

（3）グループホームのバックアップ

入居利用者及び日中に通っている施設等からの緊急時の連絡を取り次ぎ、迅速な対応ができるようグループホーム職員との連携に努めました。また、各グループホームの宿直業務の応援体制を構築しました。

2. 家族・支援者との協力体制

新型コロナウィルスの感染症予防の観点から、毎年開催している家族との連絡懇談会は書面開催とし、個別面談等は事前に必要書類を送付し電話連絡にて協力体制を構築しました。

3. 地域交流及び貢献活動

新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止に伴う地域行事の中止が相次ぎ、毎年度末に実施をしている「近隣町会福祉施設合同防災訓練」も感染症の予防の観点から中止をしました。また、新型コロナウィルス感染症にともなう予防の観点からボランティアの受け入れを中止しました。

一方、少しでも地域との交流を図るため12月から1月の2か月間、堰堤を使用して施設紹介の意味を込めたイルミネーションを装飾しました。

4. 事故防止・虐待防止

（1）事故防止

職員会議で事故・ヒヤリハットの確認と対応を検討しました。また、事故の対応については1ヶ月後の振り返りを実施することで、再発防止に努めました。更にマニュアルを見直すことで業務の標準化を進めました。

（2）虐待防止

法人として、虐待防止チェックリストを実施しました。西大井地区において、虐待・人権擁護研修を実施しました。その後、事業所ごとでも伝達研修を実施し意識の向上につなげました。

[西大井福祉園 実績資料]

1. 利用者人員と入退所状況（令和3年3月31日現在）

(1) 利用者人員

事業名	定員	現員	内訳			
			男	比率%	女	比率%
生活介護	30名	32名	22名	69%	10名	31%
就労継続支援B型	10名	13名	10名	77%	3名	23%

注) 内訳の比率は、現員に対するもの。

(2) 入退園状況

区分	年度当初 人員	増	減	年度末人員	増減理由	
男	36名	0名	4名	32名		
女	13名	0名	0名	13名		他施設への異動による減
計	49名	0名	4名	45名		

2. 年齢状況（令和3年3月31日現在）

(1) 年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18~19			0	0%
20~24			0	0%
25~29	3	5	8	17.8%
30~34	6	4	10	22.2%
35~39	9		9	20.0%
40~44	5	3	8	17.8%
45~49	7	0	7	15.6%
50~54	2	1	3	6.7%
55~59			0	0%
60~			0	0%
人数計	32	13	45	100%
最年少	25	26	—	—
最高齢	53	51	—	—

(2) 平均年齢

区分	男	女	平均
平均年齢	39.0 歳	33.5 歳	37.4 歳

3. 障害状況（令和3年3月31日現在）

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1度			2度			3度			4度			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	22	12	34	9	1	9	0	0	0	32	13	45

※B判定 5名

(2) 身体障害者手帳を併所持する利用者の障害状況

愛の手帳 所持人数		1度	2度	3度	4度	合計
		0名	34名	10名	0名	45名
身体 障害者 手帳	1級		視覚1名			1名
	2級		肢体1名			1名
	3級					
	5級			肢体1名		1名
	計	0名	2名	1名	0名	3名

(3) 障害支援区分の状況（令和3年3月31日現在）

現員	なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
生活介護	1名	0名	0名	1名	22名	9名	0名	32名
就労支援	1名	1名	3名	6名	3名	0名	0名	13名

生活介護 平均 4.3

就労支援 平均 2.9

4. 通園状況（令和3年3月31日現在）

(1) 利用者の出席状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

年間開所日数	要出席者延べ人数	出席者延べ人数	出席率
生活介護	7,650人	7,050人	92%
就労支援	2,500人	2,474人	99%
255日	10,150人	9,524人	94%

(2) 送迎車両運行及び利用者状況

送迎車両コース	利用人 数	所要時間	対応車種
リフト・コース	9名	85分	リフト付マイクロバス
キャラバン・コース※	10名	90分	キャラバンチャエキアキャブ NV 350
西大井チャア・コース※	9名	90分	キャラバンチャエキアキャブ
ルミナス・コース	1名	30分	ルミナス
計	29名	※コースは2便運行	

(3) 通園形態 (人)

施設		西大井福祉園		
通園形態		男	女	計
自力通園	徒歩	5	2	7
	交通機関	0	0	0
家庭介護通園	徒歩等	5	4	9
送迎車両利用		22	7	29
合計		32	13	45

5. 支援概要

(1) グループ編成 (人)

生活介護						就労継続 B			合計		
1班			2班			3班					
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
6	3	9	7	4	11	9	3	12	10	3	13
									32	13	45

(2) クラブ活動の実施状況 (生活介護事業)

活動名	内 容
ドライブ	年間を通じて東京タワー周辺・羽田空港・お台場・平和島方面へ出かけました。少人数のドライブ散歩では等々力緑地・城南島・砧公園・駒沢公園・大師公園・夢見ヶ崎動物公園などバスから降りて公園内を散策しました。
カラオケ	毎週水・金曜日に食堂にて、午前と午後で参加利用者を変えて実施しました。
室内運動	毎週月曜日の午後に音楽に合わせて体操やストレッチ、バランスボールを使って体を動かす室内運動を実施しました。

芸術	墨と筆を使って字や絵を書く、色鉛筆を使った絵画を実施しました。仕上がった作品は館内に展示しました。
体育館運動	毎週火曜日の午前にウエルカムセンター原や福祉園の食堂にて、講師の指導の下に体を動かしました。

(3) 生産活動支援状況

清掃作業・軽作業は作業の拡充を行い、工賃向上に努めました。

①生産活動の内容

作業種目	内 容
クラフト作業 (自主製作品)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーズ製品…携帯ストラップ、メガネチェーン・髪ゴム ・織物…マフラー ・牛乳パッククリサイクル製品…押し花はがき、しおり
軽作業	<ul style="list-style-type: none"> ・宅配寿司等の箸セット、割箸袋入れ、惣菜パックへのシール貼り、チラシ折り、袋詰め他
清掃作業	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣区立公園 5ヶ所の清掃 ・森前障害者施設清掃

②自主製作品の販売状況

シンフォニーとして地域の各種イベント、近隣企業等の社会貢献活動の協力による自主制作品の社内販売等へ出店しました。その他、ひかり薬局・テルベ・リボン旗の台店・区内 5箇所の図書館での販売、西大井福祉園内での保護者への販売も随時実施しました。

(4) 年間行事等の実施状況

月	日	行事内容	備 考
4	8	新年度を迎える集い	
7	7・16	プラネタリウム①・②	五反田文化センター
	22～9/2	プール（18回）	※生活介護対象
9	3	納涼祭	
10	29	ハロウィンイベント	
11	16～26	炭火で焼いて食べよう（6回）	
12	2・3	炭火で焼いて食べよう	※その他
	24	ケーキデコレーション大会	年間を通して随時ドライブや 散歩を実施
2	2	節分豆まき	
3	31	お疲れさま会	

※毎週火曜日（午前）：体育館での講師による運動

6. 家族とのかかわり

(1) 家族参加行事等の開催状況

※感染症拡大・防止のため中止

(2) 園連絡会等の開催状況

※感染症拡大・防止のため中止、資料を配布しました。

(3) 西大井福祉園だよりの編集内容

発行月	西大井福祉園だより 発行内容
4月	職員紹介／新年度を迎える集い
5月	日中活動（創作・室内レク・ドライブ・運動）、緑化活動
6月	ドライブ散歩、感染症対策
7月	プラネタリウム、プール活動、課外活動（クロネコ）菜園（キュウリ）
8月	プール活動、菜園（ゴーヤ・ピーマン・プチトマト）、打ち水
9月	納涼祭、ドライブ散歩
10月	ハロウィンパーティー、菜園（イチゴ）
11月	炭火で焼いて食べよう、菜園（イチゴ・玉ねぎ）
12月	ツリー作り、ケーキコデコレーション大会、感染症対策
1月	ドライブ散歩、室内ゲーム
2月	豆まき、ドライブ散歩
3月	調理（チョコバナナ）、ドライブ散歩、人事往来

7. 地域とのかかわり

(1) ボランティアの受け入れ状況

※感染症予防等のため受け入れ中止

(2) 利用者実習生の受け入れ状況(年間延べ人数)

※感染症拡大・防止のため中止

(3) 職員実習生受け入れ状況

区分	人 数
社会福祉士実習	5名
介護福祉士実習	3名
保育士実習	4名
教職員介護等体験実習	7名

8. 職員研修参加状況

(1) 外部研修

ピース ウィズ ジャパン	新型コロナ対策 クラスターを防ぐには	9月 17 日	3名
東京都福祉保健局	東京都障害者虐待防・ 権利擁護研修	10月 1 日	1名
東京都社会福祉協議会	強度行動障害 支援アドバンス	12月 17 日	1名
東京都社会福祉協議会	福祉職員に求められる リーダーシップあり方	2月 1 日	1名
東京都社会福祉協議会	福祉職員のためのスタ ートアップ研修	1月 18 日	1名
知的発達障害部会 保健医療スタッフ会	わたしたちの仕事を語 ろう	1月 30 日	1名
ホットライン しかくの学校	介護福祉士実習指導者 講習会	3月 2 日～4月 27 日	1名
東北福祉カレッジ	強度行動障害支援者養 成研修	3月 26 日～28 日	1名

(2) 法人内部研修

研修内容	日程	参加者人数
虐待防止研修	9月 30 日・2月 22～26 日	19名

9. 防災訓練の実施状況

回	実 施 日	内 容
1	4月 15 日	火災想定による避難訓練
2	5月 28 日	火災想定による避難訓練
3	6月 29 日	図面を用いた避難経路・防災設備の確認
4	7月 31 日	火災想定による避難訓練
5	8月 31 日	火災想定による避難訓練
6	9月 28 日	火災・地震想定による避難訓練
7	10月 26 日	火災想定による避難訓練
8	11月 24 日	火災想定による避難訓練
9	12月 23 日	火災・地震想定による避難訓練
10	1月 29 日	火災想定による避難訓練

11	2月 24日	火災想定による避難訓練
12	3月 22日	火災・地震想定による避難訓練

10. 家族支援事業「トワイライトステイ」実施状況

内訳	件数	17:15～18:15	17:15～19:00
利用件数合計	件	3 件	25 件

11. ヒヤリハット・事故件数

(1) ヒヤリハット報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
件数	7	0	4	9	7	5	32
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
件数	3	6	3	4	5	4	25

※ヒヤリハット：他害行為、所在不明、転倒等（多い順）

(2) 事故報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
件数	1	0	1	0	1	0	3
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
件数	2	0	0	1	0	0	3

※事故：その他（1件）

品川区立西大井つばさの家事業報告 (外部サービス利用型共同生活援助)

1. 重点目標

(1) 関係機関との連携

生活の変化に対応できるよう品川区及び相談支援センター、日中活動事業所、町会などと連携を深め、利用者へのサービスの充実、共同生活の安定を図りました。

(2) 適切な支援及びサービスの提供

利用者一人ひとりの年齢・健康状態等に見合ったライフステージが送れるように適切な支援及び設備の改修を行いました。

(3) 3グループホームの一体的な運営

西大井福祉園とかがやき園の協力のもと、グループホームを円滑に運営しました。また、地域の行事に参加をしながら町会との関係を継続しました。

2. 家族・支援者との協力体制

個別の意見については随時面談や電話連絡等で確認をし、全体的な要望としては、懇談会にて集約・報告をしました。

3. 地域交流及び貢献活動

地域行事へ参加や地域住民との交流を図り、つばさの家及び障害者に対する理解と協力が得られるよう努めました。

4. 事故防止・虐待防止

(1) 事故防止

転倒、誤嚥等の事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体での意見交換や事例の分析、日々の自己点検を行うなどリスクマネジメントに取り組みました。また、施設・設備の点検などを通じ危険箇所の改善を行いました。

(2) 虐待防止

虐待防止規定に基づき、研修への参加やチェックリストを活用した自己点検など権利擁護に対する意識を施設全体で高めました。

[西大井つばさの家 実績資料]

1. 利用者人員と入退所状況（令和3年3月31日現在）

(1) 利用者人員 (人)

事業名	定員	現員	内訳			
			男	比率%	女	比率%
共同生活援助	7名	5名	4名	80%	1名	20%

注) 内訳の構成率は、原因に対する比率を示します。

(2) 入退園状況（令和2年4月1日より令和3年3月31日）(人)

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	3名	2名	1名	4名	他施設利用のため
女	1名	0名	0名	1名	
計	4名	2名	1名	5名	

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18~19	0	0	0	0
20~24	0	0	0	0
25~29	0	0	0	0
30~34	0	0	0	0
35~39	1	0	1	20
40~44	0	1	1	20
45~49	1	0	1	20
50~54	1	0	1	20
55~59	1	0	1	20
60~	0	0	0	0
人数計	4	1	5	100
最年少	39	41	—	—
最高齢	56	41	—	—

(2) 平均年齢

区分	男	女	平均
平均年齢	48.3歳	41.0歳	44.7歳

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1度			2度			3度			4度			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	1	3	4	1	5

(2) 障害支援区分の状況

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0名	1名	0名	2名	0名	0名	2名	5名

4. 日課表

日課	時間	備考
起床	6:00～ 7:00	朝食 6:30頃から隨時
就寝	21:00～	夕食 18:00頃から隨時
門限	19:00	施錠 21:00 開錠 6:00
入浴	順次	毎日

5. 日中活動事業所

通園施設	男	女	計
しいのき学園	1	0	1
ふれあい作業所	3	0	3
さつき	0	1	1
合 計	4	1	5

6. 年間行事等の実施状況

月	行事内容	備 考
4月	新年度昼食会	各グループホーム食事会
12月	クリスマス会・忘年会	各グループホーム食事会
1月	新年会	各グループホーム食事会
2月	日帰り旅行	中止
3月	3GH 合同総合防災訓練	3 GH 合同にて実施している

7. 家族とのかかわり

家族連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回 家族懇談会	令和2年6月27日（土）	令和2年度事業計画と平成31年度会計報告
第2回 家族懇談会	令和2年3月	中止

8. 職員研修参加状況

（1）外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加人数
（社）安全衛生推進マネジメント協会	安全衛生推進者養成講習	8月8日 8月9日	0

（2）法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参 加 人 数
虐待防止・権利擁護研修	9月30日・10月1日	3
防犯研修		0
幹部職員研修		0
感染症研修		0
業績評価者研修		0
法人経営基礎研修		0

9. ヒヤリハット・事故発生状況

（1）ヒヤリハット報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	1	0	0	0	1	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	1	0	2

※ヒヤリハット…通所にともなうもの

（2）事故発生状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0

※事故…所在不明、転倒

グループホーム森前事業報告 (外部サービス利用型共同生活援助)

1. 重点目標

(1) 関係機関との連携

生活の変化に対応できるよう品川区及び相談支援センター、日中活動事業所、町会などと連携を深め、利用者へのサービスの充実、共同生活の安定を図りました。

(2) 適切な支援及びサービスの提供

利用者一人ひとりの年齢・健康状態等に見合ったライフステージが送れるように適切な支援及びサービスを行いました。

(3) 3 グループホームの一体的な運営

西大井福祉園とかがやき園の協力のもと、グループホームを円滑に運営しました。また、地域の行事に参加をしながら町会との関係を継続しました。

2. 家族・支援者との協力体制

西大井つばさの家 参照

3. 地域交流及び貢献活動

西大井つばさの家 参照

4. 事故防止・虐待防止

西大井つばさの家 参照

[グループホーム森前 実績資料]

1. 利用者人員と入退所状況（令和3年3月31日現在）

(1) 利用者人員

(人)

事業名	定員	現員	内 訳			
			男	比率%	女	比率%
共同生活援助	6名	6名	0名	0%	6名	100%

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況（令和2年4月1日より令和3年3月31日）(人)

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	0名	0名	0名	0名	
女	6名	0名	0名	6名	
計	6名	0名	0名	6名	

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18~19	0	0	0	0
20~24	0	1	1	16.7
25~29	0	0	0	0
30~34	0	2	2	33.3
35~39	0	0	0	0
40~44	0	0	0	0
45~49	0	2	2	33.3
50~54	0	1	1	16.7
55~59	0	0	0	0
60~	0	0	0	0
人数計	0	6	6	100
最年少	0	25	—	—
最高齢	0	51	—	—

(2) 平均年齢

区分	男	女	平均
平均年齢	0歳	39.6歳	39.6歳

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1度			2度			3度			4度			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	3	3	0	6	6

(2) 障害支援区分の状況

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
		人数	1名	1名	1名	0名	0名	0名	
								3名	6名

4. 日課表

日課	時間	備考
起床	6:00～ 7:00	朝食 6:30頃から随時
就寝	21:00～	夕食 18:00頃
門限	19:00	施錠 21:00 開錠 6:00
入浴	順次	毎日

5. 日中活動事業所

通所施設	男	女	計
ふれあい作業所（西大井）	0	1	1
西大井福祉園	0	1	1
心身障害者福祉会館	0	0	0
福祉工場しながわ	0	2	2
一般就労	0	2	2
合 計	0	6	6

6. 年間行事等の実施状況

月	行事内容	備 考
4月	新年度昼食会	各グループホーム食事会
12月	クリスマス会・忘年会	各グループホーム食事会
1月	新年会	各グループホーム食事会
2月	日帰り旅行	中止
3月	3GH 合同総合防災訓練	3 GH 合同にて実施している

7. 家族とのかかわり

家族連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回 家族懇談会	令和2年6月27日（土）	令和2年度事業計画と 平成31年度会計報告
第2回 家族懇談会	令和2年3月	中止

8. 職員研修参加状況

（1）外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加 人數
（社）安全衛生推進マネジメント協会	安全衛生推進者養成講習		0

（2）法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参 加 人 數
虐待防止・権利擁護研修	9月30日・10月1日	1
防犯研修		0
幹部職員研修		0
感染症研修		0
業績評価者研修		0
法人経営基礎研修		0

9. ヒヤリハット・事故発生状況

（1）ヒヤリハット報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	0
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	1	0	0	0	0	1

※ヒヤリハット…忘れ物

（2）事故発生状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	0
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0

グループホーム金子山事業報告 (介護サービス包括型共同生活援助)

1. 重点目標

(1) 関係機関との連携

生活の変化に対応できるよう品川区及び相談支援センター、日中活動事業所、町会などと連携を深め、利用者へのサービスの充実、共同生活の安定を図りました。

(2) 適切な支援及びサービスの提供

利用者一人ひとりの年齢・健康状態等に見合ったライフステージが送れるように適切な支援及びサービスを行いました。

(3) 3 グループホームの一体的な運営

西大井福祉園とかがやき園の協力のもと、グループホームを円滑に運営しました。また、地域の行事に参加をしながら町会との関係を継続しました。

2. 家族・支援者との協力体制

西大井つばさの家 参照

3. 地域交流及び貢献活動

西大井つばさの家 参照

4. 事故防止・虐待防止

西大井つばさの家 参照

[グループホーム金子山 実績資料]

1. 利用者人員と入退所状況（令和3年3月31日現在）

(1) 利用者人員 (人)

事業名	定員	現員	内 訳			
			男	比率%	女	比率%
共同生活援助	10名	10名	10名	100.0%	0名	0%

(2) 入退園状況（令和2年4月1日より令和3年3月31日）(人)

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	10名	0名	0名	10名	
女	0名	0名	0名	0名	
計	10名	0名	0名	10名	

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18~19	0	0	0	0
20~24	0	0	0	0
25~29	0	0	0	0
30~34	0	0	0	0
35~39	3	0	3	30
40~44	0	0	0	0
45~49	5	0	5	50
50~54	1	0	1	10
55~59	0	0	0	0
60~	1	0	1	10
人数計	10	0	10	100
最年少	35	0	—	—
最高齢	62	0	—	—

(2) 平均年齢

区 分	男	女	平均
平均年齢	45歳	0歳	45歳

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1度			2度			3度			4度			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	2	0	2	5	0	5	3	0	3	10	0	10

(2) 障害支援区分の状況

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
		人数	0名	2名	0名	2名	0名	0名	
								10名	

4. 日課表

日課	時間	備考
起床	6:00～ 7:00	朝食 6:30頃から隨時
就寝	21:00～	夕食 18:00頃から隨時
門限	19:00	施錠 21:00 開錠 6:00
入浴	順次	毎日

5. 日中活動事業所

通園施設	男	女	計
第二しいのき学園	3	0	3
西大井福祉園	3	0	3
福祉工場しながわ	1	0	1
ふれあい作業所（西品川）	2	0	2
一般就労	1	0	1
合 計	10	0	10

6. 年間行事等の実施状況

月	行事内容	備 考
4月	新年夕食会	各グループホーム食事会
11月	金子山3周年記念夕食会	各グループホーム食事会
12月	クリスマス会	各グループホーム食事会
1月	新年会	各グループホーム食事会
2月	日帰り旅行	中止
3月	3 GH 合同防災訓練	3 GH 合同にて実施している

7. 家族とのかかわり

家族連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回 家族懇談会	令和2年6月27日（土）	令和2年度事業計画と 平成31年度会計報告
第2回 家族懇談会	令和2年3月	中止

8. 職員研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加 人數
東京都福祉保健局	東京都障害者虐待防・ 権利擁護研修	10月	0

(2) 法人内部研修

研 修 内 容	日程	参加人數
虐待防止研修	9月30日・10月1日	2

9. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
件数	0	0	0	0	0	0	0
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
件数	0	0	0	0	0	0	0

(2) 事故発生状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
件数	0	0	0	0	0	0	0
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
件数	0	0	0	0	0	0	0

品川区立かがやき園事業報告 (施設入所支援・生活介護・短期入所)

1. 重点目標への対応

(1) 生活介護サービスの提供

新型コロナウィルス感染症の流行に伴い、東京都の感染防止指針による不要不急の外出自粛要請や施設の面会制限等で日中活動が大幅に制限されました。これにより「生活訓練」「体験学習」「生産活動」「社会見学」「旅行、地域交流」等多くの活動が制限されましたが、施設内でも楽しめる活動を利用者様と職員で模索する事ができました。

(2) 短期入所事業の充実

昨年度同様に介護休養等でかがやき園が直接受け付けるのは2床までとし、3床目は各相談支援センターからの要請、4床目は品川区役所からの指示で受け入れるなどの緊急枠を確保する仕組みを作りました。その結果、令和2年度の延べ利用者数1001名の内、延べ15名を緊急一時保護として受け入れ地域の福祉ニーズに対応しました。一方、新型コロナウィルス感染症の流行に伴い、入所者の日常生活を維持する為に緊急利用者以外の短期入所事業受入れを制限する月がありました。

(3) 重度化・高齢化した利用者への適切な支援

高齢期を迎えた利用者に関しては、高齢者福祉サービスを紹介すると共に老人ホームへの移管を行いました。

壮年期の利用者については介護予防に取り組むと共に、利用者のライフステージ・健康状態に見合った活動を組み立て、老化防止にむけた活動を行ないました。

(4) 建物・設備の経年劣化に伴う老朽化を考慮しつつ施設入所者の生活環境を整える為、品川区障害福祉課と協議しながら下記の改修工事を行いました。

設備更新

- 防火シャッター危害防止装置設置
- トイレ・小浴室棚設置工事
- 全館照明設備LED化工事

小破修繕

- 共有部の壁紙張替
- 作業室1～3壁紙張替
- 男性居室の壁紙張替

新規導入・改修工事

- 短期入所居室陰圧装置導入工事
- 短期入所居室トイレ設置工事
- 2階東側男性トイレ内装改修工事
- 玄関ポスト設置工事

2. 事故・虐待防止策

(1) 事故防止について

ヒヤリハット・事故報告書を「福栄会ヒヤリハット・リスクレベル評価表」に基づき作成し、職員間で供覧し、情報を共有しました。また事故発生防止委員会を定期的に開催し、直近の事故・ヒヤリハットを確認する等、事故の防止に努めました。また、3ヶ年計画に基づき業務マニュアルを見直しました。

(2) 虐待防止について

虐待防止委員会において、虐待防止・サービス向上を目的とし研修計画やチェックリスト等を検討・実施し人権意識の向上を図りました。

障害者福祉部としての虐待防止研修を9月30日にかがやき園で開催するとともに、虐待防止チェックリストを活用して業務の振り返りを行い、虐待防止に向けた意識向上を図りました。また、概ね2ヶ月に1回程度かがやき園の自己点検票を記入し、日常業務の振り返りを行い、虐待防止に向けた意識向上を図るとともに、身体拘束を廃止する観点から身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束や抑制を是正するための検討を隨時行いました。

3. 家族・支援者との協力体制

今年は新型コロナウイルスの流行に伴い、家族との連絡会や懇談会が開催できないため、必要随時電話連絡や家庭訪問等を行うと共に園報号外を定期的に発行し、施設活動に対する理解を得ながらサービス提供を行いました。

4. 地域交流及び貢献活動

品川区及び区内計画相談支援事業所と連携し、就労や他の施設に適応できなかつた知的障害者や引きこもりの知的障害者等を「体験利用」として6名、延べ163人を受け入れました。その内、1名については、区内の生活介護事業所の利用に繋がりました。

ミニサロン等地域交流については原則中止としましたが、西大井6丁目第2区営住宅自治会「五月会」については食の確保を行うため月1回、延べ117食をお弁当の配達を行いました。

5. 防災対策

消防計画及び震災対応事業継続計画に基づいて、通報訓練、避難訓練、夜間想定訓練及び消火訓練を毎月1回最終金曜日の14時から実施しました。また、新型コロナウイルスの蔓延により区営住宅自治会との年1回の合同防災訓練は机上訓練としました。

品川区立かがやき園実績資料

(1) 利用者の入退所状況

<施設入所支援>

令和3年3月31日現在 単位:人

		入所者数			退所者数			月末在籍数
		病院 その他から	グループホーム 他施設から	区内通所 施設から	地域移行	他施設入所	入院・死亡	
4月	男	18	0	0	0	0	0	18
	女	12	0	0	0	0	0	12
	計	30	0	0	0	0	0	30
5月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
6月	男	0	0	0	1	1	0	16
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	1	1	0	28
7月	男	0	0	0	0	0	0	16
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	28
8月	男	0	0	0	0	0	0	16
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	28
9月	男	0	0	1	0	0	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	1	0	0	0	29
10月	男	0	0	1	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	1	0	0	0	30
11月	男	0	0	0	0	1	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	1	0	29
12月	男	0	0	1	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	1	0	0	0	30
1月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
2月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
3月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
総 計		30	0	3	1	2	0	30

※入所「区内通所施設から」は、在宅利用者を示す。

「病院 その他から」には年度当初に契約したかがやき利用者数を含む。

※退所「地域移行」は、グループホーム・自宅を示す。

「他施設入所」には他の障害者支援施設・高齢者施設を示す。

<生活介護>

令和2年3月31日現在 単位：人

		契約者数			退園者数			月末在籍数
		生活介護 利用者	家庭から 新規	家庭から その他	他事業所へ	入院	死 亡	
4月	男	21	0	0	0	0	0	21
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	34	0	0	0	0	0	34
5月	男	0	0	0	0	0	0	21
	女	0	0	0	0	0	0	13
	計	0	0	0	0	0	0	34
6月	男	0	0	0	1	1	0	19
	女	0	0	0	0	0	0	13
	計	0	0	0	1	1	0	32
7月	男	0	0	0	0	0	0	19
	女	0	0	0	0	0	0	13
	計	0	0	0	0	0	0	32
8月	男	0	0	0	0	0	0	19
	女	0	0	0	0	0	0	13
	計	0	0	0	0	0	0	32
9月	男	0	0	0	0	0	0	19
	女	0	0	1	1	0	0	13
	計	0	0	1	1	0	0	32
10月	男	0	0	1	0	0	0	20
	女	0	0	0	0	0	0	13
	計	0	0	1	0	0	0	33
11月	男	0	0	1	0	1	0	20
	女	0	0	0	0	0	0	13
	計	0	0	1	0	1	0	33
12月	男	0	0	0	0	0	0	20
	女	0	0	0	0	0	0	13
	計	0	0	0	0	0	0	33
1月	男	0	0	0	0	0	0	20
	女	0	0	0	0	0	0	13
	計	0	0	0	0	0	0	33
2月	男	0	0	0	0	0	0	20
	女	0	0	0	0	0	0	13
	計	0	0	0	0	0	0	33
3月	男	0	0	0	0	0	0	20
	女	0	0	0	0	0	0	13
	計	0	0	0	0	0	0	33
総 計		34	0	3	2	2	0	33

(2) 利用者状況

(施設入所支援・生活介護)

令和3年3月31日現在

①障害状況

愛の手帳	(人)			
	男性	女性	計	%
1度	0	0	0	0.0
2度	16	10	26	72.2
3度	6	2	8	22.2
4度	0	2	2	5.6
合計	22	14	36	100.0

(人)

障害支援区分	男性	女性	計	%
区分1	0	0	0	0.0
区分2	0	0	0	0.0
区分3	0	0	0	0.0
区分4	8	6	14	38.9
区分5	7	5	12	33.3
区分6	7	3	10	27.8
計	22	14	36	100.0

平均障害支援区分		備考
生活介護	区分5.0	
施設入所支援	区分5.0	

②年齢構成

(人)

年齢(歳)	男性	女性	計	%
15~19	0	0	0	0.0
20~24	1	0	1	2.8
25~29	1	0	1	2.8
30~34	1	0	1	2.8
35~39	5	1	6	16.7
40~44	1	3	4	11.1
45~49	3	2	5	13.9
50~54	6	4	10	27.8
55~59	2	3	5	13.9
60~64	2	0	2	5.6
65~70	0	0	0	0.0
70以上	0	1	1	2.8
合計	22	14	36	100.0

(才)

平均年齢	男性	女性	平均
	45.1	50.4	47.775

(3) 地域生活移行の状況

令和3年3月31日現在

単位：(人)

年 度		令和3年3月31日現在										合計							
地域生活移行者		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	合計
グループホーム	人 数	0	0	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	10
か所数	人 数	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	9
アパート	人 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自 宅	人 数	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7
小 計	人 数	1	4	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	16
他 施 設	人 数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	2	7
そ の 他	人 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	人 数	1	4	4	3	0	1	0	0	0	0	0	1	2	3	2	0	3	21
利用者現員	男性	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	18	18	18
	女性	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12	11	11	11	12	12	12	12
合 計	人 数	30	30	30	30	30	29	29	30	30	30	30	28	29	30	30	30	30	90

(4) 在園者の健康相談・通院状況(延べ人数)

単位：人

	内科	外科	整形外科	耳鼻科	眼科	皮膚科	泌尿・婦人	精神科	神経内科	脳外科	歯科	合計
4月	7						1	3			16	23
	6											10
5月	15			4			1	1	2		19	34
	7											15
6月	13						1	3			16	29
	4			18								27
7月	35			16			2	3	1		14	49
	8											31
8月	16						2				10	26
	5			14								22
9月	16						3	3	1		19	35
	21			11								43
10月	9						1	1	1		11	20
	10			6								19
11月	8						1	1			15	23
	13			7								24
12月	15						2	1	1		13	28
	6			14								26
1月	24						2	1			26	50
	1			9								17
2月	16						4	1	2		23	39
	8			11								27
3月	17						1	5	1		24	41
	5			8								21
合計	191	0	0	0	0	0	0	0	0	0	206	397
	94	0	0	118	5	10	16	16	18	1	4	0
												282

※上段：施設内相談数 397名 下段：施設外診療数 282名

※季節性インフルエンザ予防接種状況 10/28(28名) 11/11(3名)

入院者状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4

原因 6月15日～(左大腿部骨折) 9月17日転院のため退園

(5) 行事等実施状況

月 日	行事名等	内 容	月 日	行事名等	内 容
4 3 18 18 29	料理クラブ 西大井5丁目区民住宅自治会 料理クラブ 料理クラブ	プリン作り ミニサロン（お弁当） 甘夏 ジャム・ピール作り ホットケーキ作り	10 17 22	西大井5丁目区営住宅自治会 外出活動	ミニサロン バーガーキング大井町店
5 1 11 16 28 29 30	料理クラブ 料理クラブ 西大井5丁目区民住宅自治会 料理クラブ 房州鶏 4羽 入居 訪問理髪	中華スープ作り マカロニサラダ作り ミニサロン（お弁当） 生パスタ作り	11 11 21	インフルエンザ予防接種 西大井5丁目区民住宅自治会	ミニサロン（お弁当）
6 10 18 20 26 30	かがやき菜園 料理クラブ 西大井5丁目区民住宅自治会 駄菓子まつり 夏物衣料販売	じやがいも掘り チンジャオロース作り ミニサロン（お弁当）	12 8 9 19 24	かがやき菜園 焼き出し訓練・豚汁大会 西大井5丁目区民住宅自治会 クリスマス会	さといも堀り ミニサロン（お弁当） ケーキ作り・bingo大会等
7 2・3 11 17 18 26	東京都知事選挙期日前投票 夏物衣料販売 料理クラブ 西大井5丁目区民住宅自治会 料理クラブ	品川区役所 ゴーヤチャンプルー作り ミニサロン（お弁当） お好み焼き作り	1 1 2 6 14 16	元旦 料理教室 もちつき大会 訪問理髪 西大井5丁目区民住宅自治会	御節料理 手作り 握り寿司 ミニサロン（お弁当）
8 中 7 13 15 15 27	かがやき園 体験学習 お盆 お盆 西大井5丁目区営住宅自治会 正面玄関手洗い場設置工事	プール活動 わんこそうめん大会 迎え火 送り火 ミニサロン	2 2 19 20 26	節分 料理クラブ 西大井5丁目区営住宅自治会 うさぎの2羽入居	豆まき おでん・ラーメン ミニサロン 「くろちゃん・おじやくん」
9 11 15 16 19 21 25 26	かがやき縁日 外出活動 外出活動 西大井5丁目区民住宅自治会 訪問理髪 外出活動 外出活動	射的・ヨーヨー釣り・かき氷等 いきなりステーキ マクドナルド ミニサロン（お弁当） レッドロブスター ロッテリア	3 3 10 20 27	ひな祭り 料理クラブ 西大井5丁目区民住宅自治会 家族懇談会	カルボナーラ作り ミニサロン（お弁当）

※利用者集会は第四週金曜日に開催

(6) 施設入所支援、生活介護 ヒヤリハット・事故状況

令和3年3月31日現在 単位：人

ヒヤリハット報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	5	7	7	8	12	6	10	4	8	9	8	9	93
施設入所	7	5	13	6	5	14	15	6	13	14	13	10	121
短期入所	0	0	0	2	4	1	2	4	1	1	2	1	18

興奮、自傷、暴力、転倒、誤薬等 (多い順)

事故報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	1	1	0	0	0	2	3	1	2	0	0	0	10
施設入所	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4
短期入所	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2

器物破損 件、怪我・傷 件、誤薬 件、無断外出 件、他害 件

(7) 研修

①外部研修

主催	日程	内容	参加人数
ブティックス株式会社	10/6・7	第2回介護テクノロジー横浜	3
都社会保健医療研修センター	11/6・16・27	東京都サービス管理責任者更新及び児童発達支援管理責任者更新研修	1
東京尾福祉保健財団	11/12・13・18・25・12	強度行動障害支援者養成研修 実践研修	3
東京都看護協会	11/13	障害者支援施設等の新型コロナウイルス感染防止対策研修	1
学校法人藤仁館学園	12/3・4 3/17・18	社会福祉士実習指導者講習会	2
都社会保健医療研修センター	1/6・7・27・14	東京都サービス管理責任者更新及び児童発達支援管理責任者更新研修	2
日本厨房工業会他	2/16	厨房設備機器展他	1
品川区	3/9	品川福祉カレッジ 虐待・グレーディングについて考える	1
品川区	3/11	品川福祉カレッジ 障害者の高齢化の理解と地域共生のためのケアマネジメント	1
日本消防設備安全センター	3/18	防火対象物点検資格者再講習	1
ブティックス株式会社	10/19	東京ケアウィーク'21	3
三幸福祉カレッジ	通年	介護福祉士実務者研修	4
中央福祉学院	通年	社会福祉主事資格認定通信課程（秋期コース）	1

②法人研修

主催	日程	内容	参加人数
かがやき園	4月～6月	OJT研修（新任、異動）	4
障碍者福祉部	9/30	虐待防止研修	19
かがやき園	9/7～30	目で見えてんかん発作と対処法（動画視聴）	23
法人	10/14	新人フォローアップ研修	4
法人	7/8～31	感染症防止研修（動画視聴）	24
法人	10月	安全運転講習	2
法人		上級救命講習	3
法人		上級救命再講習	14

(8) 防災訓練実施状況

年	月	日	曜日	訓練内容	
2	4	24	金	日中想定	[火点：2階事務室]
	5	29	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	6	26	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	7	31	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	8	28	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	9	25	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	10	30	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	11	27	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	11	29	日	参集訓練	
	12	25	金	日中想定	[火点：1階食堂]
3	1	29	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	2	26	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	3	26	金	日中想定	[火点：1階食堂]

西大井六丁目複合施設防火管理関係構成員

事業所名	管理権原者	防火管理者	使用階等
西大井六丁目 第三区営住宅	品川宅建センター 取締役	宅建センター防火管理者	3階～6階
品川区立 かがやき園	福栄会理事長	施設長	1階～2階
統括防火管理者		施設長	

(9) 実習・研修生受入状況（年間受け入れ人数）

	受入学校数	人数	備考
保育実習	7	16	
福祉実習	3	7	介護福祉・社会福祉
計	10	23	

南品川むつみ園事業報告（生活介護）

1. 重点目標への対応

(1) 利用者サービスの向上

多様化する利用者のニーズに専門職や関係機関と連携を図りながら対応をしました。また、保護者等の高齢化等による緊急対応も行い、利用者サービスの向上及び維持を図りました。

(2) 日中活動の充実

感染症対策のため外出活動は減少しましたが、利用者状況に応じた少人数グループでの活動を多く取り入れ、特に運動場面の充実を図りました。

(3) 職場環境の整備

パーテーションや手洗い場の設置、消毒や検温の徹底など感染症対策を実施、整理整頓を心掛け利用者が落ち着いて利用できるスペースを確保するなど限りある空間を工夫しました。

2. 家族・支援者との協力体制

感染症対策により連絡会は全て中止として、事業の報告等は書面にて行ないました。また利用者の日々の様子等については必要に応じて報告を行うとともに面談や家庭訪問を実施しました。

3. 地域貢献、関係機関との連携

感染症対策のため、町会や近隣の学校等の地域活動や交流への取り組みは全て中止としました。また、地域の特別支援学校や特別支援級、在宅の方の体験利用等も中止としました。

4. 事故防止策・虐待防止対策

(1) 事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は実績資料（別表10）のとおりです。事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう朝礼等を利用し職員全体での事例の報告や意見交換、事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備等の点検を行いました。

(2) 虐待防止

虐待防止規定に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組んだ他、ケース会議において支援方針の統一を図り支援の質の向上に取り組みました。

5. 防災対策

防災計画及びB C Pに基づき毎月1回火災想定及び地震想定の防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。

〔南品川むつみ園実績資料〕

(令和3年3月31日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 利用者人員

定員(人)	現員(人)	内訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
20	9	8	90	1	10

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	10	0	2	8
女	2	0	1	1
計	13	0	3	9

2. 年齢状況

(1) 年齢構成

年齢(歳)	男	女	計	%
18~19	0	0	0	0
20~29	5	1	6	76
30~39	1	0	1	8
40~49	1	0	1	8
50~59	1	0	1	8
60~	0	0	0	0
人数計	8	1	9	100
最年少	21	24		
最高齢	51	24		

(2) 平均年齢

区分	男	女	平均
平均年齢	29.1歳	25.5歳	29.3歳

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1度			2度			3度			4度			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	6	0	6	2	1	3	0	0	0	8	1	9

(2) 身体障害者手帳の併所持・主な合併症状をもつ利用者の状況

愛の手帳		1度	2度	3度	4度	非該当	合計
所持人数	1度	0名	6名	3名	0名	0名	9名
身 障 手 帳	1級						
	2級						
	3級						
	4級						
	計	0名	6名	3名	0名	0名	0名

(3) 障害支援区分の状況

障害支援 区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	合計
	人数	0名	0名	1名	6名	2名	0名	0名	9名

4. 通園状況

(1) 利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数 (定員×開所日数)	出席者延べ人数	利用率
258日	5,160人	1,875人	36.3%

(2) 通園形態

通園形態		男	女	計
自力通園	徒歩	0	0	0
	交通機関	0	0	0
家庭介護通園	徒歩等	0	0	0
送迎車両利用		8	1	9
合計		8	1	9

(3) 送迎車両運行及び利用者状況

送迎車両	利用人数	主なコース	所要時間	対応車種
NV-350	3名	五反田・北品川方面	70分	NV-350
コミューター	6名	西大井・大森方面	70分	ハイエース
合計	9名			

※令和3年1月よりコミューター1台で送迎実施している。

5. 支援概要

(1) 活動の実施状況

活動名	内 容
散歩	1時間～1時間半程度の長距離のウォーキング活動を実施しました
ウォーキング	
外出活動	車で行ける距離の大きい公園に行き散歩を実施しました
カラオケ	午前、午後のどちらかの活動時に1時間～1時間半程度の時間で実施しました
ドライブ	活動時間（午後）にお台場や東京タワー、羽田空港、横浜などのドライブを実施しました
書道	毛筆・ペン習字を月2回程度実施しました
創作	月曜日の午後にちぎり絵の作品でカレンダー作りを実施しました。また、季節の飾りなども作成しました
お菓子作り	感染症拡大予防もあり数回のみ実施している
喫茶利用	福栄会の喫茶海岸通りや近所のカフェに行き、地域交流や社会体験の場としました
音楽レクリエーション	講師による音楽レクリエーションを月1回実施しました
体育館活動	東品川文化センターの体育館に行って、ジョギングやストレッチなどの身体を動かす場面を提供しました
室内運動	南品川むつみ園にてストレッチやカラオケ機器で音楽をかけながら体操等を中心に室内運動を実施しました

(2) 生産活動支援状況

作業種目	内 容
軽作業	・レジ袋折り、新聞広げ、他

(3) 年間行事等の実施状況

月	日	行事内容	備 考
4	13～30	登園自粛	
5	1～31	登園自粛	
8	11	スイカ割り	
9	29・30	レインボーブリッジ遊歩道散歩	
10	2	レインボーブリッジ遊歩道散歩	
10	15・22・27	外出活動（川崎マリエン）	
12	25	クリスマス会	
2	2	節分・豆まき	

6. 家族とのかかわり

(1) 園連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回	感染拡大防止の為中止	
第2回	感染拡大防止の為中止	
第3回	感染拡大防止の為中止	

(2) 園報の発行内容

発行月	発行内容
4月	異動職員挨拶 外出活動報告 感染予防について
5月	自粛期間の為中止
6月	職員紹介 日中活動報告
7月	日中活動報告
8月	日中活動報告
9月	日中活動報告 スイカ割り
10月	日中活動報告
11月	日中活動報告 外出活動報告
12月	日中活動報告
1月	新年のご挨拶 クリスマス会
2月	七福神めぐり 日中活動報告
3月	日中活動報告

(3) 地域とのかかわり

ボランティアの受け入れ状況

活動名	人数	期間等	内 容
音楽活動講師	1	通年（月1回）	音楽レクリエーション

7. 実習・研修生の受け入れ状況(年間受け入れ人数)

区 分	人 数	備 考
専門学校・大学・企業等	0名	

8. 職員研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加 人數
東京都社会福祉協議会	チームリーダー研修	11月 18・19日	1

(2) 法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参 加 人 數
感染症予防研修	8月 21日	3
虐待防止研修	10月 12日	3

9. トワイライト実施状況

家族支援事業「トワイライトステイ」利用状況

内 訳	件数	17:15～18:15	17:15～19:15
利用件数合計	48	48	0

10. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	3	0	7	5	8	13	8	0	2	2	6	5	59

・他傷/他害行為(42件)・転倒(8件)・所在不明(1件)・その他(8件)

(2) 事故報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・転倒(0件)・所在不明(0件)・他害行為(0件)

1 1. 防災訓練の実施状況

回	実 施 日	内 容
1	4月→中止（感染症予防）	火災想定による避難訓練
2	5月→中止（感染症予防）	火災想定による避難訓練
3	6月 25日（木）	地震後火災想定による避難訓練
4	7月 30日（木）	火災想定による避難訓練
5	8月 27日（木）	火災想定による避難訓練
6	9月 24日（木）	地震後火災想定による避難訓練
7	10月 22日（木）	火災想定による避難訓練
8	11月 26日（木）	火災想定による避難訓練
9	12月 24日（木）	地震後火災想定による避難訓練
10	1月 28日（木）	火災想定による避難訓練
11	2月 25日（木）	火災想定による避難訓練
12	3月 25日（木）	地震後火災想定による避難訓練

1 2. 感染症発生状況

インフルエンザ	感染性胃腸炎
0名	0名

福栄会障害者相談支援センター事業報告

1. 重点目標への対応

(1) 高齢障害者や家族の高齢化等への対応

高齢障害者や家族の高齢化に対しても、新たに開設した、品川区東品川障害者計画相談事業所（在支併設型事業所）との連携のもと、当該事業所を有効に活用できる様、実践をふまえながら介護保険制度や医療保険制度と連携し利用者の相談支援にあたってきました。

また、事例を通して各制度・サービスを効果的に活用する経験を通じ、相談員としての資質を高めるための努力をしながら、利用者の生活の質の向上に繋げました。

(2) 地域生活支援拠点事業の課題及び対策を整理

一人当たりの相談員の持ち件数の課題に対しては、区内に新たに開設した民間相談支援事業所や在支併設型事業所と連携し、利用者の意向を確認しながら、可能な範囲で引き継を行い、引き続き該当する方にはご案内を継続していきます。また、同様に隣接する計画相談事業所への適切な引き継ぎも継続していきます。この様に相談件数を適切に調整することで、地域生活拠点事業の体制を整えてきております。

(3) 障害者相談支援センターとしての体制、力量の整備

各相談員の力量により、相談事例を通じ関係機関との連携や障害・高齢・医療・権利擁護など各制度への習熟を高めようとしている最中で、各種資格取得に向けた取り組みの継続もしました。

一方で毎年職員の交代が続く現状もあり、安定した力量の整備まではまだ時間を要する状態です。

(4) 適切なケアマネジメントの構築

関係機関との良好な協力関係を築き、ケースカンファレンスや担当者会議等を適時実施し、適切な支援計画を作成し利用者の支援に活かしてきています。関係機関との連携の取り方・タイミング・進行管理などは、まだ経験の浅い職員には経験職員がサポートを行いながら進めています。

2. 相談支援体制

(令和2年4月)

職種	職務	人員
管理者	事業所全体の管理（計画事業所管理者兼務）	1名
地域生活支援拠点マネージャー	地域生活支援拠点事業所マネージャー業務 相談支援専門員業務	1名

相談支援専門員	アセスメント、サービス等利用計画の作成、モニタリング、サービス調整等 ※支援区分調査は全職員	4名
---------	---	----

3. 区内障害者相談支援体制の動き

(1) 名称の変更（品川区東品川障害者相談支援センター）

(2) 計画相談支援事業所（在支併設型）

①令和1年 2か所（東品川・中延）

②令和2年 2か所（大井第二・西五反田）

(3) 民間事業所の開設

①令和1年10月 3か所

②令和2年10月 3か所

4. サービス内容

指 定 特 定 相 談 支 援 事 業 所	計 画 相 談	(1) 対象者
		①居宅介護利用者（既利用者・新規利用者） ②通所系（就労継続支援A・B、就労移行支援、自立訓練） ③グループホーム利用者等 ④区内入所施設利用者等 ⑤その他（就労定着などを含む）
		(2) 内容 ①アセスメント・サービス利用計画作成（マネジメント） ②担当者会議・ケースカンファレンスなど ③モニタリング（月1回～年2回など、適宜） ④関係機関調整 （開始時、変化のある時、問題発生時に適宜行なった。また、基幹相談支援センターとの連携は積極的に行なった） ⑤支援区分調査 ※年度途中より、品川区東品川障害者計画事業所及び、新規指定特定相談事業所・西五反田計画相談事業所への引き継対応を実施中

地域拠点相談支援センター事業	一般相談	<p>(1) 対象者 指定相談以外で就労や福祉サービスの利用等の相談者等</p> <p>(2) 内容 ①アセスメント・ケアプラン作成（年度当初の登録更新時に実施） ②ケア会議 ③面接・訪問等による相談継続 ④緊急時対応（日中、夜間、休日等も実施）</p> <p>(3) 事業 ①個別相談（訪問、同行支援も含む）</p> <p>(4) その他 ・新規相談支援事業所・計画事業所の支援など</p>
	各種会議・検討会	<p>(1) 地域拠点相談支援センター整備・充実のための協議への出席 (部会での協議も含む) 計 2回</p> <p>(2) 自立支援協議会及び、分科会への出席 ①自立支援協議会（2回） ②相談支援部会（2回） ※今年度から自立支援協議会の位置付け・メンバーが変更 ※部会も相談支援部会・就労支援部会の2部会のみ</p> <p>(3) 指定特定相談支援事業者連絡会（1回）</p> <p>(4) 指定特定相談支援事業者；在宅介護支援センター併設型 準備検討会及び定例会 ※いずれもコロナの関係で開催中止あり。</p>
地域支援拠点相談支援センター	相談	主に困難ケースの対応 898件 (令和1年 951件)
	体験	グループホームや施設入所に向けての体験をして次の方向性を検討 16件 (令和1年 10件)
	緊急	連絡調整や日中・夜間を問わず、即時対応を行った 368件 (令和1年 197件)
	専門性	在宅介護支援センターの地区ケア会議にて、障害福祉の制度の説明 0件（各個別への説明に変更） (令和1年 4件)
	地域	主に調整会議を開催し、関係機関との基礎ネットワークを構築 支援センターの欄にて報告 (令和1年 153件 331名)
	その他	受診同行などは、上記相談・緊急対応に含む 苦情対応など：0件

5. 相談支援実績

※今年度より相談支援・拠点相談支援センターとも①統計方法・報告内容の変更有。新規ケースはできるだけ新規事業所の対応とする。コロナの関係で訪問・ケース会議・調査などの対応を減した。

<相談支援を利用している障害者等の人数>

4月～9月の合計を2倍

障　害　の　種　別	実人数　　計　592人
身　体　障　害	196人
重症心身障害者	22人
知的障害	444人
精神障害・発達障害	14人
高次脳機能障害・他	4人

(年度)	令和2年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
相談件数 実	592	1,071	1,062	1,182	1,207
延	680	11,678	14,101	15,295	15,316
計画作成件数	168	208	275	266	172
モニタリング件数	222	628	683	641	334
カンファレンス・件	53	94	92	89	108
延参加人数	統計表に該当なし	331	542	610	597
支援区分調査件数	121(～12月)	109	68	135	130

相談方法の年度推移

相　談　方　法	令和2年度	平成31・令和1	平成30年度	平成29年度
電話相談	1,698	4,608	6,564	6,600
来館相談	182	1,171	1,334	1,405
訪問(自宅)※	618	2,536	3,119	3,782
訪問(施設等)※	—	2,793	2,368	2,758
同行支援※	154	500	511	469
文書等	24	15	88	172
その他	58	54	117	109
合計	2,734	11,677	14,101	15,295

※困難なケースへの即応的な対応が求められ関係機関との連携が一層重要。

※令和2年度より、統計の変更があり、計上の仕方も変更有。

支援内容

支 援 内 容	件 数
福祉サービスの利用	1, 118 件
障害や病気の理解	110 件
健康・医療	416 件
不安の解消・情緒安定	58 件
家族関係・人間関係	346 件
家計・経済	22 件
就労	24 件
権利擁護	32 件
その他	828 件

品川区東品川障害者計画相談支援事業所事業報告

1. 重点目標への対応

- (1) 令和2年1月に開設した事業所として、品川区東品川在宅介護支援センター並びに基本圏域の在宅介護支援センター、品川区東品川障害者相談支援センターを中心にその他関係機関と連携し、高齢障害者への対応を検討しながら実施してきました。
- (2) 品川区のモデル事業として、高齢障害者の豊かな生活に向けた、障害者福祉施策と高齢者福祉施策の適切な活用を念頭に置き、実績をフィードバックできるようすすめています。
- (3) 新規事業所として体制を整えながら、関係者の理解を深めながらすすめています。

2. 相談支援体制

職種	職務	人員
管理者（兼務）	事業所全体の管理	1名
相談支援専門員	アセスメント、サービス等利用計画の作成、モニタリング、サービス調整等	1名

3. 実績

- (1) 相談支援センターと対応ケースの選定、説明、引き継ぎを中心に行ってきている所であり、40名弱の対象について、順次契約・支援対応などをすすめてきています。
- (2) 新規ケースについては、支援センターと相談し対応をすすめてきています。
- (3) 今後にむけて、通所・入所施設利用者やグループホーム利用者についても、概ね50才以上の方で該当する可能性ある方などについても、該当者として選択し、障害者施策全体の理解を深めながら対応が可能になるようすすめています。

※この1年間に、新規相談事業所の開設や、計画事業所の開設で、引き継がれた途端引き継ぎをやむなくすすめる対象もある。

<計画相談を利用した障害者等の人数>(延) (①～④重複障害も在る)

障害の種別	実人數	124人
①身体障害	112人	
②重症心身障害者	0人	
③知的障害	28人	
④精神・高次脳機能障害他	0人	

令和2年度	
相談件数（実）	124件
（延）	140件
計画作成件数	25件
モニタリング件数	20件
カンファレンス件数	37件

<相談方法>

令和2年度	
訪問相談	217件
来所相談	5件
同行	17件
電話相談	300件
関係機関調整	45件
文書・その他	8件
個別支援会議	別掲

<支援内容>

支援内容	件数
福祉サービスの利用	254件
障害や病気の理解	7件
健康・医療	45件
不安の解消・情緒安定	2件
家族関係・人間関係	34件
家計・経済	3件
就労	3件
権利擁護	0件
その他	211件

かもめ工房事業報告（就労継続支援B型）

1. 重点目標への対応

（1）業務体制の強化

小規模職員集団では、一人の職員が複数の業務を担わなければならず、合理的な業務体制の構築を検討しました。来年度も引き続き業務体制の強化、改善を行っていきます。

（2）利用者支援の向上

利用者や家族の高齢化等により生活上様々な支障をきたし、通所が不安定になる利用者が増加しています。所内の活動に留まらないアウトリーチ的支援についても、継続して行えるようにしていきます。

（3）作業の安定的作業受注

3所共通で行っている軽作業、製菓、公園清掃、手工芸品製造等の作業連携を図り、利用者の作業量の確保を図りました。

①かもめ第一工房

ア 障害特性への対応

精神症状の変化や状態悪化、能力低下への気づきと理解対応をするために、通院同行を含めた医療連携を行いました。

イ 高齢化対策

高齢の利用者が次の人生を考えられるうちに、かもめ工房を卒業し、退所後のサービスへの繋ぎ支援を行いました。

ウ 円滑な作業運営

職員体制が整わない部分もありましたが、利用者へ軽作業、製菓、公園清掃等の作業量の確保を図り提供しました。

②かもめ第二工房

ア 自主製品の安定的な生産

利用者が自主製品の生産に関わる事が出来るよう働きかけを行うとともに、既存の販路からの受注を積極的に行いました。

イ 新規利用者の定着

新規利用者が3名入所しましたが、安定した通所に至らない場合もあり、支援の方法や体制の整備に課題が残りました。

ウ 就労支援

1名の利用者が障害者雇用での就労に繋がりました。また、ステップアップをめざし、1名の利用者が他事業所へ移行出来ました。

③かもめ第三工房

ア 利用率の安定

コロナウイルス感染症の影響による通所の自粛や、不調による長期欠席の利用者があり、利用率は安定しませんでした。感染症対策等を行い、安心して通所できる環境を整えていく必要性を感じました。

イ 就労支援

企業見学や職場体験実習は実施できませんでした。1名の利用者について、他のサービスの見学や体験の調整を行いました。

2. リスクマネジメント・虐待防止への取り組み強化

精神症状等により思わぬ事故に繋がることがあり、職員で障害特性等の情報を共有、把握することで事故防止につなげました。

虐待防止については、利用者の人権擁護の観点から職員間で意思疎通しました。

3. 家族・支援者との協力体制

利用者や家族の高齢化に伴い、親などの介護をしている利用者が多くなり、双方への支援が課題となってきています。また、一人暮らしの利用者についても、自立生活が維持継続できるよう、家族や関係機関との連携を図りました。

4. 地域との交流及び貢献活動

コロナ禍において、地域のイベント参加、ボランティアの受け入れ、地元企業等との連携した活動等は、ほぼありませんでした。地域の関係機関からお菓子の受注等は頂き、日頃のつながりに感謝した年でもありました。

5. 事故防止策・防災対策

作業活動及び日常の活動全般について、事故防止のためにマニュアルを見直し、環境整備に努めました。また、消防設備等の点検を定期的に行い、防災対策を実施しました。

6. 各所利用状況（令和3年3月31日現在）

(1) 利用者人員

施設	定員	在籍者数	内訳			
			男	比率%	女	比率%
第一工房	25	29	17	59%	12	41%
第二工房	20	26	15	58%	11	42%
第三工房	20	34	20	59%	14	41%

(2) 入退所状況

施設	在籍数 (年度初)	増	減	在籍数 (年度末)	退所者理由			
					就労	0名	他サービス	3名
第一工房	32名	1名	4名	29名	状態悪化	0名	死亡	0名
					その他	1名	転居	0名
第二工房	30名	3名	7名	26名	就労	1名	他サービス	1名
					状態悪化	2名	死亡	0名
					その他	3名	転居	0名
第三工房	35名	1名	2名	34名	就労	1名	他サービス	1名
					状態悪化	0名	死亡	0名
					その他	0名	転居	0名

(3) 年齢構成

施設／年齢		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
第一工房 29名	男	0	1	4	6	3	2	1
	女	0	1	4	6	1	0	0
第二工房 26名	男	0	0	2	3	6	3	1
	女	0	0	3	5	2	1	0
第三工房 34名	男	0	3	2	7	4	4	0
	女	0	1	4	6	3	0	0

(4) 年齢

施設/年齢	男(平均)	女(平均)	平均年齢	最年少者	最高齢者
第一工房	47.0	39.5	43.9	23	71
第二工房	53.6	47.2	50.9	31	71
第三工房	46.4	42.1	44.6	24	65

(5) 精神障害者福祉手帳取得状況

施設／等級	1級	2級	3級	他障害手帳等	なし	合計
第一工房	0	19	7	4	2	32
第二工房	0	18	5	0	3	26
第三工房	0	21	11	2	1	35

(6) 生活状況

施設／状況	障害年金受給	老齢年金受給	無年金	生活保護受給	家族同居	単身者
第一工房	20	1	7	13	15	14
第二工房	23	0	3	4	16	10
第三工房	21	1	12	11	20	14

(7) 利用状況

施設/状況	開所日数	年間延べ人数	月平均人数	一日平均人数	利用率
第一工房	242日	3,934人	328人	16.3人	65.0%
第二工房	244日	2,998人	249人	12.2人	61.4%
第三工房	243日	2,740人	228人	11.3人	56.4%

7. 作業状況

(1) 館内清掃

	施設名称	作業スケジュール	分担
1	北品川つばさの家	週5回	第一工房
2	品川区立西大井福祉園	週5回	第二工房
3	品川区立かがやき園	週3回	第二工房
4	西大井六丁目第三区営住宅	月1回	第二工房

(2) 公園清掃

	公園名	作業スケジュール	施設	面積 (m ²)
第一工房	ごこう広場	月・金(週2回)		5 8
	弁天通公園	月・金(週2回)		6 6 3
	庚申公園	月・金(週2回)		4 9 2
	荏原町公園	月・水・金(週3回)		8 8 3
	平塚中央公園	月・水・金(週3回)		1 3 2 0
	北品川三丁目児童遊園	月・金(週2回)		3 3 9
	戸越六丁目児童遊園	月・金(週2回)		9 5
	小関公園	月・水・金(週3回)		1 , 1 2 5
	サンサン防災広場	月・金(週2回)		1 2 8
	御殿山の丘公園	月・金(週2回)		8 6 9
小計				5 , 9 7 2
第二工房	西大井六丁目ふれあい広場	月・水・金(週3回)		1 , 2 1 5
	谷垂公園	月・水・金(週3回)		5 6 4
	森前公園	月・水・金(週3回)		5 8 8
	宮下公園	月・金(週2回)		3 8 4
	森下児童遊園	月・金(週2回)		7 9 8
	二葉三防災広場	月・金(週2回)		1 8 8
	二鳳公園	月・金(週2回)		2 0 1
	豊四防災広場	月・金(週2回)		1 2 5
	豊四中央防災広場	月・金(週2回)		2 0 6
	豊町5丁目児童遊園	月・金(週2回)		2 7 7
	二葉中央のんき通り広場	月・金(週2回)		2 6 2
	ゆたかしいのきひろば	月・金(週2回)		5 1 0
	豊町児童遊園	月・金(週2回)		2 3 2
	源氏前公園	月・水・金(週3回)		1 , 0 6 9
第三工房	源氏前特定児童遊園	月・水・金(週3回)		3 3 4
	中延六丁目広場	月・水・金(週3回)		1 5 7
	中六桜広場	月・金(週2回)		1 6 6
	小計			7 , 2 7 6
第三工房	西五反田公園	月・水・金(週3回)		2 , 2 6 2
	本三くじら広場	月・金(週2回)		1 5 9
	ころく坂の上広場	月・金(週2回)		2 2 2
	かむろ坂公園	月・金(週2回)		1 , 1 3 1

谷山公園	月・金(週2回)	第三工房	775
亀の甲児童遊園	月・金(週2回)		157
西八丁公園	月・金(週2回)		519
中原公園	月・金(週2回)		419
中原東公園	月・金(週2回)		348
荏原児童遊園	月・金(週2回)		146
※R1.10～R3.2 中断			
峰原公園	月・金(週2回)		621
※R2.12～中断			
荏三公園	月・水・金(週3回)		777
にしょん広場	月・金(週2回)		346
西五反田四丁目遊園	月・金(週2回)		41
小山台一丁目防災広場	月・金(週2回)		289
	小計		8, 212
	総合計		21, 460

(3) 自主製品イベント販売

毎月第一水曜日学研(計5回) 合計：平日5回、土日祝祭日0回

(4) 工賃支給状況

施設	年間総支給額	支給対象延人数	平均金額
第一工房	4, 085, 966円	329人	12, 419円
第二工房	3, 748, 932円	290人	12, 927円
第三工房	3, 529, 303円	351人	10, 055円

8. 運営状況

(1) ボランティア受け入れ状況

施設	作業補助	昼食作り	行事
第一工房	6名	0名	0名
第二工房	1名	0名	0名
第三工房	2名	0名	0名

(2) 実習生受け入れ状況

依頼先機関	延数	依頼先機関	延数
東京福祉大学	0名	東京医科歯科大学	0名
東京福祉専門学校	0名	社会福祉士会	0名
東京医療保健大学	15名	品川介護専門学校	1名
合計			16名

9. ヒヤリハット・事故報告状況

	ヒヤリハット報告				
	第一	第二	第三	相支	合計
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	1	0	1	0	2
7月	1	0	0	0	1
8月	0	0	0	0	0
9月	0	1	0	0	1
10月	1	1	0	0	2
11月	0	0	2	0	2
12月	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	1	0	0	0	1
合計	4	2	3	0	9

<ヒヤリハット内訳>

- ・パニック-3件
- ・自傷他害-1件
- ・器物破損-1件
- ・パニック-1件
- ・自傷他害-1件
- ・器物破損-1件
- ・車両関係-2件
- ・転倒転落-1件
- ・体調不良-1件
- ・車両関係-5件
- ・転倒転落-1件
- ・体調不良-1件
- ・作業関係-2件
- ・異物混入-1件
- ・感染症等-1件
- ・作業関係-4件
- ・異物混入-1件
- ・感染症等-1件
- ・その他の-1件
- ・その他の-1件

	事故報告				
	第一	第二	第三	相支	合計
4月	0	0	0	0	0
5月	0	1	0	0	1
6月	0	1	1	0	1
7月	0	0	1	0	1
8月	0	0	1	0	1
9月	0	0	0	0	0
10月	0	3	0	0	3
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
1月	0	0	1	0	0
2月	0	0	0	0	1
3月	0	1	1	0	1
合計	0	6	5	0	11

<事故内訳>

品川区精神障害者地域生活支援センター事業報告

1. 重点目標報告

障害者総合支援法に基づき、福祉サービス利用者に対し計画相談を実施し、地域活動支援センターI型の事業者として、次の重点目標を計画し実施しました。

相談支援事業件数	8,252件
地域活動支援センター利用総数	1,644名
開所日数	247日

従事職員（常勤5名・非常勤3名）

(1) 相談支援機能の充実

令和2年10月に区が新しい相談支援事業所を誘致し、今まで区内全域の方がたに対応していましたが、利用者が事業所を選べるようになりました。新しい相談支援事業所が区内に定着できるよう、継続して支援していきます。

(2) 地域活動支援センター事業は、新型コロナウイルス感染の影響で、利用者が安心・安全に過ごせるように、感染予防対策を行い運営しました。集まって行うイベントについては残念ながら自粛や縮小の判断をしながら活動しました。

(3) 障害者雇用のニーズが高まっていますが、新型コロナウイルス感染の影響で、雇用が縮小した関係で、支援の延長を希望する方が増えています。訓練も通所から在宅訓練に移行する事業所も多くなりました。

2. 相談支援体制

職種	常勤	非常勤	合計	職務内容
管理 者 (相談支援専門員兼務)	1		1	施設運営管理の総括（含む生活全般に係る相談・サービス利用計画作成）
相談支援専門員	4		4	生活全般に係る相談・サービス利用計画作成
指導員		3	3	交流室の運営・生活相談

※地域活動支援センター担当常勤職員は、相談支援専門員と兼務

連絡会の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染の影響で、見送っていましたが、令和2年10月より、区内の精神障害者の方が利用できる事業所が増えている現状を踏まえ、感染に留意しながら、令和3年2月に行政と事業所の顔合わせを行いました。事業所が区内に増えてきている現状をお互いで認識しつつ、今後も連携や協力体制を築いていきます。

3. サービス内容

相談支援事業 (サービス等利用計画を含む)	特定相談	<p>(1) 実績 (サービスの重複含)</p> <table> <tbody> <tr> <td>① 介護給付 (居宅介護・通院等介助)</td><td>35件</td></tr> <tr> <td>② 訓練等給付 (自立訓練・就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援・共同生活援助)</td><td>223件</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 内容</p> <table> <tbody> <tr> <td>① アセスメント・サービス利用計画作成</td><td>253件</td></tr> <tr> <td>② カンファレンス</td><td>407件 (述数)</td></tr> <tr> <td>③ 区分認定調査</td><td>47件</td></tr> <tr> <td>④ モニタリング (月1回～年1回)</td><td>367件 (延数)</td></tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染の影響で、対面支援ではなく電話や郵送での支援を試み、今後も必要な方には幅広い支援が可能になり、また支援の延長を希望する利用者が多くなりました。</p>	① 介護給付 (居宅介護・通院等介助)	35件	② 訓練等給付 (自立訓練・就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援・共同生活援助)	223件	① アセスメント・サービス利用計画作成	253件	② カンファレンス	407件 (述数)	③ 区分認定調査	47件	④ モニタリング (月1回～年1回)	367件 (延数)
① 介護給付 (居宅介護・通院等介助)	35件													
② 訓練等給付 (自立訓練・就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援・共同生活援助)	223件													
① アセスメント・サービス利用計画作成	253件													
② カンファレンス	407件 (述数)													
③ 区分認定調査	47件													
④ モニタリング (月1回～年1回)	367件 (延数)													
一般相談	<p>(1) 対象者：区内在住の精神障害者</p> <p>(2) 内容：生活・就労・健康・福祉サービス等の各種相談</p> <p>(3) 方法</p> <p>面接、電話、訪問等による相談支援</p> <p>その他、関係機関との調整・会議等</p> <p>※生活や体調面、制度利用等で様々な相談を受けています。相談内容から制度利用</p> <p><地域移行支援：精神科病院への長期入院者への退院支援></p> <p>(退院終了) 3件 (支援継続) 1件</p> <p>※新型コロナウイルス感染の影響で、病院への面会が厳しくなりましたが、3名の方が地域への退院ができました。</p>													
専門相談 (顧問医)	<p>実施実績：毎月1回 (第2金曜日) 年間10回 (8月と3月は除く)</p> <p>年間を通して、利用者のみならず関係機関や事業所内の事例検討を行い、医療面を中心に助言を頂きました。</p>													

地域活動支援センター事業	交流促進 (交流の場と居場所の提供)	(1) 交流室利用者数 1,644名(延数) 年間247日開所日 (2) 自主活動:参加人数 493名(延数) (非常勤・ボランティアによる運営 実施内容 以下①~⑧) ①パソコンクラブ 週2回 ②茶道クラブ 月1回 ③体操クラブ 週1回 ④アートクラブ 週1回 ⑤新聞クラブ 週1回 ⑥ワーキングクラブ 週2回 ⑥読み合いの会 月1回 ⑧傾聴交流 隨時 ※新型コロナウイルス感染症の影響で、通所の自粛を行っている方有り (3) たいむミーティング: 24名(延数) 年間12回開催 月1回、様々なテーマで意見交換をしたり、交流室での活動についての希望などを話したり、聞いたりしました。 (4) たいむりいNEWSの発行 (毎月1回 220部発行) 月の予定や、自主活動の様子、利用者からの投稿を毎月紙面にして発行し、区役所・保健センター・医療機関、関係する事業所に送付しました。
		(1) 食事サービス: 30名利用(延数) かもめ第3工房の昼食サービスを利用しました。 (2) 入浴サービス: 90名利用(延数) 主に自宅入浴設備がない方の利用が中心に定期利用となっています。
		(1) 対象者: たいむ登録者 (2) 内容: 個別・グループ相談等(年間11回 24名(延数)) 新型コロナウイルス感染防止を留意しながら、個別での相談ばかりではなく、グループ相談も行いました。
	ピアカウンセリング	地域交流会参加数 0名(延数) 年4回ほど、地域の方にもご参加いただけるイベントを実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、開催できませんでした。

児童福祉部事業報告 目次

児童福祉部事業報告	159
品川区立家庭あんしんセンター事業報告	161
品川区ひまわり荘事業報告	162
品川区子育て支援センター事業報告	166
品川区子育て短期支援事業報告	168
平塚ファミリー・サポート・センター事業報告	170
平塚きぼう荘（障害者住宅）事業報告	172
品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設	182
品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設	188

児童福祉部事業報告

1. 基本方針

児童福祉部は、「子どもの最善の利益」を基本に、各施設の専門機能や社会資源を活用し地域の子どもやその家族を支援を進めました。

新型コロナウイルス感染症拡大により、多世代及び他機関での交流の機会が困難な場面も多々ありましたが、感染予防を確実に行い、地域の人々とのつながりを大切にし、共生社会の実現を目指しました。

2. 重点目標

- (1) 品川区と連携を密にとり、品川区における子ども・子育て支援施策及び、区立児童相談所設置に向けた方針・広域利用の方針等を踏まえ、家庭あんしんセンターを中心に、地域のニーズに対し、素早く対応するため適切なサービス提供体制を整えました。
- (2) 開設2年目となる平塚高齢者多世代交流支援施設と運営初年度となる東品川高齢者多世代交流支援施設については、区の指示に基づき新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しつつ、可能な範囲で運営を行いました。
- (3) 令和3年度から受託開始する区立就学前乳幼児教育施設の円滑な事業移行を目指し、準備を進めました。

3. 児童福祉部事業内容

品川区立家庭あんしんセンター事業内容

	施設・事業種別	定員等
第一種社会福祉事業	母子生活支援施設 品川区ひまわり荘	20世帯
第二種社会福祉事業	品川区子育て短期支援事業 短期入所事業（ショートステイ）	5名
第二種社会福祉事業	品川区子育て短期支援事業 夜間養護事業（トワイライトステイ）	20名
公益事業	品川区育児支援ヘルパー派遣事業 養育支援訪問事業	
公益事業	子ども家庭支援センター事業 (品川区子育て支援センター)	
公益事業	品川区ファミリー・サポート・センター (平塚ファミリー・サポート・センター)	大崎・荏原地区担当

平塚高齢者多世代交流支援施設（平塚ゆうゆうプラザ）事業内容

	施設・事業種別	定 員
公益事業	貸出し施設事業及び介護予防事業	
第二種社会福祉事業	地域子育て支援拠点事業（ポップンルーム）	
第二種社会福祉事業	一時預かり事業（オアシスルーム）	※ 12名

東品川高齢者多世代交流支援施設（東品川ゆうゆうプラザ）事業内容

	施設・事業種別	定 員
第二種社会福祉事業	老人福祉センター	
第二種社会福祉事業	地域子育て支援拠点事業	

就学前乳幼児教育施設（ぱりすぐーる西五反田）事業内容

	施設・事業種別	定 員
第二種社会福祉事業	保育園	46名
公益事業	幼児教育施設	54名
公益事業	子ども家庭支援センター	
第二種社会福祉事業	一時預かり事業（オアシスルーム）	※ 6名

※ 新型コロナ対策として令和2年6月以降定員を1／2として運営中

品川区立家庭あんしんセンター事業報告

1. 重点目標への対応について

(1) 子育て短期支援事業 ショートステイ利用者の拡大及び体制の整備

地域で必要な方がサービス利用に繋がるよう、要保護児童対策地域協議会分科会を通じて各関係機関へ、具体的な利用事例を交えながら幅広く周知活動を行い、利用の促進を図りました。

「行動指針」・「安全確保マニュアル」などを適時更新及び「日常業務の振り返りチェックシート」を作成し、定期的な確認を行い「業務の標準化」を進めました。また、定期的に打ち合わせを行い、その内容が全体周知されるよう努めました。

	令和元年度	令和2年度
ショートステイ宿泊数（延べ）	96泊	99泊
育児疲れを理由とする宿泊数（延べ）	39泊	54泊
全体に占める割合	41%	54.5%
実利用世帯数	9世帯	7世帯

(2) 地域貢献の充実

ひまわり荘の利用者・退所者及び地域の子どもを対象に、学習の支援、居場所の提供、食事の提供などを行うプログラムとして「家庭あんしんセンター学習支援」を平塚ゆうゆうプラザと協働で開催し、地域貢献の充実を図りました。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言中等は中止としました。

また、小学校での英語学習にあわせて、参加者全員で取り組む簡単な英語学習の時間を作るなど、個人の課題学習だけではなく、楽しみながら参加が継続できるよう工夫をしました。体制整備として教員免許を持った非常勤職員を採用しました。

開催日	回数	延べ人数
第1・3土曜日 13時～16時	7回	43人

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日より休館とし令和2年12月5日に再開しました。令和3年3月13日からは、中止としていた食事提供（おにぎり提供）も再開しました。ただし、館内飲食は禁止としているため、自宅などに持ち帰り喫食してから学習支援を開始という形を取りました。

品川区ひまわり荘事業報告

1. 重点目標への対応について

(1) 利用者支援の充実

新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、館内消毒・入館者の検温、手指消毒などを積極的に行い、感染予防に努めました。しかし、食事を伴う行事などの積極的な実施は、できませんでした。

①母親支援の充実

感染症の影響で、行動が制限される中、世帯交流でなく、母子と職員との交流を中心として互助会を実施し、自立への意識が高まるような情報交換の場を提供しました。母子のリフレッシュにもなる手工芸（プラバン・掃除用具など）も職員と一緒に作成しました。

②子ども支援の充実

互いに育ちあう場と個々に直接アプローチする場面を設け、学童保育や学童相談室を活用し、支援を行いました。感染症の影響で、例年とおりの行事の実施ができませんでしたが、児童自立支援計画に基づいた一貫した支援の流れを確立し、退所後の生活を見据えた支援に努めました。

③退所後のアフターケア継続と充実

退所後も自立した生活が安定的に維持できるよう関係機関と連携し、退所後の支援計画票に基づき、家庭訪問などアフターケアの充実を図りました。

(2) 品川区との連携強化

母子生活支援施設を必要とする地域の母子世帯を広く受け入れすることができるよう、写真入りの案内を用意し説明してもらえるよう品川区子ども家庭支援課とさらなる連携に努めました。

2. 事業内容

(1) ひまわり荘年間行事

月	日	曜日	行事名	内 容	参加人数
4			春を呼ぶ会	互助会・職員紹介・食事会	中止
5	5	日	端午の節句	記念撮影	子7名
7	7	日	七夕	短冊飾り	全利用者
12	24	木	年末お楽しみ会	プレゼント配布	全利用者
2	2	火	節分	豆・菓子配布	全利用者
3	2	火	ひなまつり	記念撮影	母6名・子10名

(2) 学童保育の年間行事

月	日	曜日	行事名	参加人数	内 容
5	10	日	母の日	7名	手作りメッセージカード作り
8	23	日	映画鑑賞会	3名	映画鑑賞、菓子提供
8	3	月	学童制作行事	3名	レジン制作
9	14	月	学童制作行事	3名	レジン制作
9	25	金	学童制作行事	3名	木工細工
10	14	水	学童制作行事	3名	ハーバリウム制作
11	11	水	食育行事	3名	食材を使用した食育
11	14	土	外出行事	3名	林試の森公園にて遊ぶ
12	9	水	工作行事	3名	松ぼっくりを使用した工作
12	13	日	映画鑑賞会	3名	映画鑑賞・菓子提供
1	23	土	新年お楽しみ会	6名	巨大人生ゲーム（室内）
2	10	水	学童制作行事	6名	ステンドガラス制作

(3) 乳幼児行事

月	日	曜日	行事名	参加人数	内 容
5	3	日	母の日	3名	手作りメッセージカードを渡す
10	26	月	保育月間	0名	保育のみ

3. 支援の具体的な内容

(1) 生活の支援

- ①入所前の事前情報・入所後のアセスメント及び初回面談や定期面談時には、アンケートの記入の依頼をおこない、日常的な会話や生活場面からも母親と子どもの意向をくみ取り、課題・ニーズの適切な把握に努めました。
- ②「寄り添い」・「共に行う」・「見守り」を基本とし、品川区子ども家庭支援課を含めた三者面談で課題確認を行い、自立にむけた課題を積極的に取り組んでもらうように、自立支援計画に基づいた支援を行いました。
- ③「子育てに関する事」は、母子の個別の状況に応じ、小学校生活をイメージできるように話をする機会や「日常生活で役立つ講座」などの開催は、実施できなかつたものの、日常的な母親との会話の中で、各種手続きの手順や転居時の準備・手順などの説明を積極的に行いました。
- ④家事や育児、基本的な生活習慣などの日常の生活支援を行いました。また、心

理・健康面の相談においては、臨床心理士との面談や就労支援、住宅確保等の個別課題に対応しました。

- ⑤健康診断を年に2回実施し、必要に応じて専門医療機関への紹介や同行も行いました。健康診断で要受診項目に関しては、母と相談し、積極的な受診をすすめる支援を行いました。
- ⑥退所後も地域で安心した生活が送れるよう、支援計画にも基づいたアフターケアを計画的に実施しました。

(2) 子どもの支援

- ①「児童自立支援計画」に基づいた一貫した自立支援

入所前の情報や日頃の関わりや遊び中等で、その子どもの課題・ニーズを導き出し、退所後を見据えた「児童自立支援計画」を作成しました。チームでの支援の流れ（プランニング～評価・終結）を明示し、その支援を着実なものとしました。学童担当者会議において、学童担当以外の意見も参考にしながら、日常の学童保育の支援を充実させました。

- ②育ちの課題を個々に直接アプローチする支援

子どもとの面談を実施し、個々の心身の状況を把握しながら、基本的な生活習慣から学習面など育ちの課題を取り組みました。退所後の生活を見据えた支援を行いました。また、退所時の不安感を軽減するための学童退所面談を行いました。いつでも来所できる環境があることを説明し、安心して退所を迎えるようにしました。

(3) 緊急一時事業

令和2年度は4世帯、延べ利用日数37日の緊急一時保護事業の利用がありました。

4. 関係機関との連携

- (1)品川区子ども家庭支援課・生活福祉課・子育て支援センターと連携した利用者支援を行いました。
- (2)医療機関・保健センターと連携し、利用者の健康増進に努めました。
- (3)学校・保育園と連携し、子どもの教育・保育環境の確認及び、必要な情報交換を行いました。
- (4)調停・借金などは法テラスや、その他の関係機関と連携して個別に対応しました。

5. 事故防止策・虐待防止・防災対策

(1) 虐待防止への取り組み

ア 虐待防止規程に基づく虐待防止研修への参加や業務・虐待チェックリストを活用した取り組みを実施し、人権意識向上に取り組みました。

イ 利用児童の安全を確保するため、マニュアルに基づいた対応を職員間で周知徹底しました。

(2) 事故防止の取り組みとして、ヒヤリハット事例の検討、危険箇所の点検、事故発生時の迅速な再発防止策の検討、業務マニュアルの作成・見直しなどリスクマネジメントに取り組みました。

(3) 災害などに備え、毎月1回の防災避難訓練及び年1回の荏原消防署立会での防災避難訓練を行い、防災対応に万全に準備しました。また、大規模災害に備え、事業継続計画（B C P）に基づき行動できるよう、利用者の安全確保・事業継続に必要な対応を検討しました。

(4) 施設の定期的な建物保守管理を実施し、必要となる修繕・更新を品川区と協議し適切な維持管理に努めました。

品川区子育て支援センター事業報告

1. 重点目標への対応について

- (1) 養育困難相談として品川区が受理した相談のうち、養育支援訪問が予定されたケースは2件でした。出産予定の病院スタッフ、保健センター、児童相談所と協議しながら対応し、訪問支援のための事前訪問を行いました。出産後、乳児院措置となり、訪問支援はありませんでした。
- (2) 児童虐待対応窓口を品川区子ども家庭支援センターに集約する為、子ども育成課と協議を重ね、子育て支援センター相談受理家庭についてのケース移行を行いました。
- (3) 共有ガイドラインに基づいて、児童相談所からの送致家庭について、訪問・面談等の対応を継続して行いました。

2. 支援の具体的な内容

(1) 親子の関わりを重視した子育て広場の運営

新型コロナウイルス感染症蔓延の為、子育て広場の開催を4月から5月まで中止とし、6月1日より再開しました。再開に当たり利用人数制限や時間制限などを図り感染予防に十分留意しました。親子遊びの楽しみを体験できる時間をつくると共に、子どもとのかかわり方のスキルの獲得を支援することで児童虐待予防の一助としてきました。個別相談を利用している親子については、個別相談担当者と連携しながら個別相談場面・集団場面それぞれの特性を生かして親子を支援できるように働きかけました。

(2) 支援方針会議及び検討会議の継続

- ①全ケース：月1回支援センター独自の支援方針会議（ケース進行管理）
- ②新規ケース及び困難ケース：年間6回外部講師を招きカンファレンスでの検討
- ③その他：週1回の支援センター会議でのケース報告及び緊急な対応が必要なケースへの検討

(3) 虐待予防の取り組み

- ①虐待防止や虐待の重篤化防止を目的として養育支援訪問事業及び育児支援ヘルパー事業に取り組みました。
- ②虐待の連鎖を断ち切るために、子どもの心理的ケアや虐待に対する心理教育が必要な子どものケアを行ないました。

(4) 広く区民への虐待防止への取り組み

「子育て応援出前講座」と称して、区内児童センターに支援センターの職員を派遣し区民向けの児童虐待防止のための子育て講座を13施設で行いました。

また、認可私立保育園に向けて、職員研修の一環として児童虐待予防講座を

行いました。区内関係機関職員向けの公開講座を年4回開催しました。

3. 関係機関との連携

- (1) 児童虐待問題をはじめ、子育ての困難さを抱える家庭の課題に対して、子育て支援センターは要保護児童対策地域協議会参加機関として、地域関係機関との情報交換・連携を進めました。
- (2) 児童相談所については、月1回のモニタリング会議での情報の共有化だけではなく、相談への対応について専門的助言を受けました。

4. 事故防止策・虐待防止・防災訓練

- (1) 利用者の安全を確保するため、防災訓練時には広場利用者にも声を掛け参加を促しました。
- (2) 職員はマニュアルに沿った対応を身につけました。
- (3) 虐待防止の取り組みとして、虐待防止規程に基づき人権意識向上に取り組みました。

品川区子育て短期支援事業報告

1. 重点目標への対応について

(1) ショートステイ・トワイライトステイ利用者の拡大

レスパイト利用を含め拡大した子育て短期支援事業の対象者に対応し、利用者年齢、特性を考慮した保育環境の整備を進め、サービスの向上に努めました。

(2) ショートステイ・トワイライトステイ利用者受け入れの標準化

子育て支援センターと連携し、フローチャートを基に家庭あんしんセンター全職員に対し、受け入れの標準化を図りました。

2. サービス提供体制

職名	人数	主な担当業務
子育て短期事業相談員	2	相談登録及び子育て短期の運営
子育て短期臨時職員	11	子育て短期の業務全般

3. 支援の具体的な内容

短期	定員	5名
期間	1回の利用期間	7日以内（1泊2日からの宿泊を伴う利用）
入所	1回の利用時間	24時間（午前8時から、翌日の午後8時の間）
事業	利用料金	1泊2日6,000円（減免制度あり） (2泊目以降は1日につき3,000円を加算)
対象児童	対象児童	品川区に住所のある1歳半以上小学6年生以下の子ども
夜間	定員	20名
養護事業	1回の利用	1日から最長6ヶ月程度の利用・延長可能
対象児童	利用時間	午後5時から午後10時
その他	利用料金	1回1,200円（減免制度あり）
その他	対象児童	品川区に住所のある1歳半以上小学6年生以下の子ども
その他	その他	送迎あり（迎えのみ）1回 300円

(1) 支援内容

- ①おやつを含めた食事の提供と身の回りのケア
- ②学習及び遊びの援助
- ③通園及び通学の援助
- ④その他必要とする援助

(2) 感染症対策

- ①新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、ショートステイ室・トワイライトステイ室を隔てるスクリーンウォールを開放し、3密を避けるような室内のレイアウト変更を行いました。
- ②1時間に1回検温を行い利用児童の健康チェックを行いました。
- ③児童引き渡しの際、お迎え者の館内入館は控えていただき、職員が館外まで同行して引き渡しを行うように変更しました。

4. 事故防止策・虐待防止・防災対策

- (1) 事故防止の取り組みとしてスタッフの保育技術の向上を目指しました。また、ヒヤリハットの活用、危険箇所の点検、事故発生時の報告・分析と再発予防、マニュアルの作成・見直しなどリスクマネジメントに取り組みました。
- (2) 虐待防止への取り組み
 - ①虐待防止規程に基づき法人全体の「業務・虐待チェックリスト」を活用した取り組みを年2回行い、権利意識向上に取り組みました。
 - ②事故・ヒヤリハット報告の検討を迅速に行い、必要な対応を職員間で周知徹底しました。
 - ③危険なものがないか室内環境を定期的に確認し、必要に応じて整備しました。
 - ④業務開始前の打ち合わせで、利用児童の特性を踏まえた対応を確認し、安全に留意した対応を行いました。
- (3) 利用者の安全を確保するため、防災避難訓練を行いました。また、震災対策として、震災マニュアルに基づき行動し防災対応に万全を期しました。

平塚ファミリー・サポート・センター事業報告

1. 重点目標への対応について

新規提供会員登録の拡大を継続しました。大井ファミリー・サポート・センターとして提供会員養成講座を4回開催し、平塚ファミリー・サポート・センターでは4名の新規提供会員登録がありました。

しかし、これまで活動してきた提供会員の退会（高齢化、転居等の理由など）があり、提供会員の登録数は減少傾向が続いている。

実績	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	増減
提供会員登録数	190人	154人	▲49

子ども家庭支援課、大井ファミリー・サポート・センター・平塚ファミリー・サポート・センターで協議をおこない、より広く依頼会員にサービスが行き渡るよう支援内容の一部を変更しました。変更内容は以下のとおりです。

習い事の送迎について

現 行：制約は特になし

新ルール：子ども一人に付き1か所とする

※上記の変更について会員のしおりに明記しました。（令和2年4月から適用）

2. サービス提供体制

職名	人数	主な担当業務	保有資格
アドバイザー	2	会員登録・コーディネート等	保育士・幼稚園教諭等

3. 事業内容

次の事業を実施しました。

- (1) 提供会員の養成講座及び依頼会員加入時の説明及び登録等
- (2) 会員間の相互援助活動の調整及びトラブル等の調整助言
- (3) 相互援助活動を進めるための会員の交流会及び講習会の実施
- (4) 事業内容の広報活動
- (5) 関係機関との連絡調整
- (6) 事故への迅速な対応
- (7) 緊急対応（活動）

4. 関係機関との連絡調整

保育園・幼稚園・保健センター・子育て支援センター等と依頼内容及び会員状況により、情報交換を行い、連携しながら会員をサポートしました。

5. 事故防止対策と事故後の対応

- (1) 安全チェックリスト表を活用しました。
- (2) 事故事例を記録し、事例の分析、リスクの発見、再発の防止に取り組みました。
- (3) 「ヒヤリ・ハット」事例を活用して、事故防止・改善に役立つ情報を提供会員研修会・提供会員交流会等で取り上げ、危険察知の目を養うなど活用しました。

平塚きぼう荘（障害者住宅）

併設されている平塚きぼう荘設備管理を行い、必要な支援を行いました。隨時、入居者及び家族と連絡を取り、体調の確認などを行ってきました。

居住室数 2室

寒緑報 品川区立家庭あんしんセンター

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	小計	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内 容
保護者	父親	21	18	20	10	15	28	112	31	36	29	20	18	19	153	265	父親来館数
	母親	23	27	62	33	42	27	214	43	54	37	46	26	253	467	母親来館数	
	その他	7	0	0	0	0	0	10	17	0	0	2	0	0	0	2	上記以外の保護者来館数(ひまわり往来館者・児童む)
乳幼児	小計	51	45	82	43	57	65	343	74	83	85	57	64	45	408	751	
	小学生	26	17	60	11	22	16	152	58	54	72	46	41	25	296	448	幼稚園生来館数(シヨート・ドワライテスティを含む)
	中学生・高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	10	18	11	16	12	77	249	小学生来館数(シヨート・ドワライテスティを含む)
子ども	小計	52	45	80	35	53	59	324	68	64	90	57	57	38	374	698	中学生・高校生来館数
	その他	7	10	27	48	19	33	144	46	45	32	66	36	248	392	上記以外の来館者数(関係機関等)	
来館者		110	100	189	126	129	157	811	183	192	198	146	187	119	1030	1841	

ひまり莊

家庭あんしんセンター実績報告
子育て支援センター

令和2年度

相談件数 (延べ)	項目	内容												合計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月			
養護相談	児童虐待相談 ※新規ケース対象外	154	192	323	231	176	117	1193	120	55	53	60	72	85	445	1638
	その他の相談	230	160	369	316	253	285	1613	270	319	267	194	267	1530	3143	
	保健相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	肢体不自由相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	視覚障害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	言語発達障害等相談	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
	重度心身障害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	知的障害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自閉症等相談	0	0	0	2	0	4	6	0	4	1	0	2	0	7	
	ぐるり行為等相談	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	
	性行動相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不登校相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	育成相談	40	55	79	42	66	73	355	67	113	78	40	62	73	433	788
	適性相談	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	0	0	10
	音・匂・しつけ相談	25	13	29	13	22	12	114	26	17	32	13	32	143	257	5874
	その他相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	いじめ相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(再掲)	児童買春等被害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	470	420	800	605	519	491	3305	483	508	424	353	343	458	2569	
養護相談	児童虐待相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	保健相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	肢体不自由相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	視覚障害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	言語発達障害等相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	重度心身障害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	知的障害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自閉症等相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ぐるり行為等相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	性行動相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不登校相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	適性相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	音見・しつけ相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	いじめ相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(再掲)	児童買春等被害相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	470	420	800	605	519	491	3305	483	508	424	353	343	458	2569	5874

相談件数
(家庭相談員)

家庭あんしんセンター実績報告

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
児童虐待防止	見守りサポート事業(実斎件数)	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	12
	協議会開催回数	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	1	2	4	4
	援助方針会議	1	0	4	4	4	17	5	4	4	4	4	4	4	25	42
関係者会議(実施回数)	PCAN(月1回)・その他(会議(週1回))															

内容															
見守りサポート事業(実斎件数)															
親子交流事業(開催回数)															
あつぶつランド(参加人数)															
チヤチャランド(参加人数)															
おはなし広場(参加人数)															
夜間講座・出前講座(開催回数)															
各講座参加者数															
(実施内容)															
<本拠地>															
<あつぶつランド> ※6月より開放時間は10時から12時・13時から15時として開放。12時から15時は室内消毒及び洗浄を行なう。会場の利用は最大4組(家族)で利用状況を把握している。															
<チヤチャランド> 第3火曜・金曜／第4火曜(新4火曜)															
<おはなし広場> 第3火曜・金曜／第4火曜(新4火曜)															
<夜間講座>															
<出前講座>															
<緊急事態宣言>ため中止															
1／15 ハピネスセンター															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															
<実施内容>															

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
実人数		4	2	2	0	2	1	1	2	2	4	1	0	0	9	20
内訳（幼稚園）		2	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	6	8
内訳（小学生）		2	2	2	0	2	1	1	0	1	2	0	0	0	3	12
実施件数		4	6	4	0	3	4	2	1	4	5	9	3	4	6	31 52
内訳（幼稚園）		2	1	0	0	1	1	6	3	5	1	1	1	1	16	22
内訳（小学生）		2	4	3	0	3	3	15	1	2	4	2	3	3	3	15 30
延べ実施件数		5	7	5	0	3	4	24	4	6	11	3	4	7	7	35 59
内訳（幼稚園）		3	3	2	0	0	1	9	3	3	6	1	1	1	3	17 26
内訳（小学生）		2	4	3	0	3	3	15	1	3	5	2	3	3	4	18 33
延べ宿泊数		14	11	7	0	6	6	44	5	8	18	8	6	10	10	55 99
内訳（幼稚園）		6	4	2	0	0	1	13	3	3	9	4	2	3	3	24 37
延べ日数(①)+(②)+(③)+(④)		19	18	12	0	9	9	67	10	14	29	11	10	7	7	31 62
内訳①(2歳未満(慢性疾患児除外))		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳②(2歳以上(慢性疾患児除外))		19	18	12	0	9	9	67	10	14	26	11	8	17	86 153	
内訳③(慢性疾患児(2歳未満))		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内訳④(慢性疾患児(2歳以上))		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎利用件数		2	2	0	4	8	18	13	12	27	13	1	15	15	15	81 99
実人数		9	2	7	2	1	3	24	3	6	1	1	0	1	1	12 36
内訳（幼稚園）		4	0	3	2	0	2	11	3	4	1	1	0	1	1	10 21
内訳（小学生）		5	2	4	0	1	1	13	0	2	0	0	0	0	0	0
実施件数		9	5	11	13	11	13	62	13	16	13	11	10	10	10	73 135
トワイライトステイ		4	1	6	7	4	9	31	9	10	8	6	6	6	6	44 75
内訳（幼稚園）		5	4	5	6	7	4	31	4	6	5	5	4	5	5	29 60
延べ利用日数		52	37	45	35	43	51	263	61	69	54	34	41	28	28	297 560
内訳(幼稚園)		26	13	28	24	28	40	159	52	58	54	25	28	20	20	237 336
内訳(小学生)		26	24	17	11	15	11	104	9	11	10	9	13	8	8	60 164
送迎利用件数		34	25	29	30	37	184	52	53	48	26	31	19	19	19	229 443
【実施内容】トワイライトステイ利用説明会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止とし、緊急ショート※該当なし																

育児支援ヘルパー

育児支援ヘルパー

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
実施件数		3	0	6	6	4	4	23	8	9	7	2	4	6	36	59
内訳(第1子)		2	0	4	3	1	2	12	5	7	3	2	1	2	4	22
内訳(多胎児)		1	0	2	3	3	2	11	3	2	4	2	1	2	1	25
(若年出産)		1	0	2	1	1	0	5	0	1	2	0	0	1	4	9
延べ利用日数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延べ利用時間数		4	0	14	8	11	3	45	28	19	19	9	11	16	102	147
延べ利用件数		8	0	26.5	15.5	23	16	69	58	36.5	31	14	19	27	185.5	274.5

ファミリー・センター

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
提供会員 月末会員数		173	172	171	171	171	171	172	177	175	175	157	154	154	154	59
依頼会員 月末会員数		2406	2407	2417	2431	2550	2383	2395	2399	2405	2414	2439	2455	2455	2455	2455
両方会員 月末会員数		6	6	8	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	25
活動会員数		20	5	41	94	51	134	345	193	135	123	91	103	143	788	1133
交流会等開催状況		0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	4	5
【実施内容】		平塚主催の養成講座については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止とした。														
・提供会員養成講座		名														
・会員研修会		名														
・提供会員研修会		名														
・提供会員交流会		名														
1/31		・3/8 参加者12名														

品川区立家庭あんしんセンター実績報告

令和2年度 品川区立家庭あんしんセンター別表2 年度別実績推移

児童家庭相談実績（延数）		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	
養護	児童虐待	171件	673件	610件	666件	971件	1,434件	1,854件	908件	1,144件	1,053件	1,204件	2,386件	4,710件	7,305件	6,104件	1,638件	
	その他	67件	182件	203件	934件	2,377件	2,142件	1,717件	1817件	1,880件	1,989件	2,811件	3,819件	5,248件	5,257件	3,927件	3,134件	
保健	0件	34件	10件	6件	9件	5件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
知的／言語発達	1,173件	781件	1,107件	28件	12件	8件	16件	8件	6件	2件	0件	0件	0件	0件	2件	2件		
障害	自閉症等	1,068件	1,688件	1,651件	37件	19件	31件	2件	31件	0件	0件	0件	15件	0件	0件	19件	13件	
	肢体不自由／視覚／重度心障	0件	2件	0件	7件	6件	61件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
非行	く犯行為／触法行為	0件	0件	0件	6件	5件	1件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	22件	0件	91件	2件
育成	不登校／適性	26件	35件	120件	509件	661件	85件	23件	36件	6件	27件	31件	63件	30件	14件	7件	31件	
	性格行動／育児・しつけ	320件	540件	503件	770件	839件	777件	598件	710件	456件	447件	628件	814件	948件	1,031件	903件	1,045件	
その他	123件	125件	125件	2件	0件	2件	1件	0件	0件	0件	42件	0件	0件	0件	1件	1件	0件	
合計（延数）	2,948件	4,060件	4,073件	2,889件	4,300件	4,547件	4,211件	3,482件	3,492件	3,519件	4,716件	7,097件	10,965件	13,610件	11,068件	5,865件		

※ 発達相談事業は平成20年度に品川児童学園に移転しました

ショートステイ実績		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
利用者数（件数）	75人	80人	62人	41人	44人	38人	21人	20人	27人	10人	11人	22人	34人	57人	52人	59人	
宿泊数（延数）	225泊	207泊	142泊	70泊	74泊	97泊	77泊	84泊	79泊	31泊	33泊	57泊	125泊	130泊	96泊	99泊	

トワイライトステイ実績		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
利用者数（件数）	253人	468人	457人	483人	405人	318人	364人	435人	476人	453人	360人	385人	498人	492人	434人	135人	
利用回数（延数）	1,038回	2,743回	3,766回	2,905回	2,176回	2,768回	3,524回	3,663回	3,176回	1,938回	1,984回	2,016回	1,656回	1,637回	1,637回	560回	

ファミリーセンター実績		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
提供会員登録者	254人	266人	177人	199人	222人	255人	234人	229人	257人	255人	229人	236人	224人	203人	190人	154人	
依頼会員登録者	996人	1,196人	1,077人	1,035人	1,247人	1,417人	1,581人	1,708人	1,953人	2,103人	2,386人	2,424人	2,517人	2579人	2455人		
活動件数（延数）	3,569件	4,811件	5,060件	3,591件	3,516件	3,746件	3,746件	3,766件	3,299件	3,878件	2,920件	2,614件	2,550件	2,907件	1,322件		

※ 平成19年10月 大井ファミリー・サポート・センター開設

ひまわり荘		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
入所世帯数	7	9	10	8	9	8	5	6	4	11	3	5	7	1	8	6	4	
退所世帯数	2	13	6	8	10	9	6	7	9	3	7	7	8	4	4	8	4	
年度末世帯数	18	14	18	18	17	16	15	14	9	17	13	11	10	7	11	8	10	

<別表3>

家庭あんしんセンター職員研修実施報告

1. 法人による研修

法人による研修は、事務部事業報告に記載の通り。

2. 家庭あんしんセンターによる研修

研修	研修テーマ	実施時期	職員数
部署内研修	事業計画読み合わせ・重点テーマ等の確認	4月	全職員
	子育て応援夜間講座 全4回	11月（2回） 12月（2回）	2名 2名
	防犯対策研修	中止	
	子どもの栄養管理	2月	9名

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止あり

3. 外部機関による研修（ひまわり荘）

実施機関	研修名	参加時期	職員数
社会福祉法人 子どもの虐待防止セミナー	第55回子どもの虐待防止セミナー 「家庭内暴力の理解と支援—子ども虐待とDVへの支援の統合を目指して—」	10月	1名
東京都立中部総合精神保健福祉センター	精神保健福祉研修 「薬物依存症への支援を探る」	11月	1名
東京都立中部総合精神保健福祉センター	精神保健福祉基礎研修1 「精神保健福祉関連の法制度について、基礎的な知識を学ぶ」	1月	1名
東京都立中部総合精神保健福祉センター	精神保健福祉基礎研修2 「精神疾患の理解と対応」	1月	1名
東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室	児童養護施設等の高機能化・多機能化等人材育成研修 「生活場面における子どもの理解と支援」	2月	1名
社会福祉法人横浜博萌会 子どもの虹情報研修センター	「親の精神疾患と子どもの育ち」	3月	1名

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、限定参加

4. 外部機関による研修 (子育て支援センター)

実施機関	研修名	参加時期	職員数
品川区発達障害思春期サポート事業・ら・るーと	2020年度第2回啓発講演会 基礎から学ぶ発達障害～幼児期・学齢期を中心～	10月	2名
社会福祉法人 子どもの虐待防止センター	第55回子どもの虐待防止セミナー 「家庭内暴力の理解と支援—子ども虐待とDVを統合した視点で考える」	10月	1名
子ども家庭支援センター 児童相談担当	子育て地域ネットワーク強化研修 ネット依存からの回復～支援者が子どもと家族にできること～	11月	3名

5. 外部機関による研修 (ファミリー・サポート・センター)

実施機関	研修名	参加時期	職員数
東京都福祉保健局 少子社会対策部 家庭支援課	令和2年度 地域子育て支援研修 「子育て援助活動支援事業の動向を知り、日頃の活動を共有しよう」	10月	2名
一般財団法人 女性労働協会	ファミリー・サポート・センター事業における～自動車事故防止セミナー～	12月	1名

<別表4>

家庭あんしんセンター防災訓練報告

月	日	想定	状況想定	訓練内容	参加者
4	17	夜間	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員5名、利用者 0名
5	18	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者 0名
6	23	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員8名、利用者 0名
7	22	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者 0名
8	20	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員6名、利用者 0名
9	25	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員7名、利用者 0名
10	26	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員5名、利用者 0名
11	24	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員5名、利用者 0名
12	19	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員5名、利用者 2名
1	30	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員4名、利用者 2名
2	26	夜間	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員3名、利用者 2名
3	29	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員4名、利用者 2名

※普通自衛消防力検定（荏原消防署立ち合い）

⇒今年度は、新型コロナウイルスの関係で、検定中止のため、実施していない。

※偶数月はひまわり荘における防災訓練

奇数月はひまわり荘とトワイライトステイによる防災訓練

〈別表5〉

令和2年度 家庭あんしんセンターヒヤリハット報告・事故報告の発生の状況

	ヒヤリハット報告				
	ひまわり	子育短期	子育支援	ファミサボ [*]	合計
4月	0	0	0	0	0
5月	3	0	0	0	3
6月	2	0	0	0	2
7月	4	0	0	0	4
8月	4	0	0	0	4
9月	2	0	0	0	2
10月	1	0	0	0	1
11月	3	0	0	0	3
12月	0	0	0	0	0
1月	1	0	0	0	1
2月	2	0	0	0	2
3月	0	1	0	0	1
合計	22	1	0	0	23

帰宅遅い、在室確認不備、郵便物投函不備、しりもち、飛び出!
紙で切り傷

	事故報告				
	ひまわり	子育短期	子育支援	ファミサボ [*]	合計
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	1	0	0	0	1
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	1	0	0	0	1
合計	2	0	0	0	2

車両故障など

品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設事業報告

1. 重点目標への対応

- (1) 地域のニーズに適したサービスを誰もが安心・安全に受けられる、多世代交流へと繋げられる施設づくり
コロナ禍において消毒等を徹底して行い、地域のニーズに適した安心・安全な運営をしました。行事や自主事業では多世代交流を図れるように仕組みを作りました。
- (2) 仲間と楽しく健康を増進できる介護予防機能を持った施設づくり
地域ミニデイの介護予防のほか、グループ活動を通して介護予防の機能を持ち、健康を増進できる施設づくりを図りました。
- (3) 子育ち親育ちをサポートする子育て支援機能を持った施設づくり
子育て支援等、保護者を支えていくためのサポートを関係機関と協力して行いました。

2. 施設及び各事業の報告

<1階貸出し施設事業報告>

- (1) 重点目標への対応
- ①区の指導のもと、受付業務に係るマニュアルを作成しました。職員と委託している品川区シルバー人材センタースタッフ間で内容を周知し、利用者が快適に過ごせる環境づくりを推進しました。特に感染症拡大予防の対応は感染者数の増減や品川区からの施設運用変更により、こまめに変更となるので迅速な対応をしました。
- ②地域ミニデイ（通所型サービスB）、地域高齢者がボランティアとして参加し、主体的に運営に携わっていけるよう側面から支援を行いました。また、卒業生グループ受け入れのための体操教室「元気ゆうゆう体操クラブ」を新設し10月から定期的に開催しています。

<オアシスルーム(生活支援型一時保育)事業報告>

- (1) 重点目標への対応
- ①近隣の児童センター、地域センター等に施設のパンフレットを置くことでオアシスルームの紹介と利用促進を図りました。
- ②児童の健全育成を目標とし、子どもの年齢や発達に応じて必要な保育、相談に応じました。
- ③保護者の悩みや不安へ対応できるよう、必要時には各関係機関と連携し支援を行いました。

<ポップンルーム(地域交流室)事業報告>

(1) 重点目標への対応

- ①近隣の児童センター、地域センター等の窓口に施設のパンフレット及び定期通信『ポップン通信』(毎月発行)を置くことでポップンルームの紹介と利用促進を図りました。
- ②コロナ禍においてはイベントの内容や回数に制限はありましたが、主管課の確認を基本に安全に行いました。
子育て世代同士の交流を支援することで継続利用者を増やすことができました。

3. 交流支援事業報告

(1) 多世代交流塾「ひらゆうクラブ」

「学習の支援」・「居場所の提供」・「食事の提供」を目的に定期的に開催しました。ボランティア等に高齢者の活躍の場を拡大することで、多世代の交流を図りつつ平塚地域の子どもの孤食を防止しました。

毎月第1・3土曜日・・・学習支援

毎月第2土曜日・・・・レクリエーション

(2) 開放されたフリースペース「くつろぎスペースゆうゆう」

1階貸出し施設の空き部屋をフリースペースとして開放し、気軽に住民同士が集まれる場所として提供しました。

(3) ゆうゆうプラザ主催のイベント

①フリーマーケット（6月予定をしていたが、中止）

②演芸大会（9月予定をしていたが、中止）

③クリスマス会（令和2年12月）

多世代交流塾、地域ミニディ、卒業生グループで各少人数にて開催
内容はマジックショーの観覧

④ゆうゆうプラザまつり（令和3年3月27日開催、延べ35人来場）

要予約にて開催

内容は落語など演芸の観覧と目的内グループ利用者へ、しいのき学園
製菓をプレゼント

4. 地域貢献事業・関係機関との連携

- (1) 地域懇談会は開催できませんでした。日頃から利用者へ声掛けを多く行い、コミュニケーションを図るようにしました。
- (2) やりがいを持って継続して参加していただけるよう、地域ミニディでボランティアの方々にお手伝いしていただく内容を工夫しました。

- (3) 地域ミニディイに関しては在宅介護支援センターと利用者状況を共有しました。
- (4) 「ほっと・サロン」の開催や、交流支援事業を行う際にボランティア募集をする等、品川区社会福祉協議会と連携し利用者サービスの充実を図りました。
- (5) 学習支援をはじめ、家庭あんしんセンターと連携し更なる利用者のニーズの充足を図りました。

5. 事故防止策・防災対策

- (1) 救命講習と防犯研修を受講しました。
- (2) 事故の発生または再発を防止するために法人のヒヤリ・ハッタリスクレベル評価表に基づくリスク分析と管理に取り組みました。
- (3) 消防計画及び震災対応事業計画に基づいて消防訓練、避難訓練を毎月実施しました。
- (4) 地域防災訓練は実施されませんでしたが、定期的に防災備蓄品の点検を行いました。

6. 安全対策

1・2階事務所の防犯カメラで不審者対策を行いました。また、2階事務所の非常通報装置運用について、非常時に備え職員研修を実施しました。

7. 新型コロナウイルス対策

区の指示により

【1階貸出し施設】

(令和2年3月2日)～令和2年6月末日まで休館しました。

令和2年7月以降も一部運営に制限あり

【オアシスルーム】

令和2年4月10日～令和2年5月末日まで休室しました。

令和2年6月以降は定員数を半分

【ポップンルーム】

(令和2年3月2日)～令和2年5月末日まで休室しました。

令和2年6月以降は要予約、利用者数を制限

品川区立平塚ゆうゆうプラザ実績資料

(1) 貸出し事業利用状況

3月2日～6月末日まで休館

令和3年3月31日現在

単位：人

利用種別	対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
(登録内利用)	高齢者	0	0	0	103	118	178	181	194	180	107	109	161	1,331	
	ほっとサロン	0	0	0	0	0	0	0	0	45	28	39	51	163	
（目的外利用）	全年齢	利用人数	0	0	0	0	0	0	0	125	169	142	153	589	
		団体数	0	0	0	0	0	0	0	22	20	15	17	74	
区事業	高齢者	いきいき健康マージャン広場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		運動教室	0	0	0	0	9	8	18	0	0	0	0	35	
合計利用人数			0	0	0	103	127	186	199	194	350	304	290	365	2,118

(2) 自主事業実施状況

令和3年3月31日現在

事業名			対象者	延べ回数	延べ人数
イベント	フリーマーケット(6月・中止)		多世代	0	0
	演芸大会(9月・中止)		多世代	0	0
	クリスマス会(12月)		多世代	3	45
	ゆうゆうプラザ祭り(3月)		多世代	1	35
	みんなでよもう(ポップンルーム)		子育て世代	0	0
	みんなであそぼう(ポップンルーム)工作		子育て世代	10	150
	みんなでうたおう(ポップンルーム)		子育て世代	0	0
	おもちゃ図書館(ポップンルーム)		子育て世代	2	31
講座	多世代交流塾		多世代	11	86
	ポップンルーム子育て講座		子育て世代	0	0
予防	地域ミニデイ		高齢者	35	346
その他	くつろぎスペースゆうゆう		多世代	8	32
合計			70回	725人	

(3) 部屋別稼働率

令和3年3月31日現在

単位：%

部屋名／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間(9ヵ月平均)
レクリエーション室1	/	/	/	35.7	40.0	62.5	73.9	70.7	56.7	61.7	67.9	65	59.2
レクリエーション室2	/	/	/	24.4	25.0	37.5	35.4	40.5	38.3	51.7	43.6	55	39.0
コミュニティ室	/	/	/	/	/	/	/	/	20.0	20.0	17.9	27	21.3
全部屋	/	/	/	30.1	32.5	50.0	54.3	55.4	38.3	44.4	43.1	49	44.1

(4) オアシスルーム利用状況

4月10日～5月末日まで休室

		令和3年3月31日現在													
		項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利 用 人 数	0 歳	3	0	37	52	58	79	77	69	88	67	90	107	727人	
	1 歳	1	0	40	36	40	57	65	46	41	48	47	457人		
	2 歳	0	0	22	45	51	48	38	35	30	24	23	33	349人	
	3 歳	0	0	1	7	7	1	5	4	5	6	3	6	45人	
	4 歳	0	0	0	2	3	1	4	1	2	0	0	1	14人	
	5 歳	1	0	1	0	2	0	2	1	4	2	1	0	14人	
	小計	5	0	101	142	157	169	180	175	175	140	165	194	1,603人	
	0 歳	12	0	163	234	263	333	381	314	394	354	413	528	3,389人	
	1 歳	5	0	197	208	188	209	275	304	239	237	230	216	2,308人	
	2 歳	0	0	142	251	299	264	203	171	140	125	117	167	1,879人	
利 用 延 べ 時 間	3 歳	0	0	4	41	36	7	24	18	25	34	13	26	228人	
	4 歳	0	0	0	11	20	2	5	5	16	0	0	4	63人	
	5 歳	5	0	7	0	11	0	10	3	13	7	3	0	59人	
	小計	22	0	513	745	817	815	898	815	827	757	776	941	7,926人	
	保育料	11,000	0	256,500	372,500	408,500	407,500	449,000	407,500	413,500	378,500	388,000	470,500	3,963,000円	

(5) ホップルーム利用実績

		令和3年3月31日現在													
		項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数		延利用者	0	0	456	431	540	511	405	367	310	355	270	324	3,969人
相談		登録人数	0	0	89	52	49	40	18	32	15	19	15	10	339人
遊びや玩具に關すること	食育(母乳・ミルク・断乳・離乳食・咀嚼・マナーなど)	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	5件	
	健康(梢氣・アレルギー)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2件	
	発達(発達の遅れ・歩行・言葉・行動など)	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	2	6件	
	睡眠・夜泣き	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	4件	
	排泄・トイレトレーニング	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1件		
	しつけ・片づけ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1件		
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件		
小計			0	0	1	1	5	2	2	4	1	0	3	20件	

(6) 研修

①外部研修

主催	日程	内容	参加人数
公益財団法人東京防災教急協会	1月13日	普通救命講習	2
公益財団法人東京防災教急協会	2月12日	上級救命講習	1
品川区福祉協議会	7月13日	モスクワードサービスによる衛生講習	1

②法人研修

主催	日程	内容	参加人数
法人	4月1日～6月30日	OJT研修	2
法人	4月13日～22日	ひろまち保育園へ研修	1
法人	5月25日～29日	ひろまち保育園へ研修	1

(7) ヒヤリハット・事故状況

①ヒヤリハット報告

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1階													
才アシス			6	5	6	4	1			1	2	2	28
ボッシュ													

②事故報告

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1階						1(誤振込)							1
才アシス								1(繋結損等)					3
ボッシュ								1(紛失)					1

品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設事業報告

1. 基本方針

安全・安心を基本とし、快適で清潔感あふれる施設、誰もが気軽に立ち寄れて過ごせる施設環境の実現を目指すとともに、地域や関係団体等との良好な関係の構築を目指しました。高齢者の介護予防、健康維持・増進及び生きがいづくりの支援という従来のシルバーセンターの機能に加え、地域交流の拠点として機能を発揮しました。高齢者と子育て世代等、多世代の区民との交流の支援に対応する各種事業についてはイベントのみにとどまったため、来年度は子育て事業を円滑に実施していきます。

2. 重点目標

- (1) 地域のニーズに適したサービスを誰もが安心・安全に受けられる、多世代交流へと繋げられる施設づくり
地域のニーズに応えられるようサービス内容を充実させ、効率的な運営を目指しました。
- (2) 仲間と楽しく健康を増進できる介護予防機能を持った施設づくり
地域ミニデイの介護予防のほか、グループ活動を通して健康増進・維持及び生きがいづくりができる施設を目指しました。
- (3) 子育ち親育ちをサポートする子育て支援機能を持った施設づくり
子育て支援等、保護者を支えていくための保健センター・子育て支援センター事業について準備のみとなつたため、来年度は実際に実施していきます。

3. 各事業の計画について

(1) 貸出し施設事業

区の指導のもと利用案内、利用券届出受付・発券、グループ利用登録届出受付事務、施設使用料の徴収及び収納事務等の業務を行いました。

貸出し時間（午前9時から午後9時30分まで）に対応するため、貸出し業務あたる一部の時間帯については品川区シルバー人材センターに委託し、効率的な運営ができました。

(2) 自主事業

ア. 多世代交流塾

「菜園事業」に近隣保育園児等をお誘いして、土いじりを高齢者と行うことで、高齢者にとって生きがいと喜びを、幼児にとって

は先人の知恵や高齢者を労わる心を自然と学べる機会を創出する予定でしたが、コロナ禍で思うように実施できず、畑の土つくりのみとなつたため、次年度は今年度に植えた野菜の収穫から実施していきます。また、食をテーマとした講座として「ゆうゆうクッキング」を定期的に開催する予定でしたがこちらも実施できなかつたので、コロナ禍でも行える形を来年度は模索します。

イ. 子ども子育て関連事業

「東品川わくわくキッズルーム」としてフリースペースの場の準備をしてきました。地域の就学前までの子育て世代が気軽に集まれる場所を提供し、地域交流の活性化に役立てていただけるように次年度は実際に運用していきます。

ウ. ゆうゆうプラザ主催のイベント

イベントは感染症に気を付けながら1回実施(書初め大会)。多世代参加型のイベントとして交流の場を作りました。

エ. 地域ミニデイ

介護予防事業として地域ミニデイ(通所型サービスB)を令和2年10月から実施しました。実施に際しては利用者のモチベーション向上のための体力測定等による実施効果の可視化を行いました。

4. サービス提供(支援)体制

種別	配置数	担当業務	主な保有資格
常勤	1	施設長・施設管理	介護福祉士等
常勤	1	施設管理・受付事務等	介護福祉士等
非常勤	1	受付事務等	

土・日・祝の日中と平日・土の夜間窓口業務、平日浴室等管理業務はシルバーメンバーに委託

5. 地域・関係機関との連携

- (1) 社会貢献活動の基本となる町会や関係機関との連携体制を継続するため、地域懇談会を定期開催する予定でしたが、コロナ禍で集まれなかつたため、書面でのアンケート収集形式で実施しました。いただいた意見を次年度に反映させていきます。
- (2) 多世代交流塾等で地域のボランティアの方々が短時間でも活動しやすい体制を作る等、生きがいづくりの場を提供しました。
- (3) 「ほっと・サロン」の開催場所となることや、様々な事業を行ううえで

品川区社会福祉協議会と連携してサービスの充実化を図りました。

- (4) 令和2年度10月から開催の地域ミニデイにおいては利用者の健康状態の変化を常に把握し、一体的な介護予防サービスを提供できるよう各在宅介護支援センターや支援事業所に体力測定結果等を共有しました。

6. 事故防止策・防災対策

- (1) 救命講習、小規模施設防火講習等を受講するほか、品川警察署の防犯研修を受講する予定でしたがコロナ禍で行えなかつたので、次年度に行っていきます。
- (2) 事故の発生又は再発を防止するために法人のヒヤリ・ハットリスクレベル評価表に基づくリスク分析と管理に取り組みました。
- (3) 消防計画及び震災対応事業計画に基づいて消防訓練、避難訓練を実施する予定でしたが、消火器具の扱い方や場所の確認のみとなりました。次年度は防犯訓練も含めた訓練を実施していきます。
- (4) 施設には防災備蓄品倉庫が設置され、品川区の防災拠点の一つとなります。地域防災訓練に参加する予定でしたが、日程があわず参加できなかつたため、次年度は自治会と連携を取って参加していきます。

7. 安全対策

幼児から高齢者まで多世代が利用する施設であることから事故防止策は最優先課題の一つです。法人の高齢者福祉施設、児童福祉施設及び障害者福祉施設等で蓄えた知識・経験を活用し事故防止に向けたハード面でのチェックを行い、安全点検を実施しました。

8. 新型コロナウィルス対策

2回／日 消毒作業、受付での検温・手指消毒、マスクの着用促し、30分程度の滞在、脱衣室での会話自粛をお願いして実施してきました。また、区からの要請により休館等の対応をしました。

品川区立東品川ゆうゆうプラザ実績資料

(1)貸出し事業利用状況

利用種別	対象者	令和3年3月31日現在												単位：人	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
(登録内利用)	高齢者						1,447	1,527	1,388	1,381	1,219	1,048	1,483	9,493	
	内訳(目的内除く)	入浴者数					837	971	855	928	858	681	1,057	6,187	
		マッサージサービス					0	30	32	32	0	32	32	158	
(目的外利用)	全年齢	利用人数					0	0	0	0	5	0	7	12	
		団体数					0	0	0	0	1	0	2	3	
自主事業							65	55	55	58	44	51	57	385	
ほっと・サロン							0	0	0	0	9	19	52	80	
支え愛・ほっとステーション							0	12	10	0	5	0	7	34	
区事業	高齢者	うんどう機能トレーニング					0	40	59	57	53	39	37	285	
		高齢者外出習慣化事業					0	0	0	0	0	0	0	0	
		健康塾					0	0	0	72	50	56	59	237	
合計利用人数							1,512	1,634	1,512	1,568	1,385	1,213	1,702	10,526	

(2)自主事業実施状況

事業名			対象者	令和3年3月31日現在	
イベント	オープニングセレモニー(9月)	書初め大会(1月)		延べ回数	延べ人数
			多世代	1	85
			多世代	1	21
予防	地域ミニデイ		高齢者	23	210
合計				25回	316人

(3)部屋別稼働率

部屋名／月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間(7カ月平均)
レクリエーション室1							22.2	25.0	21.1	13.6	15.0	12.5	14.5	17.7
レクリエーション室2							13.9	17.1	28.9	18.5	18.3	14.3	19.4	18.6
レクリエーション室3							19.4	19.5	28.9	19.8	21.7	17.9	25.8	21.9
コミュニティ室1							13.9	5.0	15.8	4.9	1.7	10.7	14.5	9.5
コミュニティ室2							8.3	15.9	18.4	8.6	5.0	3.6	16.1	10.8
スタジオ室1							8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2
スタジオ室2							13.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
全部屋							14.6	11.4	15.5	8.8	8.3	8.3	12.1	11.3

(4) ヒヤリハット・事故状況

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット					0	0	0	0	0	0	1	0	1
事故報告		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

社会福祉法人 福栄会
令和2年度事業報告書

発行者 野村 寛

発行日 令和3年4月1日

〒140-0002 東京都品川区東品川3丁目1番8号
TEL 03 (5479) 2981

